

業事務ノ爲メニ改定スルコト左ノ如シ

甲 法律委員ノ給與ハ日ニ四「グロ」トシ特別委員會ノ委員タル農業者ノ給與ハ三「グロ」トス

乙 此二者ノ委員ハ書寫ノ事業ノ爲メ「ページ」三十四行各行十二級字印紙表裏一葉ニ付キ五「グロ」ヲ受ルノ權ヲ有ス表裏半枚ハ「ページ」半「ページ」トシ「グロ」ト四分ノ一トス

丙 此委員ニ局費等トシテ政府ヨリ給與セシ手當ハ廢止トス  
第四十三條 本律ノ施行ハ内務大臣及大藏大臣ニ委任ス内務大臣ハ其現行法タルハキ時ヲ定ムヘシ

朕ハ朕ノ璽ヲ捺スルコトヲ命令シテ本律ヲ公布セリ

一九〇一年七月廿三日

シヤン 署名

(以上注文)

土地ノ併合ハ相續テ獨逸全國ニ假テ好結果ヲ得タリ農學者ハ該國農事家ノ如ク之ヲ以テ所有地ノ位地及耕作者ノ位地ヲ改良シ土地ヨリ收ムル所ノ諸物ヲ地ニ返還スル爲メニ最モ効力アル方法ノ一ト認ムルナリ

抑此重要ナル事業ト其制ヲ定メタル普魯西ノ法律トナ知ラシムヘキ性質ノ書類ヲ農務省集誌ニ掲載スルハ有要事タルモノ、如シ

此書類ノ第一ハ農業年報(一千八百八十一年刊行第十三冊第一編)ニ掲載シ普魯西政府ノ庇保ヲ以テ公ニセルブルノ、シリッア氏ノ一條ヲ詳解シタルラベルリエール氏ノ記事一篇ニシテ第二ハ埃塞國ノ土地併合

ノ法律ニ係ル獨逸國駐劄佛蘭西欽差大臣「グーセル」氏ノ報告ナリ之ニ次クモノヲ小分地ノ併合ニ係ル一千八百六十七年五月十三日附ナ

ル其法律ノ明文トス又第四ノ書類ハ「カッセル」郡ノ小分地ノ併合ニ係ル北獨逸新聞ノ拔萃ナリ



カッセル郡小分地併合ノ講究

ブルノ、シュリッテ氏ハ此講究ニ於テカッセル郡ノ小分地併合ノ沿革ヲ述ベ  
 其事業ヲ施スニ當テ遭遇セシ所ノ諸種ノ妨害ヲ列舉シ其妨害ヲ後述  
 スル爲メニ定メタル方策ヲ説明シ土地ノ改革ニ因リ農業及經濟ノ點  
 ヲ生シタル結果ヲ解示シタリ

佛蘭西ノ爲メニ一般ノ利益トナラサルモノ直接ノ利益アラサルモノ  
 ハ皆テ指テ論セスシテ唯愛ニハ此有要ナル企業ノ特質ヲ表スヘキ主  
 要ノ事項ヲ示スヲ以テ足レリトスヘシ

第一

カッセル郡ノ土地ハ此地ニ來テ住所ヲ定メ爾後生死新陳更代セシ所ノ  
 換遷人種、チリゲン人種、フロン人種ノ子孫タル大ニ相同シカラサル  
 種類ナル人民ノ占住スル所ニシテ其遺傳及習俗ニハ今日尙ホ舊代ノ  
 遺傳及習俗ヲ認ムヘキ跡アリ土地ノ分配及遺産ノ移轉ニ關スル事體  
 ニ在テハ特ニ然リト爲ス

換遷ニ於テハ其隣接ノ州ニシテ製造工業ノ大ニ擴張セシ所ノ惟士發  
 里及搬運ニ生セシ事トハ異ナリテ專ラ行ハレタルモノヲ農産ノ工業  
 ナリトス大ナル園場ノ此園ニ在ルモノ甚ク少クシテ過半ノ土地ハ村  
 園ヲ成セル耕作者ニ屬スルナリ

其昔昔西ニ合併スル以前ニハ分有ノ土地ハ一般ニ小ニシテ出入ノ道  
 路ナク互ニ圍遮シテ形ノ正シカラサルモノ往々ニシテ之アリキ  
 斯ノ如キ状況ナルヲ以テ耕作ハ齊キ制度ニ從ハサルヲ得スシテ耕作  
 者ハ皆冬季ノ半休耕作ヲ交ヘタル三年期ノ輪耕法ヲアリテハ土地  
 大平地タルト其地ノ氣候ノ種和ナルト酷烈ナルトニ從ヒ二年期又ハ  
 四年期ノ輪耕法ヲ一ニ行ハサルヲ得スシテ又其他ニ綿羊牧場共有權  
 牧場使用權ノ如キ數種ノ地役アリテ行人車馬ノ通行權ヲ課セラレタ  
 ル土地モ甚ク多カリシ或ル邑ニ於テハ互ニ其家畜ヲ牧養スルノ權ニ  
 課税シタリ嚴刑ヲ設ケテ人造綠草地内ノ牧養ヲ禁シタルトハ異ニ然  
 リト雖モ其禁ハ幾ント垣ニ犯ス者多クシテ綠草ノ耕作ハ廣キ園形ノ



土地内ニ非レハ行フヲ得ザリシナリ  
 此紛亂雜ナルノ重大ナル弊害ハ舊時ノ選舉權政府ノ認ムル所ト  
 ナリ一千八百三十四年ニ制定シタル法律ヲ以テシテ土地ノ併合ヲ容  
 易ナラシメ州邑ノ官廳ヲシテ其助力ヲ與ヘシメ關係者各人ノ自由ナ  
 ル協議ニ委シテ其弊害ヲ矯正センコトヲ試ミタリ  
 然レテ此法律ハ其功ヲ奏セザリシナリ之ニ因テ第三者ノ抗拒權ヲ削  
 ヲ法式ニ簡略ニシ書類入費ノ交付ヲ爲セシト雖モ隔離シテ孤立セル  
 小分地ノ交換ヲ爲スヲ得ルハ稀ナルノミ各人好意ノ交換ハ稍多カ  
 シシト雖モ其過半ハ關係者雙方ノ希望ニハ相當ヲサル大損害トナリ  
 以上ノ陳述ハ一千八百六十六年ノ事變ニ次キ普魯西ニ合併スル時ニ  
 在テ埃塞ノ國ニ於ケル所有地ノ景况ナリ農業者ハ大ナル變動ヲ生シ  
 苛稅増役ノ大困難ニ遭ステ將ニ消滅セントシ新ナル制度ヲ設ケテ嚴  
 ニ之ニ干渉スル事ハ其全ク廢絶スルノ危險アリキ

是ニ於テカ一千八百六十七年五月十三日ノ法令ヲ以テ舊時ノ地役ヲ  
 廢シテ共有財産ノ配當及小分地ノ併合ヲ令シタルナリ  
 同年七月一日ヲ以テ一般委員會ヲ設置シ其位地ヲカセセルニ定メタリ  
 此委員會ハ會長一名議員四名ヲ以テ組織シ適任ナル特別委員測量師  
 及經驗ニ富メル鑑定家ノ一團ヲ以テ後援ト爲シ事業ヲ一手ニ集合シ  
 テ之ヲ講究スルノ任務ヲ担当シタルナリ既ニシテ其事業ノ數ハ大ニ  
 増加シタルヲ以テ助手ノ測量學師及同國內ニ於テ選任セル農業者ヲ  
 以テ職員ヲ補充スルヲ要スルニ至レリ  
 抑新法律ヲ遵奉セサル土地所有主ヲ處スルニ遲滯者ヲ以テシタルヲ  
 ハ始メ大ニ人民ヲ驚愕セシメタリト雖モ經濟上ノ結果漸ク確定シテ  
 早ク既ニ農業世界ノ人心ヲ收攬シタリ然レテ此新事ニ因テ安眠ヲ破  
 ラレタル者ヨリ抗拒ヲ受ケタルハ一回ニシテ足ラザリシモノトス  
 其他ノ諸人特ニ小農夫無學ト疑心トニ因テ抵抗シタリ蓋シ土地ノ交  
 換法ハ冒險遊戲ノ如キ思テナシ成分品質ノ種々ニシテ一ナラザル土



地ヲ以テ雙方ノ内何レノ一方モ損害ヲ蒙ラサル公正ノ交換ヲ爲シ得  
 ヘキノ如何ヲ解悟セサリシナリ然リ而シテ從前ノ如ク其所有セシ小分  
 地ヲ所持セント欲スルコトヲ申報シタル者モ亦之アリシト雖モ必定其  
 抗抵ハ一時ノ事ニ過キサリキ委員會ニ於テ小分地ノ併合ヲ施行スル  
 コトニ決定シタル以降農夫ノ内之ニ從フモノ漸ク多ク又抗拒者ノ中ニ  
 ハ派遣人ノ員ニ加ハラントテ請求シタル者アルニ至レリ是レ隨時隨  
 國ノ經驗ニ因レハ著シク舉行ノ改革ヲ容易ナラシムルモノトス而シ  
 テ此新變説者從シテ抗抵者ヲ云フハ後日ノ事業ニ參同シテ其熱心勤  
 勉セシコトハ少カラザリシト云フ  
 實物上ノ抗抵ニ在テハ極メテ稀ニシテ暴行ノ舉ハ二三回アリシト雖  
 モ告發人ニ對スルヨリハ官吏ニ對シテ少カリシトナリ  
 人心ノ一和シタルハ何ノ點ニ在ルカヲ證スルモノハ一千八百七十五  
 年ノ末ニ當リテ終結セル事業二百八件ノ内改正圖ノ採用ヲ總員一致  
 ニテ認可シタルハ二十三件ノ上ニ出テザリシコト是レナリ

之ニ因テ之ヲ觀レハカセムノ一般委員會ノ事業ハ功ヲ奏シテ其事業  
 施行時日ノ短ナリシニ比スルハ著大ナル結果ヲ得タリト言ヘルブル  
 ノシユリテ氏ノ説ニハ唯同意ヲ表スヘキアルノミ

第二

小分地併合ノ事業ハ一般ニ満足ノ終結ヲ得タリトスルモ氣候土地及  
 人民貧富ノ狀況ニヨリ今日マテ其合併ヲ爲スヲ得ザリシ場合ナキニ  
 非ス

フランクエンベルグ郡ハ高低起伏ノ土地ト稍酷烈ナル氣候トニ因テ甚  
 タ耕作ニ宜シカラス此郡ニ於テハ人ニ家畜ノ飼養ヲ業トシ秣草地牧  
 場及特ニ森林アルノ土地ハ多分ニ居レリ曠近數年間收穫ノ不長ナリ  
 シ所ノ土地所有主ハ大ニ困乏シ併合ノ事業ニ要スル費用ヲ見送巡シ  
 テ進マザルナリ

其他ノ數多ノ郡特ニシマルカルデゲルンハウセン、キルヒハイン、マル  
 プールノ諸郡モ亦タ前ト彷彿タル景況ニシテ共有產財ノ配當及地役



ノ廢止ノ外請求スルモノニアラザルナリ  
 其他僅カニ小分地合併ヲ爲シタル地方ニ於テハ尙ホ併合ニ着手スル  
 ナ憚カル邑アリトス是レ土地ニ係ル偶然ノ事ニ因テ困難トナリ且ツ  
 多クノ費用ヲ要スル道路溝渠作設ノ爲メニ要スベキ著大ノ附屬費ア  
 ルヲ以テナリ  
 農業ノ專ラ行ハル、郡ハ最モ貧シキモノニ至ルマデ小分地ノ併合ヲ  
 行ヒタルト甚タ多シトス此地方ニ在テハ併合事業ノ緊急ナルト其極  
 ニ達シ幾ント生死ノ分カル、所タリシト云フモ過言ニアラザルナリ  
 何トナレバ土地小分ノ度ニ過キタル此地方ニ於テハ困乏年一年ヨリ甚  
 シク高利貸ノ弊害其酷ヲ極メアレバナリハウムバツハノ設ニ因レバ著者  
 ヲトルヲ云フノフルダ、ロテンブル、ビーテンコップノ諸郡及ウアルデック  
 地方ヲ此部類ノ中ニ列舉セリ此等ノ地方ハ皆貧困ナレモ其貧キニ均  
 ハラズ眞ノ幸慶ノ事業タル方策ヲ實行スル諸入費ヲ騰ス出ルヲ承  
 諾セリト云フハウムバツハハ大聲呼テ曰ク

富ミタル國ニ於テ人ノ熱心ナラズ又篤志ナラザレバ是レ豐饒ノ土  
 地アリ其和ノ氣候ヲ有シ且ツ物産ノ販路ハ發見シ易ク以テ未タ競  
 争ノ慘酷ナル強制ヲ充分ニ感セザレハナリ斯ノ地方ニ於テハ生計  
 ノ爲メ失怙シテ競争スルノ止ムヲ得ザルニ未タ遭遇セザルナク元  
 氣未タ奮起セズシテ我支出ノ費用ヲ減ズルカ又ハ收入ヲ増殖スル  
 ノ目的ヲ以テ自己ニ利益アル方策ニ費用ヲ支出スルノ必要ヲ感セ  
 ザルナリト云云

第三

抑土地ノ合併ニ因テハ曾テ農作牧畜等ノ事業ニ要シタル道路爲メニ  
 空フシタル土地ノ著大ナル面積ヲ耕作ニ供スルノ結果ヲ生シタル者  
 トス此道路ハ一千八百七十一年ニ於テハ其數極メテ多ク且ツ布置ノ  
 法其宜ヲ得スシテ道路ノ延長ハ面積一ミール英里四方ニ付キ四ミール  
 二十二ニ下ラサリシナリ一千八百七十九年ニ當リ併合事業實施ノ後  
 ハ六千四百五十九「エクタール」ノ面積ヲ覆ヒタル合計ノ長サ七千九百〇



二「キロメートル」ノ道路一万八千四百四十八、千四百六十八「エクタール」ヲ占  
 領セル長サ二千五百十一「キロメートル」ノ溝渠六千七百〇二、橋梁五百  
 五十三運河三千八百四十九改設シ又ハ廢止スルヲ得タリ、  
 公共ノ利益タル此事業費ハ二百二十八万九千六百五十三馬克ハ一馬ク  
 五錢ニ（二百八十六万二千〇六十六法）ノ概算ニシテ即チ一「エクタール」ニ  
 付キ二十法トス然レモ一千八百七十五年六月二十四日ノ法律ニ因レ  
 ハ支出費ノ制定ヲ左ノ如ク爲シタリ  
 關係者ハ委員會ノ會計局ニ一「エクタール」ニ付キ十五法乃至三十七法七  
 十五參ノ概算額ヲ本トシ所有地ノ面積ニ割合金高ヲ算定シテ事業費  
 ヲ支拂フヘキノ通知ヲ受ケタルナリ然レモ其拂込金ハ一般ノ場合ニ  
 於テ事業完結ノ後ニ非レハ精密ノ額ヲ知ル可ラサル實費ノ一部分ヲ  
 支辨シ得タルニ遇キスシテ政府ノ負擔ニ支辨ノ歸シタル費用ノ不足  
 ヲ生シタルモノトス一千八百八十一年度ヨリ一千八百八十二年度ニ  
 至ル普魯西農務省ノ經費表ニ因レハカッセルノ委員會ハ關係者ノ拂ヒ

込ミタル三百八十万〇六百二十五法ヲ收入シタルヲ見ルト雖モ其支  
 出ノ合計ハ七十六万七千二百二十六法二十五參ニ上レルヲ以テ三十八  
 万六千五百〇一法ノ差ハ政府ノ支辨スベキモノタリキ  
 其事業ニ任用シタル職員ハ特別委員及測量員ヲ以テ之ニ充テ即チ一  
 千八百六十七年ニハ特別委員二名及測量師七名、一千八百六十八年ニ  
 ハ特別委員五名及測量師二十八名、一千八百八十年ニハ特別委員十七  
 名及測量師八十五名トス一千八百八十年ニ任用セル特別委員十七名  
 ノ内十名ハ政府ノ助手ニシテ七名ハ農學士委員ナリ甲者ハ一定ノ報  
 酬ヲ受ケ乙者モ亦一定ノ俸給ヲ受ケタリ  
 一千八百八十年年度ノ末ニ於テ測量師ノ内二十四名ハボヘルスドルフ  
 ノ農業大學校ニ於テ技術師ノ證狀ヲ得タリ一般ニ此部類ノ職員ハ日  
 ヲ八時間ノ執務ニシテ新古ニ因リ報酬トシテ日々九法ト四十參乃至  
 十五參ノ金額ヲ受ケ又例外ヲ以テ一定ノ報酬ヲ受ケル者アリ是レニ  
 千分ノ一及以下ノ縮圖ヲ調製スルニ任スル委員ナリ特ニカッセル郡



ニ於テハ土地ノ小分甚シキヲ以テ千五百分ノ一ノ縮圖ヲ製シタルモ  
 ノトス此測量師ハ十年ノ間過失ナク職務ヲ執行シタル後二千六百二  
 十五法乃至三千七百五十法ノ在職俸給ヲ本トシテ計算シ農務大臣ニ  
 於テ支辨スル所ノ退職恩給料ヲ受クルノ權理アルモノナリ  
 助手ノ測量師ハ最モ古參ノ測量師ニ附屬セシムルモノトス一千八百  
 八十年ニ於テ其人員ハ四十六名ナリ

第四

以上ハ圍場ノ通路、庭園、水流、樹林アル部分ヲ除キ四十六萬六千二百二  
 十九「エクタール」ノ面積アルカ、セル郡ニ於ケル小分地合併事業ヲ施行シ  
 タル組織法ナリ此面積ノ内百ニ二十九ハ大畧二十一「アール」ノ平均面  
 積ノ小分地五十八萬七千九百九十七ニ係ル境界改正ノ目的タリシモ  
 ノトス此小分地ノ内五十一萬三千八百八十四ヲ廢シテ七萬六千六百十  
 三ノ地所ニ集合スルヲ得タリ即最初ノ數ノ百ニ八十七、三十一トス之  
 ヨリ先キ二十一「アール」ナリシ地所ノ平均面積ハ事業完結ノ後ハ百六

十一「アール」ニ上レリ即チ七倍半ノ増大ヲ致シタルモノトス  
 此改正ニ係ル關係者ノ人員ハ四萬千百十二名ニシテ其細別ハ左ノ如  
 シ

所 有 地	關 係 人	百 分 ノ 比 例
一「エクタール」以下	二七〇〇八	六五、七
二「エクタール」以上五「エクタール」以下	九四三〇	二三、九
五「エクタール」以上十「エクタール」以下	二〇〇一	四、九
十「エクタール」以上二十五「エクタール」以下	一八九九	四、六
二十五「エクタール」以上四十「エクタール」以下	四五六	一一、一
四十「エクタール」以上	三二八	〇、八
合 計	四一一二	一〇〇、〇

次ノ二表ハ此重要ナル事業ノ結果ヲ詳ニ示スモノナリ



ビーテンコップ及ウヅラールノ地方ヲ除キカッセル郡ニ於ケル小分地ノ併合

年 紀	面 積		員 數		關係者ノ人員及ヒ其最初ノ面積ノ小分地
	邑内ノ土地	併合シタル小分地	合併ノ中ニ入リシ小分地	合併後ノ授受	
一千八百六十八年	二,二八〇	二,〇七九	一,二八六	一,二八六	二,二八六
一千八百六十九年	六,六九〇	六,五三三	一,七九〇	二,四三九	九六二
一千八百七十年	八,三五六	七,三三九	二,九三九	四,三三九	五〇七

年 紀	面 積		員 數		關係者ノ人員及ヒ其最初ノ面積ノ小分地
	邑内ノ土地	併合シタル小分地	合併ノ中ニ入リシ小分地	合併後ノ授受	
一千八百七十一年	一三,四一六	一一,一五九	六,五五九	七,二二四	二,〇九四
一千八百七十二年	九,六九六	八,五三三	三,〇〇〇	四,〇〇一	四三八
一千八百七十三年	二,八二二	一,〇七九	四,五二七	六,三三六	八五二
一千八百七十四年	一四,九〇六	一一,二六六	五,八三〇	七,一五五	九二八
一千八百七十五年	二二,七六〇	一九,九七九	一,三三三	七,〇二八	八三三
一千八百七十六年	一〇,六六七	九,三六八	三,〇〇〇	六,三三七	一三〇
一千八百七十七年	一〇,六六七	七,九〇一	三,九八四	六,三三三	一〇〇
一千八百七十八年	九,一四九	七,三三三	五,三〇九	六,二二二	一〇二
一千八百七十九年	二,三〇三	二,二〇一	七,六一八	八,八〇二	二二八
一千八百八十年	六,七七一	五,七五九	三,三三七	五,〇〇五	一〇一
一千八百八十一年	二,三〇一	二,五〇〇	五,四一五	九,七四八	二四八
總 計	一四四,四七一	一二三,二四八	五八七,九九七	八一七,九九五	二〇,〇〇一



併合ノ後小分地ノ殊ニ著シク廢滅シタルヲ示ス例

地 方	分合セル土地ノ面積	數			平均ノ面積		最初ノ小分地ノ大ナルトナレル比例
		最初ノ分合地	新地所	廢滅シタル小分地	最初ノ小分地	現今ノ小分地	
ロタンブール郡	一〇九〇二	一三、六二六	七、五〇六	一、一六、二一〇	〇、〇八八	一、四五	十六倍
ヘルスヘルト郡	三、八一六	三、八、三七五	三、四一〇	三、四、九六五	〇、一〇〇	一一、二	十 倍
ウルヘシ(ロタンブール郡)	一、四〇九	二〇、四二四	六〇	一、九、八二〇	〇、〇七〇	三、三三	三十三倍
チベルスール(全上)	七二一	一、八、〇〇〇	八、八九	一、七、一一一	〇、〇四〇	〇、八〇	二十倍
シュツス(全上)	三三〇	九、〇〇〇	四六二	八、五三八	〇、〇三六	〇、六九	十九倍
ベプラ(全上)	一、〇一八	一一、五二五	一、〇四四	一〇、四八一	〇、〇九〇	〇、九八	十一倍
イバ(全上)	九四〇	九、〇二四	七九三	八、二三一	〇、一〇〇	〇、一九	十一倍
ヘリン、ケンタイムバツハ	一、二九八	一五、九九九	一、三八九	一四、六一〇	〇、〇八〇	〇、九三	十一倍半
ニールセルステンケン	九一〇	五、四九四	四一九	五、〇七五	〇、一七〇	二、一七	十三倍
子ツセルルウデン	四五二	一、一五九	七三	一、〇八六	〇、三八〇	六、〇四	十六倍

第五

ブルバタールベル	七〇三	六、三九八	六、一八	五、七八〇	〇、二〇	一、二四	十一倍
アツテンドルフ	三三一	一、〇〇〇	七六	九二四	〇、三二〇	四、〇九	十三倍

小分地併合ノ結果ハ早ク既ニ其利益ヲ感セシメタリ  
 此有要ナル事業ヲ施行シタル土地ハ皆土地耕作ノ技術上ニ係ル方法  
 大ニ進歩シ舊ノ三年期輪耕法ハ面積ノ大ナラサル地ニ在テハ特ニ益  
 消滅シテ一般ニ賣買肥料ヲ使用スルニ至リ秣草ノ産出ハ漸ク擴張ノ  
 景況アリ特ニ人造秣草ノ産出ニ於テ然リトス家畜ノ飼養及外國種ノ  
 輸入ヲ以テスル獸種ノ改良ニ於テモ亦著シキ進歩ヲ見ルナリ  
 或地方ニ於テハ甜菜ノ耕作ハ此時マテ試験シタルヲアレモ常ニ徒勞  
 ニ屬セシニ此時ニ及ンテ施ストナリ得タリ勤勉ニノ才力アル耕作者ノ  
 中ニハ實業ト公示法トニ因テ模範ヲ示シ衆ニ卒先セシ者アリテ又砂  
 糖ノ製造所ヲウアヘルヌ及シヤウムブールニ設ケテ好結果ヲ得タリ



菓樹栽培術モ亦著明ノ勢力ヲ生シタリ菓樹園菜園ノ如キハ曾テ僅カニ數「メートル」四方ノ面積ニシテ他ノ同シク廣カラサル小分地ニ遮斷セラレ閉園垣ナク雁隊ノ來テ荒害ヲ爲シ又秋季ニ於テハ獸群ノ通牧スル所タリシヲ以テ其土地所有主ハ之ヲ處理スルノ勞ヲ取ラズシテ雜草及自然生樹木ノ荒害スルニ放擲シタリ然ルニ交換ノ後此小分地ヲ一所ニ集メ良園ヲ施シタルヲ以テ額ニ其形狀ヲ一變シ今ヤ耕作者特ニ家事管理者ノ跨ル所トナレリ益シ耕作者及家事管理者ハ從來ノ利益ナキ樹木ノ枯枝ヲ伐除シ良種ノ菓樹ヲ植ヘ良種ノ穀類ヲ播キ之ニ因テ以テ其土地ノ價格ヲ四倍ナラシメタルナリ耕作等ノ道路ニハ其兩傍ニ菓樹ヲ植ヘ道路ノ狹キ片ハ並木ノ距離ノ中間ヲ三「メートル」我「三三三」ハ凡タルヘキモノト爲セリ

耕地ニアリシ境界ノ畦ヲ廢シタルトハ大數ナルヲ以テ輕視ス可ラサル土地ノ面積ヲ得タリ「ブス」ノ計算ニ因レハ平均八乃至四「アール」ノ面積ナル小分地ニ分チタル九百十九「エーグル」ノ地ニ在テ隣地トノ境界

タリシ畦ハ其廣狹ニ因リ利用スヘキ地ノ三十三「エーグル」乃至九十三「エーグル」ヲ空フセシモノナリト云フ

衛生及灌溉ノ工事ハ曾テ實行ス可ラサリシニ併合ノ後ニ及テハ之ヲ施シ得ルニ至リ手業工銀ノ騰貴セル時ニ在テハ頗ル急務タル器械ノ使用法モ亦大ニ其地方ニ起リ一般ニ之ヲ行フヲ得ルナリ

又產出ノ費用ハ著シク減シテ三頭又ハ四頭ノ馬ヲ使用シタルモノハ二頭又ハ三頭ヲ以テスレハ足り常ニ氣候ノ不順ナルニ因リ腐敗ノ惧レアリ又時アリテハ數時間ノ事ニ因テ收否ノ關係アル秣草ハ只一ヶ所ノ土地ニ於テ苻リ取り上下反轉シテ積ムカ故ニ處々ニ散在セルニ十ヶ所ノ細分地ニ於テスルヨリハ事業甚ダ迅速ナリトス

舊時ノ農道ハ其過半ハ迂回シテ狹小ニ過キ溝渠ナク一直線ナラサリシニ新圖ニ因テ更ニ土地ヲ分合セシ後ハ各所ニ通セシメ適法ノ計畫ヲ以テシテ設ケタル道路排水溝渠ヲ以テ之ニ代ヘタリ其道路ノ保存ハ沿道ノ土地所有者ノ義務ナリト雖モ常ニ其義務ヲ盡サハルハ惜シ



ムヘキナリ

甚タ小ナル土地所有主ノ大衆ハ處々ニ散在スル細分地ノ爲メニ時間  
ヲ空費シテ僅ニ糊口ヲ爲シ得ルノ產出ヲ爲スニ過キサリシニ其細分  
地ヲ併合セルヲ以テ勞働ニハ多ク報酬ヲ得テ稍安樂ヲ得タリ土地ノ  
併合ニ因リ小耕作者ハ蔬菜馬鈴薯等ノ必要品ニ乏シカラサルヲ得因  
テ國家ノ窮乏ヲ豫防シ村落無產者ノ増進ヲ遏止シ慈惠局ノ負擔ヲ輕  
減シタルナリ

第二 挨塞國土地併合ノ法律ニ係ル報告

獨逸國駐劄欽差大臣

ト、グーセル氏寄送

高部挨塞、低部挨塞、フルダ侯領及ハノー侯國ノ四州ヲ以テ成ル所ノヘ  
ツス、カッセルノ撰舉國ハ一千八百六十六年以降普魯西王國ニ合併シナ  
ソノ舊侯領及フランクホルル府ノ所管地ト共ニヘッスナソノ名稱  
ヲ以テ此王國中ノ一州タリ其州ノ小別ヲカッセル郡ト云フ

普魯西政府ハ沈着戒慎ヲ以テ其勝零シタル諸國ニ畫一ノ制度ヲ布ク  
ノ事業ヲ決行シ敢テ今日又翌日ト日ヲ追テ全國統一ノ法律ヲ頒布ス  
ルヲ爲サ、リシト雖モ常ニ普魯西ニ合併シタル諸州ニ此州ニ於テ  
各自己ノ爲メニ有要ナル經驗ヲ爲シ得ル規則ノ慣習ヲ擴張セシムル  
トニ注意シタリ是レ其舊挨塞撰舉國ニ對シテ取レル所ノ方針ナリト  
ス抑カッセル郡ニ於ケル小分地ノ集合ニ係ル一千八百六十七年五月  
十三日ノ普魯西法律ハ其以前ニ惟士發里ニ適用シタル同種類ノ法律  
ヲ模寫シタルモノナルノミ  
小分地集合ノ方法(獨逸語ツマデンメルンクドンヌハフェル)ハ當時獨逸  
國ニ於テ農家ノ景况ヲ恢復スルノ一法トシテ甚タ誇揚セルモノナリ  
特ニ小山ニ富ミ土地氣候ノ點ヨリ見テ甚タ天然ノ宜シキヲ得スシテ  
森林牧野及耕地ノ互ニ包圍シタル國柄ノ挨塞ニ關スル事ニ於テハ耕  
作法ハ同シ性質ナレ且ニ隔離セル小分地ノ集合事業ハ特ニ有要事  
タルモノト村落ノ土地所有主タル者ヲシテ自家利益ノ爲メ其使用



地ニ隣接セル森林ニ課シタル牧場使用又ハ臥藁採取ノ地役ヲ購價シテ得タル林地ノ一部分ヲ使用地ニ繼續スル秣草地又ハ通常ノ土地トシテ交換スルヲ得セシムルトハ大ニ利益アルモノトス自己ノ所有ナル一區域ノ田野ト家畜飼養ノ爲メ共同シテ使用スル牧場使用權トノ交換ヲ容易ニシ或ハ又諸所ニアル分地ヲ集合シテ容易ニ耕作スヘキ小圃ト爲スハ土地所有主及一般ニ地方耕作ノ爲メニ利益ヲ生スルヤ僅少ニ非ルナリ

狹塞ノ或ル部分ニ於テハ同一ナル土地所有主ニ屬スル孤立ノ姿ナル小分地ノ數ハ著大ニシテ全體ノ農况ハ大ニ其弊害ヲ蒙リシナリ抑小地ノ細分ハ至ル所ニ同一ノ度ヲ呈シタルニアラス曾テ土地ノ分別ハ其品質ニ因ルト雖モ今モ尙ホ然リトス是レ相續ニ因テスル財産移轉ノ事ニ於テ從フヘキ規則ニ關スル所アルナリ

山谷ノ間ニシテ中等ノ高度ニアル平地ノ部分ニ於テハ財産ハ土地賣クシテ交通ノ困難ノ大ナル南部ヨリモ北部ニ於テ大ニ細分セリ山上

ニ於テ利益ヲ收ムルニハ財産ノ面積ヲ縮少ス可テサル必要ハ其分離ヲ妨ケタルモノトス且ツ土地所有主ノ此高度ニ在テ嚴冬ノ害ヲ受ケ意ノ如クナラサル天然ノ事物ニ向テ抗角スルトハ之ヲシテ勇氣ヲ奮起セシメ節儉者タラシメ因テハ其財産ノ保育者タラシメタルモノトス但土地ノ細分ハ習慣ニ因テケシヨロセヘ一ニ決シテ減スルトナク移轉スル財産ヲ保存セシ國ニ至ルマテ之アリト雖モ細分ノ限リナク増加セサルハ唯ダリシテルヌ、フユルダ、ハイムブルド及シユリヒタルヌソ諸郡ナルノミ細分ノ稍大ナルハ數名ノ相續人ニ財産ノ分配ヲ爲ス所ノ國ニアリトス是レ遺產ハ各可成の性質ノ相同シキ配當分ヲ受ルノ方法ヲ以テシテ承權者ニ分配スルノミナラス尙ホ且ツ其配當各分ハ相續人ノ人員ニ應シテ小分地ニ分ル、トアレハナリ

ハノ一郡ニ於テハ農地ノ平均面積ハ四「アール」九十六「サンチアール」ノ概算ナリロツタンブル及ヘルスヘムドノ二郡ニ於テハ其平均ハ之ヨリ大ナラスシテ又或ル地方ニ於テハ之ヨリ甚タ以下ナリトスリシテ



ル又郡ニ於テハ其平均ハ四十「アール」及五十「アール」ニマテ上ルト云フ  
 十「エクタール」乃至十五「エクタール」ノ面積アル農夫ノ所有地内ニ孤立セル  
 二百又ハ三百ニ下ラサル小分地ヲ包括スルノ郡アリ斯ノ如キ状況ノ  
 不問ニ附ス可ラサルハ特ニ數名ノ農夫ノ共同結社シテ農地ヲ耕作ス  
 ル時ニアリトス  
 此過度ノ細分ハ前ニ言ヘル如ク多クハ遺產相續ノ規則ニ因テ來ルモ  
 ノナリ舊撰學國ナル埃塞ノ大ナル部分ニ於テハ土地所有者ノ死去ニ  
 於テ財產ノ移轉ハ羅馬法律ノ規定ニ因テスルヲ原則トスト雖モ或ル  
 點ニ於テハ此規則ヲ廢止シ又ハ改正スル所ノ地方法律及慣習法ヲ定  
 メタリ例ヘハ舊ノホートル州及低部埃塞州ニ於テハ土地所有主ノ子  
 數人ノ內遺產ヲ受クルモノハ唯タ一人アルノミ其一人ハ物件ヲ以テ  
 シテ財產ノ分配ヲ爲スヘキ片ハ各者ニ配當スヘキ所有物ノ賣價ニ當  
 ル金額ヲ其兄弟姊妹ニ給與シテ全体ノ財產ヲ傾收スルナリ此方法ヲ  
 行フ所ニハ土地ノ細分ハ稀ニシテ農業亦隆盛ナリフユル郡ニ於テ

ハ財產ノ移轉ハ關係者間ニ評價ノ協議ヲ遂ケタル後之ト同シ方法ヲ  
 以テス

ハノ一ニ於テハ全ク之ニ異リテ天然分配トモ言フヘキ制度ヲ行フナ  
 リ同一財產ノ共同耕作ヲ爲スタメニ得有ノ協議ヲ爲スヲナク子ハ遠  
 隔ノ地ニ在テ結婚スルト遠國ニ移住スルトヲ論セス其配當分ヲ物件  
 ニテ傾收シ之ヲ所持スルカ又ハ賣價ヲ以テ何人ニ限ラス之ヲ賣却ス  
 ルモノトス又此地方ニ於テハ所有地ノ賣買盛ニシテ共同耕作ノ土地  
 アルハ僅少ナリトス小分地ノ面積大ナラサルヲ以テ其然ルヲ解スヘ  
 シ土地所有主特ニ屢結婚シタル者ノ中ニハ相異ナル地方ニ於テ一人  
 ニテ耕作スル所ノ小分地ヲ有スル者アルヲ見ルハ稀ナラサルナリ  
 斯ノ狀況ニ於テハ埃塞ノ舊撰學君主ノ小分地集合ノ方策ヲ以テ必要  
 ト認メ其治世ニ在テ一千八百三十四年八月二十八日附ノ法律ヲ以テ  
 其慣例ヲ新タニ創メタルハ驚クヘキニ非ルナリ然レモ此法律ハ始メ  
 甚タ効驗ヲ呈セスシテ而シテ小分地集合ノ實施ハ此法律ニ於ケルヨ



リモ關係者間ノ直接ノ協議ヲ容易ナラシメタル一千八百六十七年三月十三日ノ普魯西ノ法律ヲ以テニ非レハ一般ニ行ハレザリシナリ  
 一千八百六十七年ヨリ一千八百八十一年ノ秋ニ至ルマテ換地ニ於テ分合シタル土地ハ二百九十六ヶ所ニシテ面積ハ十六萬五千五百六十「エ」タルナリ又一千八百八十二年ノ末ニ於テハ合計五千四百六十「エ」タルノ面積アル他ノ十ヶ所ノ地方モ亦タ土地ノ配合法ニ改正ヲ施スヘキ豫定ナリシ此年ニ於テ四萬四千四百九十六「エ」タルノ面積アル七十六ヶ所ノ地ハ既ニ分合ノ事業ニ着手シタリ  
 集合シタル小分地ノ數ハ一千八百八十一年ノ末ニ於テ五十九萬七千〇六十「エ」タルナリ是レ唯一地方ニシテ各二十七「エ」タルノ平均面積ナル小分地二千〇十七「エ」タルノ平均トナルモノトス集合ノ事業ヲ以テシテ小分地ノ數ヲ減シタル一八萬千七百十九ニシテ即チ合計數ノ七分ノ一半ナリトス之ニ因テ所有地ノ平均面積ヲ増ス「一」エ」タル九十七ナリ此事業ニ關シタルハ四萬〇六百六十名ノ土地所有主

テ各平均十四「ア」ルノ小分地ヲ有セシニ之ヲニニ減シテ其面積ヲ大ニセルナリ

集合事業ノ實施ハ換地全國均シク改良セントスルニアラス此レ其々地方ニ於テ農地ノ多少其好ナル位地ト又時アリテハ一般ニ涉ラサル機會トニ因ルモノナリ

リントルマノ郡ニ於テハ幾ント諸ノ地方皆其小分地ヲ集合シ又ハ今ヤ其業ヲ施スニ從事シタリ依部換地ニ於テハ其集合ノ慣習日ニ益盛ナリト雖モ尙ホ毫モ行ハサルノ地方アリロダンブール及ヘルスブル  
 Fノ郡ニ於テハ規制土地ノ配分法ニ堪フル能ハサルヲ以テ土地所有主ハ止ムヲ得ス其忌嫌スルニ拘ハラス集合ノ事業ニ從事シタリ然レモ尙ホ土地所有主ノ之ニ決定セサル地方アリ其忌嫌ハ財產ノ賣買負債計畫ノ決定及所方權登記ノ爲メ事業ノ遅延ニシテ甚タ有害タルニ原因スルナリ  
 平均所有地ノ増加擴張ヲ以テ獨逸國農業ノ隆盛ニ欠ク可ラサルモノ



トスル所ノ熱心ナル其辨護者タル進歩論者ハ平均面積ノ農地ヲ容易ニ組織スヘキ小分地集合事業ノ熱心ナル鼓舞者ナリト雖モ其業ハ小ナルモノ及甚々小ナルモノニ於ケルヨリモ大ナル所有地及中等ノ大ナル所有地ニ行フテ以テ利益アリトスルヲハ其誠實ニ認ムル所ナリ然レモ其言ニ曰ク今ヤ既ニ小所有地ハ之ニ因テ損害ヲ蒙ラサル時トシテ悦フ可ラサルナリト

一千八百六十七年ノ普魯西法律ハ獨リ小分地ノ集合ニ關スルモノニアラス地役ノ共有及賠償ヲ廢滅セシムルノ方法ヲモ定メタルモノナリ

此法律ハ三人ノ同一財産ニ權理ヲ有スル場合示該小分地交換ノ訴訟及費用ノ如キ或ル點ニ於テハ惟士發里ノ爲メニ公布セル之ト類似ノ法律ニ讓ルニ止メタリ此法律ハ其定メタル新條ト抵觸スヘキ先時ノ規定ヲ廢止スト雖他人ノ爲メニ所有ノ土地ヲ失ヒタル土地所有主ニ給付スヘキ賠償ノ性質及割合ニ係ル一千八百三十四年ノ揆塞法律ヲ

保持シ其法律ハ一種ノ法律ヲ以テ日附ノ先ナル法律ヲ全ク廢スルヲ見ルノ稀ナル普魯西法律ノ遺傳ニ從ヒ一千八百六十七年ノ法律ヲ以テ規定セサル場合ニ適用スヘキコトヲ附加セリ

第三 普魯西ノ小分地併合ニ係ル一千八百六十七年五月十三日ノ法律

第六千六百五十九號揆塞選舉國地役ノ買戻共有物配當及小分地併合ニ係ル法令

上帝ノ惠ニ因テ普魯西ノ王タル腓特利ヨリムハ揆塞ニ施行スヘキ左ノ條々ヲ令ス

第一條 此法令ノ規定ヲ以テ許可スルモノ左ノ如シ

第一 地役トシテ所有地ニ課シタル使用收益權ノ買戻即チ牧場使用權、木實收穫權、森林權、草率採取權、刈草權、荆棘地芝草採取權、生草收穫權及耕地燒草權、生草苜取權、私有ニ屬スル地及水流内蘆茅藤類收穫權トス



第二 左ノ地役ノ一種又ハ數多種ヲ課スル數多ノ共同所有主又ハ共有主ノ分ツ可ラサル所有物タル土地ノ配當

牧場使用權 生草刈取權 木實收穫權 森林權 蔬菜摘葉權

荆棘地芝草採取權 朽土採取權 泥炭採取權 耕地燒草權

第三 農業經濟ノ原則ニ遵據スル小分地ノ併合

第二條 各關係者ハ第一條第二項ニ記載シタル所有地ノ配當ヲ發議スルノ權アルモノトス但他ノ關係者ノ爲メニ共有ノ權續テ妨害ス可カラス

承權人並ニ地役ヲ其他ニ課セラレタル土地所有主ハ其課セラレタル負擔買戻ノ發議ヲ爲スヲ得

土地ノ買戻配當又ハ併合ノ發議ヲ爲スノ權ハ使用收益權アル土地所有主及土地所有主ニ屬スルモノトス但使用收益權ヲ有スル者及不動産タル買物ノ所持人ハ此權ヲ行フヲ得ス  
債主ノ特權ニ附シタル地又ハ義務ヲ負ヘル地ノ共同所有主ハ相共

ニ又ニ非ルヨリハ其買戻配當又ハ併合ノ發議ヲ爲スヲ得ス但各自ニ歸スヘキ分頭額ニ因テ計算シ同意者ノ少數ヲ得タル片ハ多數ニ因テ爲シタル決定ニ從フヘキモノトス

第三條 共同ノ使用ニ供スル土地ノ經濟上ノ併合ハ土地ヲ以テスルノ協議齊ヒ和解セシムルノ任アル所管ノ官衙ニ於テ併合ヲ必要ト認メタル場合ニ於テハ一區域又ハ其區域ノ一部分ニ及フ地役ノ買戻ト同時ニ爲スヘキモノトス

交換ノ部分ニ耕地アル片ハ關係アル區域内ニ在ル土地ノ所有主ヨリ發議ヲ爲シタル場合ニ於テ地役買戻ノ發議ハ地租臺帳ニ因テ面積ヲ計算シ其土地ノ所有主ノ人員少クモ四分ノ一ヨリ提出スヘキモノトス

斯ノ併合ニ於テ地役ナキ土地ハ協議ノ計畫ト相適フニ於テハ其所有主ノ發議ニ因リ交換ニ用フヘキモノトス

第四條 一區域又ハ其區域ノ一部分ノ土地ノ經濟上ノ併合ハ面積ヲ



地租臺帳ニ因テ計算シ交換ニ附スル土地ノ過半ノ土地所有主ヨリ  
發議シタル片ハ行フヘキモノトス斯ノ併合ノ本法令ニ因テ廢スル  
ヲ得サル共同使用ニ附シタル土地ニ及フ片ハ地役ノ買戻又ハ土地  
ノ配當ハ併合ト同時ニ非レハ爲ス可カラス

第五條 邑ノ負担及費用ノ支出ニ專用スル財産(都府ニ於テハ出納局  
ノ財産ト稱ス)ハ共有物ノ配當ニ因テ邑員ノ私有財産ニ改ム可ラス  
邑員又ハ住居人ノ使用收益權ヲ有スル邑ノ財産(都府ニ於テ府民ノ  
財産ト稱ス)邑民ノ財産ノ部分モ亦共有物ノ配當ニ因テ邑民又ハ  
住居人ノ私有財産ニ改ム可ラス此規則ハ邑民又ハ住居人ノ使用收  
益權ヲ土地ノ所有又ハ特別ナル一身上ノ事情ニ因テ保存シタル時  
ニモ亦適用スヘシ  
是ノ故ニ此使用收益權ノ協議ハ邑民又住居人ノ其使用收益權ヲ得  
タル期限内ニ於テ此協議ノ使用收益權ヲ領得スルノ間共同者ノ責  
格ヲ以テ邑廳ノ處理スヘキモノトス

邑民又ハ住居人ノ資格ヲ以テ權理ヲ有セス他ノ名稱アル權理ヲ  
以テ之ヲ有スル片ハ邑ノ財産上ニ於ケル邑民又ハ住居人ノ使用收  
益權ハ邑ノ財産ノ部分ニ非ス共同物配當ノ時ニ於テ此權理ニ係ル  
協議ヲ爲スヘキ使用收益權ヲ有スル者ノ私有財産ノ部分ナリトス  
第六條 第一條ニ記載シタル權理ノ外ニシテ地役トシテ土地ニ課シ  
タル他ノ使用收益權ハ唯々一方ノ發議ヲ以テ買戻ヲナスヲ得ス買  
戻配當又ハ併合ノ新協議ニ附シタル土地ノ利用ニ有害タル場合ニ  
於テハ其事ニ關係アル者一人ノ發議ニ因リ本法令ニ遵據シテ爲ス  
所ノ他ノ買戻配當又ハ併合ノ時ニ非レハ其買戻ヲ爲ス可カラス  
第七條 地役ノ買戻配當又ハ併合ヲ發議スルノ權理ハ契約志望ノ申  
報又ハ裁判ニ附スル丁ニ因テ禁止セス又ハ期滿免除ニ因テ消滅セ  
サルモノトス此權理ノ禁止ヲ定ムル契約及志望ノ申報ハ十年ニ超  
ヘサル時ノ間必爲スヘキモノトス此十年ヲ過クレハ各關係者ハ配  
當買戻及併合ノ權理ヲ行フヲ得



第八條 注意スヘキ權理及義務ノ存在性質及廣狹ニ關スル事ニ於テハ唯々存在權理ノ規則ニ據リタル決定ヲ爲スヘキモノトス

公正ナル志望ノ申報書、法律ノ効力アル認證書規約上ノ權理又ハ一定慣習法上ノ權理ナキハ牧場使用權ヲ分有スヘキ家畜ノ頭數ハ左ノ如ク定ムヘシ

第一 各季秣草ノ產出ニ適スル土地ヲ所有スル者ニ在テハ其土地ノ秣草產額ニ因ル

第二 其他ノ關係者及第一項ニ記載スル者ニ在テハ牧場使用權アル家畜數頭ノ最少額ハ牡牛一頭半ニ定ム

第九條 買戻配當及併合ヲ爲ス毎ニ各關係者ノ爲スヘキ協議ノ方法及廣狹ヲ定ムルコトハ協議ノ施行ト同シク雙方ノ自由ナル協議ニ放任スルモノトス但第十四條及第二十三條ノ規程ヲ遵奉シ其他地役買戻配當及併合ノ契約ヲ協議ニ任スル所管官衙ノ検査ニ附シテ認可ヲ受クヘシ

雙方ノ間ニ協議ノ齊ハサルハ左ノ規則ヲ適用スヘキモノトス

第十條 配當分離及併合ハ各關係者ニ其所有權又ハ享有權ノ賠償トシテ一定ノ年金、資本又ハ不動産ヲ以テ相當ノ給與ヲ爲シテ行フヘキモノトス

第十一條 其事ヲ行フニ分配權理ノ算定ハ鑑定人ヲシテ爲サシムヘシ不動産及土地ハ其普通價ヲ以テ評價シ近時肥料施與ノ景况即チ其地方ニ通例ナル種子ニ未ダ効力ヲ及ボサル肥料ハ定期享有ノ爲メニ既ニ起行シタル他ノ耕作費ト同シク特別ノ算定ヲ爲シ得有者ヨリ讓與人ニ正金ニテ各別ニ給與スベシ

買戻スベキ地役權ノ評價ハ其地方ニ慣行スル利用法ニ因リ他ノ關係者ノ分配ニ對シ平均比例ヲ以テスベシ評定シタル價格ハ此類ノ課役アル土地享有ノ通常ノ合計價格ニ越ユ可ラズ

但森林ト分ツ可ラズシテ本法令ニ因テ買戻スベキ地役ニ在テハ課役アル森林所有主ハ自己請願人タル場合ニ於テハ地役權理者ニ給



與テ爲スニ地役ニ因リ收益ニ從フカ又ハ地役買戻ノ後其買戻者ノ利益ニ從フカノ内一方ヲ撰フノ權理ヲ有ス此乙ノ場合ニ於テハ給與ノ額ハ地役權理享有ノ價格ヲ越ユ可ラス

第十二條 森林内ノ牧場及秣草地ニ課スル地役權理ノ買戻ニ在テハ配當ノ時ニ於テ其平均度ヲ越ヘタル景况ナルル又ハ平均ノ植林景况マデ森林ノ栽培ヲ進ムルノ權理ヲ契約期滿免除又ハ裁判ニ因テ所有主ヨリ取り上ケザルルハ平均植林ノ景况ヲ本トスヘシ  
植樹林ト稱スル森林ニ在テハ造林ノ景况ハ本法令布告ノ前再植造林ノ規制トセシ原則ニ從テ認定スベシ

第十三條 享有權理ノ價格ノ認視及確定ノ時ハ其享有權ヲ有スル者ニ命ズル報酬ヲ差引クベシ但雙互地役ノ價格ハ可成的相殺法ヲ以テ平等ニスルモノトス

第十四條 各共有主ハ共有不動産ノ物件配當ヲ請求シ得ルヲ以テ一般ノ規則トス但共有シタル森林ノ物件配當ハ分離スル部分ノ森林

使用ニ適合スルカ又ハ森林栽培ニ於ケル如ク他種ノ耕作法ニ用ヒテ利益ヨリ得ヘキ場合ニ非レハ全部又ハ一部分ニ行フ可ラス此場合ノ外ニ於テハ森林共有者ノ共有ハ公賣ニ附シ最モ高價ヲ以テスルニ非レハ爲ス可ラス

第十五條 牧場權買戻並ニ公正ノ證書ヲ以テ契約シタル薪木年賦金ノ支拂ハ正金ヲ以テスヘキモノトス此一定薪木年賦ノ地役ニ非ラズシテ實際ノ課税ナルルハ本法令ノ規定ニ因テ買戻ヲ爲シ得ヘキモノトシ但寺院寺領社利ニ於ケル實際ノ課税ニ本ツキタル年賦納金買戻ノ權理ハ此限ニアラス

第十六條 第一條及第六條ニ因リ買戻シ得ヘキ他ノ地役ノ買戻金支拂ハ其地役ヲ課シタル土地又年賦納金者ノ申出ニ因テハ他ノ之ニ充テタル土地ノ相當ノ部分ノ讓與ヲ以テ爲ステ一般ノ規則トス讓與スヘキ土地ハ第十一條及其次條ニ因テ計算スヘキ賠償金額ノ二十倍ニ同シキ元金價格ヲ有スヘキモノトス



土地ヲ以テスル賠償ノ有權者又ハ年賦納金者ノ經濟上ノ利益ニ相當セサルキハ其地役ニ係ル納金ハ全部又ハ一部ヲ正金年納ニテ爲スヘキ者トス正金年納ハ牧場使用、生草刈取、林木採收、樹皮採取、蕁草刈取并ニ芝草刈取、荆棘地帯形採取、耕地燒草ノ權理ニ在テハ土地ヲ以テスル賠償ノ其地ヲ他ノ耕作法ニ用ヒテ森林ノ栽培ニ用ヒタルヨリモ漸ク大ナル利益ヲ生スヘキ時ハ雙方ノ間ニ於ケル後日ノ契約ニ因テ爲スヘキモノトス但此場合ニ於テハ賠償ハ必要タル耕作費ヲ參酌シ他ノ耕作法ヲ以テシ有權者ノ爲メニ計算ヲ爲スヘシト雖モ其額ハ決シテ土地ヲ森林ノ栽培ニ用ヒテ増加スヘキ價格ヨリ以下タル可ラス

地上ニ在ル栽培ノ樹木ハ森林ノ所有主ニ屬スルモノトス其所有主ハ別段ノ契約ナキニ於テハ三年ニ越ユ可ラサル期限内ニ於テ調査ニ任スル官衙ノ命令ニ從ヒ土地ノ所有物トナル前ニ之ヲ除去スヘキモノトス

森林ノ所有主ハ其除去全ク終テ土地ヲ交付スルマテハ尙ホ讓與セサル地面ノ産價ニ當ル年賦正金ヲ有權者ニ支拂フヘシ

但林樹ノ共有及蕁草ノ貯蓄ナル地役ノ權理ニ在テハ負債アル土地所有主ハ樹木ノ正定森林栽培法ニ用ヒタルモノナルキハ之ヲ算入シテ唯タ林樹ノ栽培ニ適シタル地ヲ以テ有權者ニ賠償ヲ爲スノ權理アルヘシ但此場合ニ於テハ賠償トシテ讓與シタル地面ハ喬木林ノ培養ニ供シタルニ外ナラサル樹林ノミナルキハ少クモ「マグデアール」ノ三十「モルゲン」マグデアールノ十「モルケン」ハ二十五「アール」五十二「サンチアール」ニ當ルノ廣サアルヘキモノトス

年賦納金者ナル土地所有主ハ有權者ノ甲又ハ乙ヲ満足セシメタルキハ尙ホ賠償ヲ受ケサル他ノ共同關係者ヨリ賠償ノ權理ノ割合内ヲ以テ享有物件ノ一部ヲ取り自由ニ之ヲ處分ヲ爲スヲ得

第十八條 併合ノ時各關係者ハ配當ノ内ニ入りタル不動産ニ對シ土地ヲ以テ賠償ヲ受クヘキモノトス但面積ノ異ナル場合ニ於テハ懸



談ヲ以テ面積ノ増加ヲ了諾スルコトハ他ノ性質ナル不動産ニ對シ我  
不動産ノ交換ヲ承諾スヘキカ如クナルヘシ土地ノ賠償ニ補充スル  
爲メニ必要タル場合ニ於テハ例外ニ正金ヲ以テ其補充ヲナスコト  
ルヘシ

主重ノ收入ヲ得ル爲メニ其日マテ用ヒタル方法ヲ變更スルノ必要  
ヲ生スル賠償ハ共同關係者ノ内何人ニモ命ス可ラス

斯ノ變更ニ在テハ注意スヘキモノ如左

第一 農業用地ヲ家畜飼育ノ圃場ニ變スルカ又ハ本來ノ耕作ニ使  
用スル時ハ其中一方ハ主要ノ點ナルヲ以テ後來ニ附屬物タルヘ  
キカ如何

第二 他ニ優リシ農業ノ主重ナル支部ハ全部又ハ其大ナル部分ヲ  
放棄セサル可ラサルカ又ハ新タニ舎屋ヲ建設スルニ非レハ繼續  
スヘガラサルカ如何

第三 耕馬ヲ所持スル農業者ノ後來其馬匹ヲ畜用スルヲ得スシテ

手業ヲ以テ其土地ヲ耕スヘキノ止ムヲ得サルカ又ハ手業ヲ廢シ  
テ耕馬ヲ用ヒサルヲ得サルカ如何其日マテ用ヒタル他ノ耕作法  
ノ變更ハ同シ耕作法ナルカ又ハ最大要事ナル場合ノ外許可セザ  
ルモノトス

第二十條 土地ノ配當ハ諸ノ關係者ノ農業上ノ利益ニ最モ其適ス  
ル方法ヲ以テ爲スヘキモノトス抽籤ハ配當分ノ經濟上ノ景況ニ損  
害ヲ生セサル場合ニ於テノミ行フヘシ

各共同關係者ニハ配當ニ因テ已レカ有タル土地ノ使用ニ必要ナル  
道路ノ通路ヲ得セシムヘシ且ツ疏水溝ナキカ爲メ土地ノ評價シタ  
ル收入ヲ生セサルハ其溝ニモ注意スヘキモノトス各共同關係人  
ハ配當セル不動産ニ於テ汲水所ノ欠ク可ラサル共有法ヲ存スルコ  
ト及其汲水所ハ共同配當者ニ最モ便利ナル方法ヲ以テ設クヘキコト  
ヲ請求スルノ權アルモノトス

配當ノ前ニ共同シテ利用シタル陶土、砂、石灰「マル」ノ溝渠、石灰坑及



石坑ハ共同配當者ノ此類ノ工事ヲ放棄シテ賠償ヲ得サル以上ハ後  
 來共同ノ享有トスヘシ  
 此等ノ工事ヲ施ス築造及保存ニ要スル費用ハ配當ノ權理ニ割合ヒ  
 共同配當者悉皆ノ負擔トス  
 配當セル土地ノ在來ノ道路ハ配當計畫ヲ適宜ニ定ムルニ必要ト認  
 ムルニ於テハ場所ヲ換ヘ又ハ廢スルモ妨ケナシトス此變更ニ因リ  
 著名ノ損害ヲ生スルニ非レハ其道路享有ノ關係者ハ故障ヲ陳フル  
 ヲ得ス  
 溝渠川河及橋梁ノ變更ニ關スル事ニ於ルモ亦同シ  
 屋舎本家園亭庭園及菓實葎實蔬菜耕作葡萄樹麥ヲ產出スルヲ主要  
 ノ目的トシタル建設物森林栽培ニ供シタル林地陶土砂石灰「マルス」  
 ノ溝渠石灰原石及共同ノ享有ニ屬セサル他ノ石坑並ニ鑛酸化石灰  
 及他ノ肥料ノ堀採ニ用フル土地鑛泉所在ノ土地ハ各關係者ノ承諾  
 ヲ以テスルニ非レハ併合ノ中ニ入ル、ヲ得ス

第二十三條 一定ノ正金年賦外ノ年金ヲ承諾シタル雙方間ノ契約ハ  
 許可ス可ラサルモノトス  
 凡ソ賠償トシタル諸種ノ年賦ハ有權者及年賦納金者ノ發議ニ因リ  
 其價格ノ金高二十倍ノ現金拂込ヲナシ六ヶ月前ニ豫報ヲ爲スノ後  
 買戻スヲ得年賦納金者ハ報知ノ日ヨリ均一ノ拂込ヲ爲シ繼續ノ  
 四ヶ年ヲ以テ元金ヲ濟崩ニスルノ權ヲ有スルモノトス但有權者ハ  
 最少額ノ三百七十五法ノ金高ニ達セサル時ニ非レハ分納ノ支拂ヲ  
 承諾セサルモノナリトス  
 期限ト支拂ノ金高トヲ定ムルニ於テ此他ノ協議ヲ爲スハ雙方ノ自  
 由タルヘシ但支拂ノ金高八年金ノ額二十五倍ニ越ユルヲ得ス此規  
 程ニ抵觸スル契約ハ有權者ニ於テ年金額ノ二十五倍ノ他ニ請求ス  
 ルヲ得サルノ結果ヲ生スルモノトス  
 第二十四條 地役ノ買戻配當又ハ併合ノ時第三者ノ直接ナル土地所  
 有主トシテ關係人トナリ介人贈遺ノ關係人トナリ又ハ買戻ノ賣主



書入質ノ債主使用收益權者俸祿者又ハ小作人トシテ關係者ノ中ニ入ルルハ分離ニ對シテ故障ヲ述フルノ權ナシ

第二十五條 配當ニ因リ關係アル各者ノ受ル所ノ賠償ハ其消滅スル所ノ配分ノ權理其買戻ス所ノ權利ハ交換ニ讓與スル不動産所在ノ地ニ於テ定ムヘキモノトス

土地ヲ以テスル賠償ノ諸種ノ權利又ハ關係者一人ノ權利ニ付シタル不動産ニ對シテ賠償ヲ要スルルハ賠償ノ全部ハ此不動産ノ各種及此權利ノ各種ニ配當スヘキモノトス但好機會ノ來ル迄分配ヲ延期スルヲ又ハ關係者一人ノ請求ヲ待チ其時迄只全部ノ賠償ニ於テ相殺スヘキ不動産各種及權利ニ宛ル課額ヲ定ムルヲハ配當ニ任スル官衙ニ屬スルモノトス

第二十六條 地役買戻ノ賠償ニ支拂フヘキ年金及元金ハ買戻シタル地役ヲ課シタリシ不動産ニ係ル法律上ノ書入質權ト共ニ交付シ諸ノ他ノ書入質債權ヨリモ先番ニ在ル買戻シタル權利ニ屬セシ債主

ノ特權アルヘシ廢止タル配分ノ權理又ハ消滅シタル不動産ノ代タル年金及元金ハ配當ノ圖ニ因テ定メタル不動産ニ係ル法律上ノ書入質權ニ附シ諸ノ他ノ書入質權ニ對シ先取ノ權アルモノトス

第二十七條 地租及課税ハ配當前ノ如ク不動産ニ附着スルモノトス課税アル不動産ニ對シ課税ナキ又ハ債主ノ特權アル不動産ノ交換ニ於テハ課税アル不動産ハ課税ナキ又ハ債主ノ特權アル不動産ノ種類中ニ入ルヘシ

財産ノ併合ヲ定メタル區域内ニ於テ併合ノ中ニ入ル不動産ニ課シ其日マテ支拂ヒタル地租ノ全額ハ其併合ノ時官衙ノ承諾ヲ以テ分配ノ爲メニ探可シタル總收益ニ從ヒ配當賠償ノ計畫ヲ以テ分配スヘシ

第二十八條 使用收益權者ハ賠償ノ得有ヲ以テ足レリトスヘク小作人ハ賠償ニ因テ得タル土地ノ使用ヲ以テ足レリトスヘキモノトス小作期限ノ滿ル前ニ生セサル限リハ一時ノ損害ニ對シ賠償ヲ受ク



ルノ權利ヲ有ス貸主ハ之レカ爲メ生シタル費用ヲ小作人ニ返付  
 スル爲メニ不動産ノ圍垣道路溝渠汲水所ヲ設ケルコトヲ負擔スヘシ  
 借地契約期限ノ間小作人ハ年金ノ賠償ヲ得ヘク元金ヲ以テスル賠  
 償ノ場合ニ於テハ承諾シタル拂込期限ニ割合ヒ年々小作料拂込ノ  
 内ヨリ年々百ニ五ナル此元金ノ利子ヲ差引クノ權ヲ有ス小作人ノ  
 此賠償ヲ以テ足レリトセサルハ配當計畫ヲ知リタル日ヨリ三月  
 以内ニ借地契約ヲ報告スルハ自由ナリトス此場合ニ於テハ借地條  
 約ハ其年ヲ以テ終ルモノトス但契約ヲ報告セル日ヨリ此時マテ三  
 月ヲ經過セサルハ借地契約ハ翌年マテ繼續スヘキモノトス  
 賠償ヲ承諾シタル不動産ノ使用收益權主ハ使用收益ノ期限ノ間賠  
 償年金ノ支拂ヲナスヘキモノトス元金ヲ以テスル賠償ノ場合ニ於  
 テハ其賠償ヲ支拂フノ義務アル土地所有主ニ支拂ノ日ヨリ百ニ五  
 ノ計算ヲ以テ其元金ノ利子ヲ償還スヘシ  
 亦不動産ノ小作人ニ於ケルモ同シトス但此場合ニ於テハ其小作人

ハ前ニ定メタル規定ニ因リ其借地契約ヲ報告スルノ權利ヲ有ス  
 本條ヲ以テ小作人ニ與ヘタル報告ノ權理ハ配當ニ任スル官衙ノ意  
 見ニ因リ地役買戻ノ時買戻シタル權利ノ全体ノ使用ニ比シ買戻ノ  
 後經濟ノ景況ニ著名ナル變化ヲ生セス又不動産ノ配當及併合ノ後  
 小作人ノ爲メニ著名ナル損害モナク小作ニ附シタル不動産ノ經濟  
 ノ景況ニ明ナル變化ヲ生セサル時ニアラサレハ行フヲ得ス  
 配當買戻又ハ併合ノ時小作人ト貸主トノ間ニ裁判ニ於テ有効タ  
 ルヘキ他ノ約條ヲ借地契約中ニ記入シタルハ其條約ニ因ルヘシ  
 第二十九條 本法令ノ施行ハカセラルニ設置スヘキ一般委員會及在伯  
 林農業事務再檢局ニ委任ス  
 第三者ノ權理協議ノ方法ノ全体並ニ費用ノ事項ニ關スル事ニ於テ  
 ハ惟土發里州共有物財產上ノ現行法タル同一ノ規則ヲ適用スヘキ  
 モノトス只建築物森林及泥炭坑ノ評價ニ在テハ仲裁ヲ以テスル方  
 法ハ各共分者ノ承諾ヲ以テスルニアラサレハ用ヒサルモノトス



第三十條 配分ノ權利及其廣狹ニ關スル争訟及一般ニ本法令ノ定ムル所ニ係ハラス裁判ニ提出スル訴訟ヲ起スヘキ權理ノ事項ニ關スル事ニ於テハカッセル上等裁判所ニ於テ終審ヲ以テ其裁判ヲナスヘシ

第三十一條 本法令ノ第一條ニ因リ買戻シ得ヘシト定メタル使用收益權ハ以後司法上ノ契約ヲ以テスルニ非レハ設クモ得ス

繼續ノ所有及之ニ基キタル期滿免除ハ以後其得有テ生スルノ効ナシ有期滿免除ノ期限ハ本法令ノ現行法タル日ヨリ使用收益權ニ對シ中斷スヘシ

買戻發議拒絕ノ權理ニ付テハ第七條ノ規則モ亦以後設クヘキ使用收益權ニ適用スヘキモノトス

第三十二條 本法令布告ノ後成立ツヘキ第一條ニ示シタル種類ノ共有物ハ一般ノ法律ノ規則ニ據ラサレハ配當スルヲ得ス

第三十三條 附屬ニ非サル森林地役買戻ノ費用、課役アル森林ノ測量費及改良費ハ避クヘカラサル場合ニ於テハ配當權理ノ高ニ割合共

分者ノ負擔トス其他ノ協議費ハ其協議ニ因テ得ル所ノ利益ニ割合テ共分者之ヲ負擔スヘシ此利益ノ概算額ハ協議委員之ヲ評價シ費用ハ其施行ニ任スル所管ノ官衙之ヲ算定スヘシ

其他ノ配當地役買戻及併合事務ニ在テハ測量費及改良費並ニ他ノ協議費ハ協議ニ因テ各者ノ得ル利益ニ割合ヒ共分者之ヲ負擔スヘシ其利益ノ發見ス可ラサル場合ニ於テハ之ニ代ルニ配當權理ノ價格ヲ基本トスヘキモノトス

共分者ノ間ニ生シタル紛議又ハ訴訟ニ因テ生シタル費用ハ訴訟入費規則ニ從ヒ敗訴人ノ負擔タルヘシ

第三十四條 本法令ニ定メタル物件ニ係ル先時ノ規則ノ本法令ニ抵觸スルモノハ總テ廢止トス

第三十五條 在來ノ共有物配當ニ係ル一千八百三十四年十月二十五日ノ法律ハ家畜ノ看守ニ係ル事ニ在テハ本法令ヲ以テ廢止タルシ此法律ヲ基トシタル賠償ノ種類及額並ニ費用賦課ノ割合ニ係ル定



規ハ廢止セサルモノトス  
家畜看守ノ配當ニ係ル中止ノ事務ハ現況ノ儘新方法ノ規則ニ移ル  
モノトス

土地ノ併合ニ係ル一千八百三十四年八月二十八日ノ法律ハ本法令ノ  
規則外ナル孤立土地ノ交換ニ關スル事ニ於テハ尙ホ現行法タルヘシ  
第三十六條 飼羊場借區ヲ許スノ權理ハ本法令ノ現行法タル時ニ於  
テ賠償ヲ與ヘスシテ廢止タルヘシ以後其權理ハ羊ヲ飼養シ又ハ出  
場セシムル借區ノ占有權ニ附屬セサルモノトス  
朕ハ裁可ノ上朕ノ署名ヲ爲シ王璽ヲ鈐セシム  
一千八百六十七年三月十三日

伯林ニ於テス

ギーヨーム署名

コント、フォン、ピスマルク、シエエンハウゼン、パロン、フォン、デル、ハ  
イト、フォン、ローン、コント、フォン、イトレン、ゾリツ、ホン、ミューレル

コント、ツァール、リツベ、ファン、セルヒヨ、コント、ツァイレン、ブ  
ルヒ

(農務局編纂員ナルリー氏ノ反譯)

第四 一千八百八十四年六月十九日刊行北獨逸新聞「振萃」  
邊般國務大臣グシュース氏ノ森林ノ大細分及新集合ノ施行ヲ點檢ス  
ル爲メニカッセル郡ヲ巡回セル公務旅行ノ途次左ノ著明ナル事實ヲ現  
出シタリ  
一日大臣ハハノー郡ノナスタイム邑ヲ巡回セリ此邑ハ四年前ニ人民  
動搖シ石ヲ擲チ又脅迫ヲ以テ事業ニ任スル測量數學士ヲ追逐シ小分  
地ノ併合ヲ以テスル所有地再構成ノ施行ヲ妨ケンヲ試ミタル所ナ  
リ抑強制法ヲ以テシテ集合ヲ爲サシムルノ目的タル法律上豫定ノ條  
規ハ必定經濟上ノ大利益ヲ生スヘキカ故ニ其人民不穩ハ全國ノ例タ



ルヘキ特別ノ重要事タルモノ、如クナリキ是ニ於テカ大臣ハ人民ノ  
 動搖シテ争フアルニ拘ハラス施行スルヲ命令シタリ  
 曾テ九千四百ノ小分地ニ細分セシ八百八十「エクタール」ノ面積アルナ  
 タイム邑ハ後悉ク分合法ヲ行フテ五百九十七人ノ大ナル土地所有主  
 ニ屬スル千百六十ヶ所ノ新地ニ配分セリ此新地ハ便宜ニ設ケタル道  
 路ヲ以テ出入ノ便宜ヲ得溝渠ヲ穿テ灌溉ノ利ヲ得タルモノトス  
 土地所有主ハ大ニ熱心シテ二三年前ヨリ己レノ有トナレル土地ヲ平  
 坦ニシテ耕作セリ苦情ヲ鳴シタル所有主ハ僅カニ六名ニシテ其他ハ  
 皆其事業ノ施行ヲ承諾シタリ  
 大臣ハ田野ノ境界ニ於テ幾ント全員ノ待遇ヲ受ケ四年前ニ在テ併合  
 差止ノ建白書ヲ携ヘ伯林ニ行キシ出願委員ノ長ハ大臣ノ前ニ進ミ住  
 民ノ願望スル所アリシニ拘ハラズ併合ヲ施行シタルヲ鳴謝セリ曾  
 テ其住民ハ事情ヲ解セサリシト雖モ今ヤ小分地ノ價格ヲ三倍ナラシ  
 メタル場合多キヲ以テ其處置ノ利益ヲ認知シタルナリ

同シク満足ナル事項ノウヘルヌ、ツンチルヌ、ブリッスラール、フルスベル  
 グ、チーレンベルグ等ノ如キ専ラ農業ノ行ハル地方ニ願ハレタルモノ  
 甚タ多シ到ル所皆併合ノ經濟上ニ於ケル利益ヲ認知スルノミナラス  
 最良ノ管理法ニ因リ土地ノ收入ヲ増ス爲メニ土地所有主ノ勢力熱心  
 ハ一層盛ナリシヲ経験ニ因テ確認シタリ  
 二三ノ場合ニ於テハ訴訟入費ノ嵩ムト日限ノ長ク掛ルトニ付キ大ニ  
 苦情ノ起リシヲアリト雖モ事業ノ惡結果ニ係ル苦情アリシ場合ハ甚  
 タ稀ナリトス  
 カセル郡ノ一般委員會ノ所管内ニ於テ一千八百八十三年以後實地集  
 合シタル土地面積ノ合計ハ一萬〇三百二十五ノ地所ニ分レタル一萬  
 千三百十五「エクタール」ニ上レリ之レヨリ先キ其所有地ハ土地臺帳上ニ  
 於テ四萬七千九百三十六ヶ所ノ小分地ニ細分セルナリ  
 委員會ノ設置アル十六年ノ間ニハ十八萬〇三百六十一「エクタール」ノ面  
 積アル四百十三ヶ所ノ土地ニ小分地併合ノ事業ヲ施シタルモノトス



即チ一ヶ年ノ平均ハ一萬千二百七十三「エクタール」ナリ

此事業ハ五萬七千〇十四人ノ土地所有主ニ係リ其内譯ハ左ノ如シ

一「エクタール」ヲ所有スル者 三萬六千六百六十一人

即百ニ六十四人、三十

一「エクタール」以上五「エクタール」以下ヲ所有スル者 壹萬三千四百五十

五人

即百ニ二十三人、六十

五「エクタール」以上十「エクタール」以下ヲ所有スル者 二千九百人

即百ニ五人、〇八

十「エクタール」以上二十五「エクタール」以下ヲ所有スル者 二千八百六十

一人

即百ニ五人、〇二

二十五「エクタール」以上四十「エクタール」以下ヲ所有スル者 六百七十五

人

即百ニ一人、十八

四十「エクタール」以上ヲ所有スル者 四百六十二人

即百ニ〇人、八十二

合計五萬七千〇十四人

小分地ノ數ハ大畧八ヨリ一ニ減シタルモノトス此時ニ爲セル經驗ニ  
因レハ共同ノ所有タル財産ノ分離ハ小ナル土地所有主ノ人員ヲ増加  
スルノ傾向ヲ増セリト云フ道路ノ築造ハ勿論導水及流水溝渠ノ線路  
布置宜シキヲ得タルハ永久ノ利益ヲ生セサルハアラス



○國立職藝學校規則ニ係ル布告

(千八百七十三年十一月六日付)

佛蘭西共和國大統領ハ

職藝學校ノ組織ニ關スル布告王令及ヒ規則就中千八百六十五年十二月三十日ノ布告ヲ参照シ

農商務卿ノ報告ニ基キ

布告ス

第一款 一般ノ成規

第一條 シヤイロン、シユル、マンヌ、アルセル及ヒエクスノ職藝學校ハ

木鉄ノ使用ニ關スル工業ノ爲メ專ラ該工業ニ有益ナル學藝ノ實地

ニ熟達スル工場長及ヒ職工ヲ養成スルヲ以テ目的トス

職藝學校ハ農商務卿ノ管轄ニシテ該學校ヲ設置シタル各地ノ縣知事之ヲ監督ス

第二條 職藝學校ノ學生ハ悉ク校内ニ寄宿セサル可ラス



各職藝學校ニ於テハ入校ヲ許ス可キ學生ノ最大數ヲ三百名ト定ム  
第三條 寄宿料ハ一年六百法ニシテ毎三ヶ月ノ初メ國庫ニ納メシム  
一切ノ衣類料ハ同シク毎三ヶ月ノ初メ國庫ニ納ム可キモノニシテ  
其金額ヲ二百五十法ト定ム

其他入校ノ際一切ノ在校費トシテ五十法ヲ納ムルモノトス

第四條 眷族ノ財産不充分ニシテ學費ヲ支フルニ足ラサル旨豫メ證  
明シタル學生ニハ政府ヨリ學費全部又ハ一部ノ補助金ヲ與ユル  
アルヘシ

第五條 若シ學生ノ眷族ニシテ一學年ノ經過中不慮ノ災難ニ罹リ寄  
宿費ノ一部ヲ納ムル能ハサル場合ニ至リタル時ハ校長ノ上申及ヒ  
學校會ノ意見ニ依リ卿ノ特裁ヲ以テ其上納ヲ免スルノ例外アリ  
第六條 學生ハ一様ノ服裝ヲ爲スモノニシテ其服裝ハ卿ノ定ムル所  
トス學生ハ何等ノ部分ト雖モ其服裝ヲ變更スルヲ得ス學校外ニ  
在ル時モ亦同シ

第二款 入校許可ノ方法及ヒ條件

第七條 下ニ學載スル規則ニ從ヒ入校試驗ヲ受ケルニアラサレハ職  
藝學校ニ入ルヲ得ス

第八條 佛國人民ニレテ且ツ試驗執行ノ當年十月一日ニ於テ十五歳  
以上十七歳以下ノ年齢ナルヲ豫メ證明スルニアラサレハ何人ト  
雖モ試驗ヲ受ケルヲ得ス

何等ノ事情アルモ右年齢内ノ者ニ非レハ入校ヲ許サス

第九條 入校試驗ノ請願ハ試驗執行期限三ヶ月以前ニ其本籍地ノ縣  
知事ニ宛テ書面ヲ以テ爲サ、ル可ラス

其請願書ニハ左ノ書類ヲ添付ス可シ

第一 候補者ノ出產證書

第二 身體ノ健康就中瘡症其他之ニ類似ノ病症ニ罹リシヲナキ旨ヲ

證明シタル醫學博士ノ證明書

第三 種痘證明書



第四邑長ヨリ授與シタル品行端正性質温良ノ證明書及ヒ學生ニシテ耶蘇奮教ノ宗徒ナル時ハ第一ノ洗禮ヲ受ケタル證明書  
第五候補生ニ於テ工業ニ從事シタル旨ヲ保證セシ工業長又ハ工場長ノ證明書

第六學生ノ負担ス可キ寄宿費ノ全部又ハ一部尙ホ一切ノ衣類料及ヒ在校費ヲ担当ス可キ旨ヲ職セタル父母ノ約定書  
第十條 補助金請願書ハ之ヲ卿ニ差出ス可シ

該請願書ハ入校試験出願書ト同時ニ縣廳ニ差出ス可シ

該請願書ハ香族ノ財産不充分ナルヤ否ヲ證明セシムル爲メ縣知事ヨリ之ヲ候補生本籍地ノ邑會ニ送付ス

邑會ハ其決議案ニ證明書ヲ添ヘ之ヲ縣知事ニ差出シ縣知事ハ自己ノ意見ヲ付シタル上之ヲ卿ニ送呈ス

第十一條 入校セントスル者ハ左ノ學術ヲ修メタルヲ要ス  
習字

級字

算術就中四則分數小數比例及ヒ圓平

幾何初步但シ平面幾何迄野書及ヒ彩色書初步

代數四則

其他候補者ハ試験委員ノ面前ニ於テ左ノ試験ヲ受ケサル可ラス

書取

算術二問題

幾何二問題

野書一枚

尙又同シク試験委員ノ面前ニ於テ候補生カ實地ヲ履ミタル職業ニ關シ木鐵二個ノ内ヲ以テ一品ヲ製作セサル可ラス

第十二條 候補生ハ各縣ノ首府ニ設ケタル特別ノ試験委員會ニ於テ豫備試験ヲ受ケ其筆記試験科目ハ三學校共同ニシテ其受験時間モ亦同一ナリ而シテ該試験ノ結果試験委員會ノ出題ニ適中シ依テ



及第シタル候補生ニアラサレハ最終ノ試験ヲ受ケルヲ得ス  
第十三條 特別試験委員會ハ縣知事又ハ縣知事ノ委任ヲ受ケタル大  
書記官ヲ委員長トシ左ノ職員ヲ以テ組織ス

- 算術教師一名
- 書學教師一名
- 文典教師一名

及ヒ學校教授科目ノ工業ニ練達スル縣内ノ工業家二名  
試験委員ハ縣知事之ヲ命ス

試験委員會ニハ同シテ縣知事ノ命シタル醫師ヲ置キ命スルニ候補  
生ノ體格ヲ證明スルノ任ヲ以テス

第十四條 試験委員會ハ三學校ノ爲メ布達ヲ以テ定メタル時日ニ之  
ヲ開ク

試験委員ハ候補生毎ニ細密ナル試験結果調書ヲ作り其面前ニ於テ  
候補生ノ爲シタル習字及ヒ算術圖書及ヒ製作品ヲ之ニ添付ス且又

同ニノ調書ニ候補生中最終ノ試験ヲ受ケ可キ者ト受ケ可クサル者  
トニ付其意見ヲ記載ス

第十五條 各縣試験委員會ハ其試験事務ヲ終リタル后試験調書ヲ縣  
知事ヲ經テ即ニ送呈シ縣ハ此調書ヲ審閱シ各三學校ノ地方ニ從ヒ  
最終試験ヲ受ケ得可キ候補生ノ名簿ヲ定ム

第十六條 各地方ニ派遣スル最終試験委員ハ即ニ於テ之ヲ命シ候補  
者ヲシテ最終試験ヲ受ケシム

該試験ハ筆ニ口述ナリ而シテ豫備試験ノ筆記及ヒ製作品ハ之ヲ試  
験委員ニ交付シ候補生最終ノ試験優劣ヲ定ムルノ材料トス

第十七條 試験委員ハ豫メ公用新聞ヲ以テ公告シタル期限ニ當リ即  
ニ於テ試験場ト定メタル市邑ヲ順次ニ巡遊ス

最終試験ヲ受ケ可キ候補生ニハ各通テ以テ試験期日及ヒ試験場ノ  
通知ヲ爲ス

第十八條 試験委員ハ各候補生ノ受ケタル最終試験ノ結果ヲ豫備試



職ノ筆記及ヒ製造品ニ對照シ候補生最終ノ優劣表ヲ調製シ之ヲ  
ニ差出シ卿ハ之ヲ審閱シタル上三學校中入校ヲ許ス可キ學生ノ名  
簿ヲ定ム

第十九條 及第シタル學生ハ十月十五日ニ入校セサル可ラス  
右期限ニ至リ入校セサル學生ハ卿ノ認可ヲ經タル正當有恕ノ場合  
ヲ除キ總テ學生タルノ資格ヲ拋棄シタルモノト做ス

第二十條 入校ノ際學生ノ携帯ス可キ書籍及ヒ物件ハ大臣ニ於テ之  
ヲ定ム

第三款 職藝學校ノ教授

第二十一條 職藝學校ノ卒業期限ハ三年トス  
學生ノ誰タルヲ問ハス六週間以上病症ノ爲メ學業ヲ中止スルカ又  
ハ六週間以上正當ノ理由ニ依リ不在シタル場合ニアラサレハ第四  
學年ヲ經ルヲ能ハス

第二十二條 學校ニ於テ與ユル教授ハ學術及ヒ實地トス

第二十三條 學術教授ハ算術幾何初步代數初步幾何直線法幾何三角

法器械學器械運轉學物理含密圖書地理會計及ヒ文典ヲ包含ス

其他學生ニ宗教ノ講義ヲ爲ス

每學年ノ教授科目ハ下第四十六條ニ從ヒ叙任サレタル委員ノ意見  
ニ依リ卿ニ於テ之ヲ裁定ス

第二十四條 實地教授ハ木鐵使用ノ工業ニ關シ四個各別ノ工場ニ於  
テ之ヲ爲ス即チ

模形及木細工

鑄鐵

鍛冶

平均術

學生ハ其在學期限中校則ヲ以テ定メタル規則ニ從ヒ之ヲ分ツテ右  
四個ノ工場ニ配付ス

第二十五條 外來職工ハ其誰タルヲ問ハス卿ノ特許ヲ得ルニアラサ



レハ工場ニ入ルヲ得ス

第二十六條 工場ニ於テ製造シタル物産ハ政府ニ屬ス

第四款 學校職員

第二十七條 學校ハ卿ノ指揮及ヒ縣知事ノ監督ヲ受ケ且ツ學校會ノ補助ヲ得テ校長之ヲ管理ス但シ學校會ノ組織ハ之ヲ下ニ指示ス校長ハ卿之ヲ命ス

其他各學校ニ保護會ヲ設置シ其會員ハ卿之ヲ命ス

第二十八條 校長ハ校内一切ノ事務ヲ統轄スルノ權ヲ有シ且ツ規則及ヒ卿ノ裁定ヲ執行シ秩序及ヒ校則ヲ維持スルノ任アリ

校長ハ卿及ヒ縣知事ト通信シ學校ノ秩序ヲ紊亂シ學校ノ進歩ヲ害ス可キ一切ノ景狀アレハ直チニ其旨ヲ卿及ヒ縣知事ニ通報ス

第二十九條 道義及ヒ宗教ヲ學生ニ教授スル爲メニ三學校共ニ宜教

師ヲ置ク  
此宜教師ハ寺領内ナル僧侶ノ請名ニ依リ卿之ヲ命ス

學校ニ耶蘇舊教外ノ宗旨ニ屬スル者千ノ學生アル場合ニ於テハ此學生ヲシテ其宗旨ノ教授ヲ受ケ得可キ方法ヲ定ム

第三十條 工業長ノ名ヲ有スル職員ハ校長ノ管下ニ在テ各學校ニ於ケル學術及ヒ實地ノ教授ヲ指揮シ且ツ教授科目ヲ遵守セシム  
工業長ハ校長ヲ補助シテ校内一切ノ事務ヲ執リ且ツ校長ノ不在病症其他ノ差支ニ際シ之ヲ補充シ又ハ之ヲ代理ス

第三十一條 各學校ノ教授職員ハ工業長ヲ始メ左ノ人員ヲ以テ組織ス

- 一 器械學教師一名
- 一 算術教師二名即チ第一學年及ヒ第二學年級各一名トス
- 一 物理學及ヒ舍密學教師一名
- 一 書學教師三名即チ第一第二及ヒ第三學年級ニ各一名
- 一 學校各購義ノ履義教師數名
- 一 三學年級一同ニ對シ文典教師及ヒ工業會計教師各一名



一四個ノ工場毎ニ工場長一名及ヒ工場副長數名但シ工場副長ノ員數ハ工場事務ノ多少ニ依リ増減スルモノトス

第三十二條 教授職員ハ卿之ヲ命ス然レド工業長教師及ヒ工場長ハ卿ノ定メタル條件及ヒ科目ニ付キ試験ヲ受ケタル後ニ非レハ之ヲ命セサルモノトス

第三十三條 學校ニ左ノ附屬員ヲ置ク

會計係一名但シ保證金ヲ出シタル上出納ノ職務ヲ執リ且ツ材料器  
物ノ買入及ヒ其保存ヲ以テ任トス

經濟掛一名但シ學生ノ寄宿所衣服及ヒ食物ニ係ル物品ノ貯存ヲ以  
テ其任トス

書記長一名

幹事長一名及ヒ幹事數名但シ秩序及ヒ校則ノ維持ヲ監督スルヲ以  
テ其任トス

其他支配役員及ヒ下等雇員但シ其負數ハ事務ノ多少ニ從フ

第三十四條 會計掛經濟掛書記長幹事長及ヒ幹事ハ卿ニ於テ之ヲ命  
ス

卿ハ支配役員及ヒ下等雇員ノ叙任ヲ校長ニ委任スルヲ得但シ其  
員數及俸給額ハ卿ノ規定スル所タルヘシ

第三十五條 各學校ニ醫師二名ヲ置キ其一人ハ可成外科教師タル可  
シ而シテ其醫師ハ校長ノ上申ニ依リ卿之ヲ命ス

第三十六條 學校各職員及ヒ各役員ノ等級受持事務及ヒ職分ハ卿ノ  
布達スル規則ヲ以テ細密ニ之ヲ定ム

第三十七條 學校ノ職員及ヒ役員ノ俸給ハ當該布告ニ附シタル別表  
ニ從ヒ之ヲ規定ス

第五款 職藝學校會

第三十八條 各學校ニ學校會ヲ置キ校長管理ノ事務ヲ補助セシム其  
職員ハ左ノ如シ

校長(會長)



工業長

教師及ヒ工場長

校長ハ書記ノ職務ヲ執ル可キ會員一名ヲ命ス  
若シ縣知事ニ於テ學校會ニ臨席シタル時ハ會長ノ職務ハ縣知事ニ  
屬ス

第三十九條 學校會ハ學術ト實地トヲ問ハス教授ノ方向及ヒ改良ニ  
關スル一切ノ方法ヲ豫備シ且ツ研究ス

學校會ハ校長ノ豫算シタル定額案及ヒ未定且ツ臨時費ニ付其意見  
ヲ述フ

又學校會ハ會計掛ノ提出シタル金錢物品ノ計算ニ付討議ヲ爲ス  
學校會ハ工場ニ於テ學生ノ執ル可キ勞動案會計係又ハ經濟掛ノ豫  
算シタル賣買案及ヒ當該報告ニ依テ同會ニ任シ又ハ校長ノ諮問ニ  
係ル一切ノ事務ニ付意見ヲ述フ

學校會ハ毎月會員中ノ一人ニ委任シテ下ニ記帳スル秩序會ニ出席

セシム

第四十條 學校會ハ開會ノ日順々指定シタル校長ノ召喚ニ依テ集會  
ス

學校會ノ決議ハ卿ノ認可ヲ經可キモノトス

第四十一條 毎年ノ末ニ於テ學校會ハ學生ノ受ケタル一般ノ試驗効  
果ヲ檢閲シ各級學生ノ等級表ヲ定メ及ヒ褒賞授與額ヲ上申ス

學校會ハ學業不進歩又ハ不品行ニ依リ退校ヲ命ス可キ學生ヲ指定  
ス

第四十二條 各學校ニ秩序會ヲ置キ校則及ヒ學生ノ細則違犯ニ關ス  
ル至急ノ問題ヲ決議セシム且ツ同會ハ不品行又ハ學業不進歩ノ學  
生ニ其旨ヲ通知シ或ハ之ヲ罷責ス

第四十三條 秩序會ハ左ノ職員ヲ以テ組織ス

校長(會長)

工業長



幹事長

及ヒ第三十九條ニ從ヒ毎月委任ヲ受ケタル學校會員  
受任會員不在ノ場合ニ於テハ校長ノ指定シタル他ノ會員ヲ以テ之  
ニ代ラシムルヲ得

第四十四條 學生ニ科ス可キ罰例ハ左ノ如シ

禁足又ハ無休業

禁錮

禁獄

及追放

右前三個ノ罰例適用上處罰ノ寬嚴及ヒ附從ノ條件ハ細則ヲ以テ之  
ヲ定ム

重大ノ場合ニ於テハ秩序會ニ於テ學生ノ退校ヲ命スルヲ得而シ  
テ同會ハ直チニ其旨ヲ校長ヲ經テ縣ニ通報シ縣ハ最終ノ裁定ヲ爲  
ス此場合ニ於テハ縣知事ニモ亦其旨ヲ通知ス

以上罰例ノ外縣ハ學生ニ與ヘタル補助金ノ全部又ハ一部ヲ一時  
奪スルヲ得

第四十五條 各週ノ終ニ於テ校長ハ各生徒ノ勉強其進歩及ビ其品行  
ニ關スル勸怠表ヲ調製ス

右調製シタル勸怠表ハ之ヲ學生ノ父母及ビ保證人ニ送付ス

此勸怠表ノ畧書ハ補助費生ニ付キ特別ノ記載ヲ爲シタル上之ヲ大  
臣ニ送呈ス

第四十六條 時宜ニ從ヒ縣ハ學術ト實地ト同ハス教授科目ヲ再  
セシムル爲メ特別委員會ヲ設ケ而シテ其會員ハ縣之ヲ命ス

第四十七條 監督員長ハ縣ノ命ズル所ニシテ職藝學校ノ教授又ハ官  
理及ビ同學校職員ニ關スル一切ノ事項ニ付意見ヲ述ブルヲ以テ其  
任トス

監督員長ハ毎年一回以上各學校ノ巡視ヲ爲シ一切ノ事務ヲ監督シ  
各學生ノ勉強及ビ品行ヲ取調ベタル上其巡視ノ効果ニ付キ細密ノ



報告ヲ大臣ニ爲スモノトス

第六款 最終ノ成規

第四十八條 職藝學校ニ爲シタル遺囑贈與及贈與ハ其受領ヲ許可セ  
ル王令及ビ布告ニ定メタル條件ニ従ヒ之ヲ受領スルコトヲ得ルハ從  
前ノ如シ

第四十九條 學校ノ内政及ビ校則ニ關スル一切ノ事項ハ縣知事及ビ  
校長ニ於テ協議ノ上之ヲ起草シ縣知事ヲ經テ縣知事ノ認可ヲ請フモノ  
トス

學校ノ狀況ヲ記載セル三月毎ノ報告ハ校長ヨリ縣知事ニ送付シ縣  
知事ハ其注意ト其意見トヲ付シ之ヲ縣知事ニ送呈ス

第五十條 會該規則ヲ除キ專ラ金錢物品ノ計算會計掛ノ有スル諸帳  
簿計算ノ監査及ビ辨濟及ビ受領ノ證明方法ニ關スル一切ノ細則ハ  
布達ヲ以テ之ヲ規定ス

第五十一條 職藝學校ノ規則ニ關スル千八百六十五年十二月三十日

ノ布告ハ廢止ス

第五十二條 農商務卿ハ當該布告ヲ執行スルノ責ニ任ズ

千八百七十三年十一月六日於ヘルサイユ

共和國大統領マシヤンタ侯マレシヤール、ド、マ、マ、タン 署名

農商務卿

セ、ド、ラ、ブ、イ、ール、リ、署名



○國立職藝學校細則ニ係ル布達  
(千八百七十三年十一月九日付)

農商務卿ハ

國立職藝學校ノ組織ニ係ル千八百七十三年十一月六日ノ布告就中左  
ノ如ク記載シタル第三十六條及ヒ第四十四條ヲ參照シ

(第三十六條學校各職員及ヒ各役員ノ階級受持事務及ヒ職分ハ卿ノ  
布達スル規則ヲ以テ細密ニ之ヲ定ム

(第四十四條前三個ノ罰例適用上處罰ノ階級及ヒ附從ノ條件ハ細則  
ヲ以テ之ヲ定ム)

職藝學校ノ内規教授及ヒ管理ニ係ル規則再閱委員ノ報告ニ基キ  
内國商務局長ノ上申及ヒ大書記官ナル參事院議官ノ意見ヲ聽キ  
布達ス

第一款

教授及ヒ勞働



學術教授

第一條 學術教授ハ毎年五科目ニ分テ之ヲ爲ス

學術講義ハ同級内ノ學生ヲシテ同時ニ之ヲ聽カシム

其他學生ニ宗教講義ヲ聽カシム

現時ノ科目ハ假ニ之ヲ施行ス

各學校ノ教授時間ハ卿ノ認可ヲ經タル時間表ヲ以テ之ヲ定ム

實地教授及ヒ勞動

第二條 學生入校ノ當時ハ其半ヲ平均術工場ニ其半ヲ模形工場ニ配

付シ初學年ノ半ニ至リ其工場ヲ更代セシム

第二學年ノ初ニ於テ學校會ノ上申ニ依リ卿ノ認可ヲ經タル上各學

生ヲ四個ノ工場中ニ配付シ再ヒ更代セシムルヲナシ

在分科ヲ定ムルニ當テハ人民ノ需用多ク數多ノ職工ヲ要ス可キ工

業ニハ數多ノ學生ヲ配付スト雖モ成ル可ク學生及ヒ其眷族ノ願望

ニ任ス可キモノトス

第二學年ノ間平均術學生ハ前六ヶ月内鍛冶工場ニ於テ練習シ模形  
學生ハ前六ヶ月内鑄鐵工場ニ於テ練習ス鍛冶學生及ヒ鑄鐵學生ハ  
全年其專修工場ヲ勤カス

第三學年ノ間ハ四科ノ學生共差別ナク其專修工場ニ在ルモノトス

第三條 工場一切ノ勞動ハ學生及ヒ工場長又ハ工場副長ニ於テ之ヲ

執行セサル可ラス

校長ハ工場ニ其必要ト思料セシ員數ニ從ヒ職工及ヒ技手ヲ附屬セ

シムルヲ得

校長ハ職工ノ手間料及ヒ材料ノ計算ヲ補助セシムル爲メ一名又ハ

二名ノ役員ヲ工場長ニ附屬セシムルヲ得

第二款

內規

宗教學

第四條 (千八百八十二年一月十七日ノ改正ニ係ル)學生ハ各日曜及ヒ



祭日毎ニ其宗門ノ寺院ニ參拜ス但シ番族ノ請求ニ依リ其參拜ヲ免シタル場合ハ此限ニアラス

第五條 (千八百八十二年一月十七日ノ改正ニ係ル)學生ハ時間表ニ定メタル時日ニ於テ其宗門ノ宗教講義ヲ聽聞ス但シ着族ノ請求ニ依リ其聽講ヲ免シタル場合ハ此限ニ非ズ  
宗教講義ハ常ニ教場又ハ工場ノ時間外ニ於テ之ヲ施行スルモノトス

秩序

第六條 學生ニ必要ナル書籍及ヒ小道具夜具並ニ煖爐ノ類ハ在校費ノ全部ヲ以テ之ニ充ツ而シテ在校費ハ入校ノ當時各學生ノ納メタル五十法及ヒ一日ノ勞働ニ對シ學校ノ定額内ヨリ學生ニ與ユル百分ノ十ノ惠與金ヲ合シタルモノトス  
各學生ハ在校費及ヒ小雜用ニ係ル受領及ヒ消費金額ヲ記載スル手帳ヲ受取リ其平均ハ三ヶ月毎ニ之ヲ定ム

第七條 學生ハ工場ノ勞働ヲ爲スニ方リ種類ノ如何ヲ問ハス總テ自巳ニ屬スル器具ヲ用ユルヲ得ス

第八條 學生ハ校長ノ手ヲ經ルニアラサレバ其番族又ハ其保證人ヨリ金圓ヲ受取ルヲ得ス其小雜用ニ充ツ可キ金額ハ會計掛ニ於テ之ヲ預リ其預リ金高ヲ學生ノ手帳ニ記載シ置キ校長ノ指示スル時日及ヒ方法ニ從ヒ之ヲ分與ス而シテ其他ノ金錢分與ハ惣テ之ヲ禁ス此規則ニ違背シタル時ハ其分與シタル金額ヲ差押ヘ之ヲ一般ノ校費内ニ沒入ス

第九條 學生ノ父母及ヒ保證人ハ休業時間ニシテ且ツ應接所ニアラサレバ學生ニ面會スルヲ得ス

第十條 學生ハ父母又ハ後見人又ハ校長ノ認諾シタル保證人ト同伴ニアラサレバ單身ニテ外出スルヲ得ス而シテ校長ハ其證人ニ於テ品行方正能ク監督ノ任ヲ盡スヤ否ヲ證明ス

第十一條 大休暇ハ三學校共八月一日ヨリ十月一日迄ト定ム



耶蘇紀元祭ノ休暇ハ該祭執行ノ前週木曜日ヨリ該祭執行ノ次週月曜日迄トス

其他種々ノ休暇ハ之ヲ廢ス

第十二條 骨牌遊技及ヒ賭博ハ之ヲ嚴禁ス

同シク危險ノ遊技又ハ所爲ヲ禁ス

何等ノ書籍ト雖モ校長ノ特許ヲ得ルニアラサレバ校内ニ入ル、トヲ得ス

日々ノ新聞政治又ハ經濟新聞ヲ校内ニ入ル、トテ嚴禁ス

許可ヲ經サル書籍又ハ新聞ヲ校内ニ入レタル時ハ場合ニ從ヒ其學生ヲ退校セシムルコトアル可シ

第十三條 日曜及ヒ祭日ニ當リ餘有ノ時間アレバ大運動ヲ執行シ其場所及ヒ時間ハ校長之ヲ定ム而シテ大運動ニハ病人禁足者及ヒ學校ニ殘ルコトヲ校長ノ許可シタル者ノ外現在ノ學生ハ悉ク出場セサル可ラス且ツ校内ニ殘ル學生ハ禁足者ト共ニ學校ニ在テ學業ニ從事

セサルヲ得ス

幹事ハ此運動ヲ指揮監督シ幹事長モ亦此運動ニ臨ムノ義務アリ

罰例

第十四條 千八百七十三年十一月六日ノ布告第四十四條ノ成規ニ從ヒ學生ニ該ツヘキ罰例ハ左ノ如シ

禁足

禁錮

禁獄

當分ノ間補助金又ハ小割補助金ノ全部又ハ一部ノ沒奪

退校

第十五條 禁足ハ休業運動又ハ外出ヲ禁ズルモノニシテ禁足ニ處セラレタル學生ハ其時間内勉強室ニ閉居シ指定サレタル學業ヲ修メサル可ラズ  
禁錮ニ處セラレタル學生ハ休業又ハ運動時間中禁錮室ニ閉込メラ



レ食時ノ際モ亦其室内ニ在テ葡萄酒ヲ受クルヲ得ズ  
 禁獄ニ處セラレタル學生ハ常ニ一人ツ、獄内ニ閉込メ嚴ニ他ノ學  
 生ト交通スルヲ禁ズ此學生ハ夜中モ尙ホ獄内ニ住セザル可ラズ  
 ト雖モ就寢ノ時間ノミハ氣候ノ寒暖ニ從ヒ相當ノ敷布団及ビ夜具  
 ヲ與ヘ起床ノ時間ニ至レバ之ヲ取上クルモノトス而シテ禁獄中ノ學  
 生ニハ汁羹蒸餅及ビ水ノ外總テ他ノ食物ヲ與ヘズ  
 禁錮及ビ禁獄ハ幹事ノ特別看守ニ付シ且ツ禁獄ニ關シテハ幹事長  
 自ラ屢ク獄内ヲ廻廻シ在獄學生ノ狀況ヲ觀察ス  
 第十六條 總テ細則命令及ビ校則ノ違背勉強ノ懈怠上官ニ對スル抗  
 拒及ビ無禮ハ情狀ノ輕重ニ從ヒ前條罰例中ノ一ニ處ス  
 第十七條 休暇中ハ勿論其他外出ノ許可ヲ得タル學生ニシテ定期ニ  
 歸校セザル時ハ宥恕ス可キ正當ノ理由ナキニ於テハ禁錮又ハ禁獄  
 ニ處ス  
 第十八條 學生ニシテ休暇中校服ヲ着シ第十六條ニ記載セシ罪ヲ犯

シタル時ハ入校ノ后校則ニ定メタル罰ニ處ス

第十九條 校長工業長及ビ現行犯ノ場合ニ於テハ幹事長ニアラザレ  
 バ禁獄ヲ言渡スヲ得ズ學生ニシテ教師ノ臨席スル教場工場又ハ  
 勉強室ヨリ退出セシメラレタル時ハ校長ノ許ニ召喚シ之ヲ裁決ス  
 一日以上ノ禁獄又ハ夜中ノ禁獄ニ處スルヲ得ルハ唯リ校長ノミ  
 トス

第二十條 禁足及ビ禁錮ノ罰ハ三回ノ禁足及ビ二日ノ禁錮迄ハ教場  
 工場長及ビ工場副長ニ於テ各其管理中ノ學生ニ科スルヲ得但シ  
 教場工場又ハ勉強室ノ外ニ在テハ同一ノ條件ニ於テ幹事長之ヲ科  
 ス

幹事ハ二回ノ禁足又ハ一回ノ禁錮ヲ科スルヲ得  
 校長ハ三日ノ禁獄ニ處スルノ權アリ

第二十一條 卿ニアラザレバ學生ニ退校ヲ命ズルヲ得ズ然レドモ  
 重大ニシテ且ツ至急ヲ要スル場合ハ秩序會ニ於テ又同時ニ數名ノ



學生ナル時ハ學校會ニ於テ一名又ハ數名ノ學生ニ退校ヲ命ズルヲ得但シ最終ノ裁定ヲ請フ爲メ直チニ其旨ヲ鄭ニ通知セザル可ク

第二十二條 學生ニ科シタル諸罰ハ罰表ニ記載ス而シテ其罰ハ校長ト之ヲ科シタル主任者ト協議ノ上ニ非サレバ之ヲ輕減スルヲ得ズ  
試驗及ビ褒賞

第二十三條 三月初旬ニ於テ第一學年前半期間ノ學生ノ教育及ビ進歩ヲ證明スル爲メ大試驗ヲ執行ス此大試驗ハ工業長及ビ校長ノ指定シタル教師立會ノ上校長之ヲ行フ而シテ校長ハ試驗ノ結果及ビ前六ヶ月間ノ學生ノ點數ヲ鄭ニ通知シ且ツ各級ニ付キ學生ノ品行學術及ビ實地ノ教育ヲ合シテ優等ノ順序ヲ追ヒ圖製シタル勳息表ヲ同シク鄭ニ送呈ス  
第一學年後半期ノ終ニ於テ前同様ノ試驗ヲ執行ス而シテ學生ノ點數及ビ各級毎ニ優等ノ順序ヲ追ヒ圖製シタル勳息表ヲ同シク鄭ニ送

呈ス

此第二試驗ノ後褒賞授與及ヒ昇級ヲ行ヒ若シ退校セシム可キ者アレハ退校ヲ命ス  
褒賞ハ學生ノ學業及ヒ勞働ニ有用ナル書籍ヲ以テス又其學業ニ要スル算術器械其他ノ器具又ハ圖書ヲ以テスルヲアル可シ

第二十四條 各學校ノ各級毎ニ名譽稱號ヲ受クル學生十名ツ、アリ即チ會計主務一等下士官一名衣食住主務一等下士官一名通常下士官四名及ヒ下等下士官四名是ナリ

此名譽稱號ハ六ヶ月毎ノ等級ニ從ヒ優等學生十名ニ授與ス新入學生ニ就テハ入校試驗ノ優等者十名ニ之ヲ授與ス

第二十五條 第三年學生ニシテ等級表ノ首筆ニ在リ且ツ特別優等ノ證アル者ニハ其姓名及ヒ職藝學校「褒賞」ト記載シタル銀製ノ賞牌ヲ授與ス

第二十六條 其學業ヲ完了シ且ツ出校試驗ニ及第シタル學生ニハ卒



業證書ヲ授與ス此卒業證書ノ離形ハ三學校共同一ニシテ校長工業  
長及ヒ學校會書記之ニ署名ス  
校長ヲ除クノ外其他ノ學校職員ハ其性質ノ如何ヲ論セス都テ學業  
證明書ヲ學生ニ授與スルヲ得ス  
賞牌ヲ得タル學生ハ學校會ノ上申ニ依リ工業ニ從事シタル年限ニ  
從ヒ五百法ノ給料ヲ受クルヲ得

病室

第二十七條 病室ノ事務ハ宗教家タル婦女ニ委任ス  
病室ハ最大注意ヲ以テ之ヲ監督シ校長自ラ一日一回以上ノ巡檢ヲ  
爲ス

各病室ニハ入用ノ員數ニ從ヒ看病人ヲ附屬セシム

第二十八條 各職員及ヒ役員ハ病室ノ外ニ於テ學生中病症ノ徵候ア  
ル者ヲ發見シタル時ハ之ヲ校長ニ通知セサル可ラス

第二十九條 醫師ハ少ナクモ一日ニ一回病人ノ診察ヲ爲シ其病狀又

ハ重劇ニ至ル可キ徵候ヲ校長ニ通報ス可シ

醫師ハ休暇ニ方リ學生ノ出校及ヒ歸校ノ際其體格ヲ檢斷ス

第三十條 補助醫師ハ主務醫師ニ於テ不在ノ時之ヲ代理シ其他要用  
アル毎ニ主務醫師ヲ補助ス

第三十一條 醫師ハ毎年學生ノ患ヒタル病症其原因効果及ヒ施療方  
法ヲ報告書ヲ校長ニ差出シ校長ハ之ヲ卿ニ送呈ス

校長ノ特許ヲ得ルニアラサレハ病室ニ入ルヲ嚴禁ス  
父母及ヒ見舞人ニ對シ食物其他ノ物品ヲ直接病人ニ與ユルヲ嚴  
禁ス

第三款

學校職員

校長

第三十二條 校長ハ卿ノ指揮及ヒ縣知事ノ監督ヲ受ケ學校管理ノ職  
ニ任シ校内一切ノ事務ヲ統轄スルノ權利ヲ有シ且ツ規則及ヒ卿ノ



裁定ヲ執行スルノ責ニ任ス  
 校長ハ至急且ツ不慮ノ場合ニ於テハ假ニ裁定ヲ爲スノ權アリ但シ  
 直チニ其旨ヲ卿及ヒ縣知事ニ通報セサル可ラス  
 校長ハ日々ノ巡視及ヒ監督ニ依リ學校所屬ノ各職員及ヒ役員カ其  
 職務ヲ確執スルヤ否ヲ證明セサル可ラス其他校長ハ右職員役員ニ  
 訓示ヲ爲シ且ツ必要ト認ムル一切ノ命令ヲ下ス而シテ定期ニ至リ  
 其證明シタル職員及ヒ役員ノ過失并ニ懈怠ヲ卿ニ通報ス  
 校長ハ時宜ニ從ヒ金錢物品ノ會計ヲ委任サレタル各役員ヲシテ書  
 籍帳簿及ヒ日記ヲ差出サシメ之ニ其檢閲ヲ付シ其注意ヲ加筆スル  
 ヲ得而シテ毎六ヶ月ノ終ニ於テ其登記及ヒ計算ガ規則ニ適合スル  
 ヤ否ヲ證明ス  
 校長ハ三ヶ月毎ニ一切ノ事務ニ關スル簡單ナル報告書ヲ縣知事ヲ  
 經テ卿ニ送呈ス且ツ學校ノ秩序ヲ紊亂シ又ハ其進歩ヲ妨害ス可キ  
 臨時ノ狀況アル毎ニ其旨ヲ直チニ卿へ通報ス

校長ハ六ヶ月毎ニ學生ノ姓名并ニ其六ヶ月間ノ品行及ヒ進歩ヲ檢  
 閲スル爲メ調製シタル一般表ヲ卿ニ送呈シ且ツ教育又ハ能力ノ欠  
 乏ヨリ學校ニ在ルモ徒ラニ政府及ヒ其眷族ニ費用ヲ爲サシムルノ  
 ミニシテ到底卒業ノ目的ナク其父母ノ許ニ歸ス可キ學生ヲ指定ス  
 校長ハ六ヶ月毎ニ一回學生ノ教育及ヒ其品行ニ關スル勳怠表ヲ其  
 父母又ハ後見人ニ送付ス  
 校長ハ只ニ校內ノミナラス尙又校外ト雖モ學生ノ品行上監督ヲ爲  
 サル可ラス而シテ校長ハ充分ノ担保ヲ提供セスト認メタル保證人  
 ニ學生ノ委託ヲ拒絕スルヲ得  
 校長ハ不得已事狀アル時學生ニ外出ヲ許可スルノ專權ヲ有ス若シ  
 外出期限三日ヲ超過ス可キ時ハ直チニ卿ニ通報セサル可ラス  
 校長ハ食物及ヒ衣服ノ調理ニ使用ス可キ職工及ヒ婢僕并ニ工場雇  
 入レ職工及ヒ技手ヲ僱用シ不用ト認ムル時ハ之レヲ解雇スルノ權  
 ヲ有ス



校長ハ工業長其他一切ノ職員不在ノ場合ニ於テ爲メニ事務ノ差支ヲ生セザラシムル爲メ之カ欠ヲ補フヲ務ム  
校長ハ製造又ハ建築ニ就キ外人ト取引ヲ爲ス時ハ工業長ニ其計畫案及ヒ見積書ヲ出サシメ且ツ取引ニ就キ會計掛ノ意見アレハ之ヲ聽キタル后其代價一千佛ヲ超過セサルニ於テハ卿ノ委任ヲ受ケ之ニ署名ス但シ學校會ハ此際學生ノ執ル可キ勞働按ニ就キ意見ヲ述フルノ權ヲ有ス

若シ其取引重要ニシテ一千佛ヲ超過スル時ハ校長ニ於テ其計畫案及ヒ見積書ニ自己并ニ學校會ノ意見ヲ付シ之ヲ卿ノ檢定ニ付シ其認可ヲ經可キモノトス

校長ハ一般ノ定額ヲ豫算シ而シテ之ヲ學校會ノ討議ニ付ス

工業長

第三十三條 工業長ハ校長ノ指揮ヲ受ケ學術ト實地トヲ問ハス學校ノ教授ヲ指揮シ且ツ講義科目ノ執行ヲ監督スルノ責ニ任ス。

工業長ハ工場ノ勞働ヲ臨檢シ且又屢々教場及ヒ勉強室ヲ巡視シテ教師ノ講義學生ノ勉強ヲ證明ス

工業長ハ教師及ヒ長工場長副長ニ於テ其工職務ヲ確執スルヤ否ヲ證明シ其職務上ノ懈怠及ヒ犯罪并ニ其欠勤及ヒ遅刻ヲ書面ヲ以テ校長ニ通報ス

工業長ハ學校ノ所有ニ係ル一切ノ圖書及ヒ分圖ヲ參考品トシテ蒐集シ順序ヲ追テ之ヲ裝置ス而シテ其參考品ハ教師及ヒ學生ヲシテ作ラシメタル圖書ニシテ日々之ヲ所持シ其目錄ヲ順次ニ調製ス  
工業長ハ學校ノ依頼ヲ受ケタル器械製造ノ計畫案ヲ作り書學教師及ヒ學生ヲシテ其細密ヲ書カシメタル上之ヲ校長ニ交付シ校長ハ學校會ノ意見アレバ之ヲ聽キ之ガ製造ヲ許可ス

直接工業長ニ爲シタル一切ノ依頼ハ工業長ヨリ之ヲ校長ニ交付セザル可ラズ

工業長ハ校内一切ノ事務ニ付キ校長ヲ補助シ校長ノ不在病氣又ハ



其他ノ差支アル時之ヲ補充シ又ハ代理ス  
工業長ハ學生ニ科シタル罰ニ就キ教師及ビ工場長ヨリ差出ス日々  
ノ報告ヲ幹事長ヨリ受取り自己ノ意見ヲ付シタル上之ヲ校長ニ交  
付ス

會計掛

第三十四條 農計掛ハ金錢及ビ材料ノ會計ヲ担任スルモノニシテ第  
一材料ノ受領倉庫ニ之ガ保存及ビ工場ニ之ガ引渡ヲ監督シ第二製  
造品ノ受領倉庫ニ之ガ保存及ビ之カ引渡ヲ監督ス  
會計掛ハ其監督ニ付セラレタル倉庫及ビ其他ノ場所ニ置キアル各  
種ノ材料及ビ物件ニ就キ責任アリ  
製造品ハ其製造ノ良否ヲ證明スル工業長ノ檢閲ヲ經タル后ニアラ  
ザレバ倉庫内ニ入ル、トテ得ズ而シテ校長ノ命令ナキニ於テハ之ヲ  
倉庫ヨリ出ス、トテ得ズ  
會計掛ハ校長ノ指揮ニ從ヒ取引ノ執行及ビ費用ノ維持ニ注目シ定

額金ヲ超過セサルヲ務メサル可ラス

會計掛ハ各物件ノ會計ヲ司リ且ツ學校及ビ工場ノ使用ニ供ス可キ  
物件ハ其性質ノ如何ヲ問ハス職員又ハ役員ノ私用ニ供セサルヲニ  
注意セサル可ラス

會計掛ハ金錢計算書ニ一切ノ證明書ヲ添ヘ差出スモノトス

會計掛ハ學生ノ金錢受領簿ヲ所持シ其全額ヲ入用ニ從ヒ毎年未迄

ニ引渡ス、トテ注意セサル可ラス

會計係ハ其部下ニ其會計上使役ス可キ職員ヲ有ス、

經濟係

第三十五條 經濟係ハ工場外ノ貯蓄物衣食薪炭燈油及ヒ教場ノ器具

ニ關スル物件ノ受領並ニ其維持及ヒ校内ノ物件一切ノ保存ヲ以テ

其任トス

經濟係ハ需用品ノ善惡及ヒ價格ヲ鑑査シ其買入高ヲ買入帳簿ニ記

載ス且ツ消糜ニ供シタル物品ノ扣簿ヲ所持ス



經濟係ハ凡テ會計事務ニ係ル事項ニ就テハ會計係ニ附屬ス  
 經濟係雇員ヲ經濟係ニ從屬セシム  
 經濟係ハ土曜日毎ニ一週間内ノ食物献立書三通ヲ調理シ署名ノ上  
 之ヲ校長ニ差出シ其認可ヲ請フ而シテ一通ヲ調理室ニ揭示ス  
 經濟係ハ校長ノ指揮ヲ受ケ食物新鮮ニシテ滋養ヲ含ミ且ツ弊ノ定  
 メタル食料表ニ相當スルヤ否ニ注意ス就中蒸餅肉及ヒ葡萄酒ハ食  
 物ノ基ナレハ特別ノ注意ヲ加ヘサル可ラス幹事ハ食物分配ニ際シ  
 其善惡及ヒ分量ヲ鑑査ス  
 肉ハ幹事ノ面前ニ於テ毎日料理室ニ引渡シ經濟係ハ幹事ト共ニ其  
 善惡及ヒ分量ヲ證明ス蒸餅及ヒ其他必要ノ食物ニ就テモ亦同シ但  
 シ學校内ニ於テ蒸餅ヲ製造スル時ハ此限ニアラス  
 經濟掛ハ専ラ學校内外ノ掃除ヲ司リ且ツ製服場夜具製造場及ヒ洗  
 濯場ヲ監督ス  
 食物製造所ニ使役スル職工男女製服長及ヒ其使用職工並ニ婢僕及

ヒ小使ハ經濟係ノ部下ニ從屬ス

教師及ヒ覆義教師

第三十六條 教師及ヒ覆義教師ハ卿ノ定メタル各級ノ教授科目ヲ堅  
 ク遵守セサル可ラス  
 教師ハ覆義教師ヲ指揮シ覆義教師ニ於テ堅ク其科目ヲ履行シ且ツ  
 其職分ヲ盡スヤ否ヲ監督ス  
 教師及ヒ覆義教師ハ何等ノ口實ヲ以テスルモ其教授又ハ訊問ヲ學  
 生ニ委任スルコトヲ得ス若シ正當ノ差支アル時ハ工業長ニ於テ教師  
 及ヒ覆義教師ノ意見ヲ聽キタル後校長ノ訓示ニ從ヒ其代理ヲ定ム  
 教師及ヒ覆義教師ニ於テ教授及ヒ訊問ニ充テタル時間内ハ學生ヲ  
 監督ス而シテ欠勤シタル學生ノ名簿訊問ヲ爲セシ學生ノ答案學生ニ  
 科シタル罰表又ハ長官ニ上申ス可キ罰表ニ係ル報告書ヲ報告箱ニ  
 投入ス  
 教師ハ時間表ニ定メタル時日ニ於テ數名ノ學生ニ對シ前回講義シ



タル所ニ就キ訊問ヲ爲ス此訊問ニ充ツ可キ時間ハ一週九時間ヨリ少ナカル可ラス。

算術教師及ヒ文典教師ハ受持教授及ヒ覆義時間ハ外尙ホ日々二時間學校ニ在テ講義筆記及ヒ答案ヲ校正セサル可ラス而シテ其講義筆記及ヒ答案ニ自己ノ注意ヲ付ス且ツ毎日校正ヲ受ケタル學生ノ名簿ニ注意ヲ加ユ可キコトアレバ之ヲ加ヘタル上工業長ヲ經テ鄭ニ送呈ス

覆義教師ハ每週學生數名ニ其教授ヲ受ケタル科目ノ部分ニ付キ試験ヲ受ケシム其方法ハ各學生更代シテ一月内一回以上ノ試験ヲ受ケ可キモノトス。

教師ハ毎三ヶ月ノ後十五日間ニ受持學生ノ進歩及ヒ品行表ヲ校長ニ差出ス尙ホ校長ノ請求アル時ハ其都度同表ヲ差出ス可キモノトス

書學教師ハ依頼ヲ受ケシ毎ニ其數ノ多少ヲ論セス校長ノ指定スル

圖書手本ノ謄寫ヲ爲スノ義務アリ且ツ何等ノ口實ヲ以テスルモ學生ヲシテ學業外ナル圖書ヲ作ラシムルコトヲ得ス

書學教師ハ毎日三時間工業長ノ室ニ在リテ工業長ノ指揮ニ從ヒ或ハ依頼ヲ受ケタル圖書及ヒ其計畫接ヲ作り或ハ其教授ニ用ユル手本ヲ書ク而シテ該室ニ在ル時間内ハ學生ノ勉強ヲ監督ス

書學教師中日々ノ時間割ハ工業長ト協議ノ上校長之ヲ規定ス

算術教師ハ前二學年ノ間同一ノ學生ヲ教授ス

書籍室ノ監督ハ文典教師ノ担任トス

工場長及ヒ工場副長

第三十七條 工場長及ヒ工場副長ハ工業長ノ直轄ニ屬ス

工場長ノ職務ハ第一其職業ニ關スル實地教授ヲ爲シ第二工業長ノ監督ヲ受ケ校長ノ認可ヲ經タル種々ノ物品ヲ製造シ又ハ製造セシメ第三工場ノ秩序ヲ維持シ且ツ學生ガ懈怠ナク勉強スルヤ否ヲ證明スルニ在リ



工場副長ハ工場長ノ職務ヲ補助シ教授ニ從事シ亦工場規則ヲ遵守セシム

工場全體ニ係ル物件ノ製造ニ就キ工場中ノ必要ナル關係ハ工業長之ヲ規定ス

工業長ノ不在又ハ差支アル時ハ平均術長ニ於テ工場受任物件ノ製造ニ關スル職務ヲ代理ス

工場ノ會計事務ハ當該布達第三條ニ從ヒ此目的ヲ以テ工場長ニ從屬セシメタル役員ニ於テ之ヲ爲スモ其責任ハ各工場長ニ歸ス而ノ其會計ハ倉庫ヨリ工場ニ受取ル所ノ材料ニ係ルモノナリ

工場長ハ此計算書ヲ集メ材料會計ニ設ケタル方式ニ從ヒ之ヲ會計係ニ交付ス是ヲ以テ各工場ニ帳簿ヲ備ヘ工場長ノ受取リタル貯蓄物製造シタル物産勞動ノ進歩製造ノ終了及ヒ出場期限ヲ記載ス而シテ引渡材料ト出場物産ト平均セサル可ラス但シ製造ノ爲メノ減少及ヒ倉庫内ノ殘物ハ之ヲ除去ス

毎年ノ終ニ於テ受任製造品ノ計算ハ或ハ物件或ハ周圍或ハ分量ニ基キ物産ノ種類ニ從テ之ヲ蒐集シ之ヲ區別シ同一種ニ屬スル物産ノ相場ヲ確定ス

工場長ハ工場現在ノ器械及ヒ同場ニ使用スル器具ニ就キ責任ヲ帶ブ工場長ハ器械器具ヲ保存シ之ヲ修繕シ及ヒ之ヲ適當ニ併列スルヲ學生ニ教授ス

工場長ハ各學生ニ器具ヲ引渡シ且ツ其掃除及ヒ工場ノ掃除ヲ監督ス

工場長ハ工業長ヨリ受取リタル製造雛形ニ從ハサル可ラス許可ヲ經スシテ何等ノ變更ヲ加ユルヲ得ズ

工場長ハ校長ニ於テ計畫按及ヒ指圖書ヲ作り之ニ署名シタル物件ノ外何等ノ物件ト雖モ工場ニ於テ製造スルヲ得ス又製造セシムルヲ得サルモノトス

工場長ハ職工中禁制ニ係ル書籍新聞食物其他ノ物件ヲ學校ニ入レ



タル者アル時ハ直チニ其旨ヲ工業長ニ通知ス  
工場長及ヒ工場副長ニ對シ學校ノ外ニ於テ一巳ノ工場又ハ他人ト  
組合ノ工場ヲ有スルヲ嚴禁ス

幹事

第三十八條 幹事長及ヒ其直轄ニ屬スル幹事ハ秩序及ヒ校則ノ維持  
ヲ以テ其任トス

幹事長ハ校内全部ノ巡視及ヒ監督ヲ爲シ怠惰並ニ犯罪ヲ校長ニ上  
申ス

幹事長ハ毎朝幹事教師及ヒ工場長ノ報告ニ依リ前日起リシ萬般ノ  
事項及ヒ學校一級ノ狀況ヲ書面ニ認メ之ヲ工業長ニ差出ス

幹事長ハ各日曜及ヒ祭日毎ニ參拜及ヒ運動前學生ノ巡視ヲ爲シ室  
内ノ整頓及ヒ掃除ヲ監督ス

幹事ハ幹事ノ指揮ヲ受ケ教師及ヒ工場長ノ監督ニ任セサル場所ニ  
於テ學生ヲ監督シ就中學生ノ品行ニ注目ス

幹事ノ職務ハ幹事長ノ上申ニ依リ校長ニ於テ之ヲ規定ス  
幹事ハ朝夕其報告ヲ幹事長ニ爲シ且少シク重大ニ亘ル事實アレバ  
其態度幹事長ニ通報ス

一級ノ成規

第三十九條 毎日一定ノ時間ニ於テ工業長會計係經濟係及ヒ幹事長  
ハ校長ノ室ニ至リ前日起リシ萬般ノ事項ヲ報告シ且ツ當日爲ス可  
キ事務ニ付キ其指揮ヲ受ク

教師工場長及ヒ工場副長ハ學生カ教場勉強室又ハ工場ニ出席スル  
時間前出校セサル可ラス又出校及ヒ退校ニ際シ平素門戸ニ備ヘア  
ル帳簿ニ各署名セサル可ラス

教師工場長及ヒ工場副長ハ教場勉強室又ハ工場ノ教授時間中學校  
ヲ出ツルヲ得ス若シ其時間中外出セントスル時ハ其旨ヲ工業長  
ニ通知シ工業長ハ不在ノ旨ヲ校長ニ通報スルモノトス  
何人ト雖モ校長ノ許可ヲ經ルニアラザレバ自ラ其事務ヲ止ムルヲ



ヲ得ス  
 一日以上病氣ノ場合ニ於テハ校長ヨリ學校ノ醫師ニ命シ病狀ヲ證  
 明セシムルヲアル可シ  
 毎三ヶ月ノ終ニ於テ校長ハ出勤簿ノ畧表ヲ作ラシメ許可ヲ經又ハ  
 許可ヲ經サル不在及ヒ事務ノ懈怠ヲ證明セシム此畧表ハ之ヲ大臣  
 ニ送呈シ其原本一通ヲ學校監督長ニ送付ス  
 學校ノ食物ハ幹事ニ於テ受領ス  
 其他何等ノ役員ト雖モ小使ヲ除クノ外學校ニ於テ生活スルヲ得  
 ス假令ヒ寄宿費ヲ拂フト雖モ之ヲ許サス  
 第四十條 校長ハ職務ノ懈怠ヲ大臣ニ報告シ大臣ハ情狀ノ輕重ニ從  
 ヒ左ノ罰ニ處ス  
 罷責  
 罰俸ニ處スル罷責  
 當分ノ停職

免職

尙又幹事ニ就テハ其勤務時間ノ外禁足ニ處スルヲアリ此罰ハ校長  
 又ハ幹事長ニ於テ之ヲ科スルヲ得

最終ノ成規

第四十二條 千八百六十六年十二月十八日ノ布達ハ之ヲ廢ス  
 當該規則ハ職業學校ニ於テ直チニ執行ス  
 千八百七十三年十一月八日ベルサイユニ於テ

セ、フ、ラ、ブ、イ、ー、ユ、ソ、ー

署名



農業貸附銀行及佛蘭西銀行(佛蘭西銀行ト云フカハコトハ我日ノ關係)  
我農商務卿アースラン、ド、ボール氏ハ一千八百七十八年ノ万国大博覽  
會ノ後農業貸附銀行ノ設立ニ係ル困難ノ問題ヲ研究シ國會ニ提出ス  
ベキ法律草案ノ編纂ニ任ズル委員會ヲ設置シタリ又其翌年氏ノ後任  
者ナルチラール氏ハ該銀行ニ係ル問題紙ヲ踏地ノ縣會ニ發送シテ其  
答辭ヲ求メ且ツ別ニ在外國ノ我領事館ニ問題紙ヲ回送シテ其管轄内  
ノ國ニ於ケル農業貸附銀行ニ係ル法律ノ状況及慣例ヲ報道センコトヲ  
命令セリ  
縣會ノ内其答辭ヲ回送セシ所アリシト雖モ時日ニ乏カリシヲ以テ其  
答ハ十分ナラザルモノ、ミ然レモ在外ノ領事館ヨリ回送セル報告書  
ノ中ニハ大ニ裨益アルモノアリ委員會ニ有益ナル參考事實ヲ供シタ  
ルモノ五六種ニ下ラズト云フ  
此委員會ハ興廢數回ノ後チラール氏一千八百八十年ニ再ビ之ヲ設置  
シ高名ノ法律學者ナル元老院議員官ホセリヤン氏ヲ其會長ニ撰任シタ



リ當時委員會ヲ組織セル人々ハ左ノ如シ  
 ジー、ボゼリヤン、佛蘭西銀行頭取元老院議員デノルマンデー、元老院  
 議員ジヨセフ、ガルニエー及エミール、ラビシユ、代議院副議長ベト  
 モン、土地抵當銀行頭取代議士クリストフ、預金局長ジブレイエ、國立農業  
 ントナン、ブルース、農商局長チラス、預金局長ジブレイエ、國立農業  
 協會ノエストルノ伯、書記農務局編纂員モーギヤンノ諸氏 後又レ  
 ビブリアックフランセーズ新聞ノ記者アキール、メルシエー氏及元老院  
 議員キサビエー、フラン氏補缺員トシテ撰任セラレタリ  
 委員會ハ其事業ヲ進ムルニ從テ編纂シタル書類ヲ印行セシメ一千八  
 百七十八年以前ニ係ル研究事業ノ説明并ニ縣會ヨリ回送セル答辭、領  
 事館ノ報告、委員會ノ召喚シタル證人ノ陳述、委員會ノ領收シタル書類  
 等ノ説明ヲ掲ケタル六百十六頁ノ四折紙ナル厚キ小冊子ヲ公ニシタ  
 リ委員會ハ此點ニ至リ着々其歩ヲ進メントテ欲シ二部ノ小委員會ニ  
 分離シテ一ハ立法ノ部分ニ任シ一ハ將來依ルヘキ方途及方法ヲ據當

シタルニ第一部ノ小委員會ハ民法ニハ農業貸附銀行ニ妨害タル箇條  
 アルニ因リ之ヲ改定セサレハ到底其銀行ハ設置スヘカヲサルヲ確  
 會一致ニ因テ認メタリ又第二部ノ小委員會ハ耕作者ニ對シテ爲ス所  
 ノ貸附ハ一切之ヲ私人ニ放任シ政府ハ直接ニ干涉スルヲナクシテ唯  
 タ村落ニ於テ恰モ資本ノ過不足ヲ一定スヘキ市場タル廣大ノ設置物  
 ナ創立スルヲ獎勵スヘシトノ意見ナリシト云フ是レ或ル人ノ予ニ  
 確證スル所ナリ但此意見モ亦タ棄却セラレタリ  
 然ルニ其討議ノ間佛蘭西銀行ノ名ハ屢々議場ニ於テ發言アリ又二三  
 議員ノ如キハ佛蘭西銀行ハ蓋シ短期ノ農業貸附ヲ爲シ商人ニ接スル  
 如ク耕作者ニ接シ得ヘキヲ辨明シタリ其說ハ捷ヲ議場ニ制セサリ  
 シト雖モ予ハ其說ヲ以テ審議ヲ盡スニ足ルモノトシ又銀行ハ其定款  
 ナ改メザルモ一年間ニ返済スベキ農業貸附ニ差金スルヲ得ヘシト信  
 スルナリ能ク斯ノ如クナレハ銀行ハ資本ニ乏シキ農業ニ活潑ナル刺  
 動ヲ與ヘ著ク銀行ノ業務ヲ増殖スルヲ得ヘシ



今ノ時ニ及テ農業貸附金ノ重要事タルヲ喋々スルハ無益ナルカ如シ是レ其重要事タルヲハ既ニ多年來人ノ屢々説ク所ナレハナリ抑金銀ハ軍事ノ腦髓ナリト云フヲ以テ眞理トスレハ金錢ハ農業ノ腦髓ナリト言フモ亦同シク眞理ナリトス此格官ハ計數ヲ以テセハ容易ニ其根據ヲ得ヘシ

夫レ穀類ハ最モ重要ナル物ニシテ且ツ亞米利加ノ競争ニ因リ今日我國ニ在テ最モ危險ノ位地ニ在ルモノナレハ之ヲ以テ我立論ノ基本トスヘシ先ツ田野ヲ望ミ熱帶温帶ニ在ル諸ノ地方ニ於テ耕作ニ因テ種ル所ヲ見ヨ第一予輩ノ目ニ留マル者ハ每一「エクタール」(一「エクタール」ハ凡五ノ麥ノ收穫高ハ耕作ニ資本ヲ下スノ多寡ニ因ルヲ是レナリ

我國北部ノ地方ハ農業ノ行ハル、工業ノ如ク盛ニシテ耕作ノ資本ハ一「エクタール」ニ付千法我一法ハ凡乃至千二百法ヨリ決シテ下ルヲナク千五百法乃至千八百法ニモ上ルコトアリト雖モ麥ノ産額ハ一「エクタール」ニ付三十五「エクタール」乃至五十「エクタール」(一「エクタール」ハ凡五斗五升四合)ナ

リトス又巴理府近傍ノ如キハ耕作ノ資本一「エクタール」ニ付五百法乃至千法ニシテ收穫ハ二十五「エクタール」乃至三十「エクタール」ナリ中央地方ニ於テハ耕作資本僅ニ三百法乃至四百法ニシテ産額亦十八「エクタール」乃至二十「エクタール」ニ過キス又南部ニ於テハ耕作資本一「エクタール」ニ付僅ニ三百法ニシテ葡萄樹ヲ除キ麥ノ收穫高ハ十二「エクタール」乃至十三「エクタール」ニ過キサルナリ

以上ハ農學者ノ知悉シ又諸人ノ農業統計ヲ以テ檢査シ得ル所ノ事實ナリトス

前ニ列舉セル景况ニ於テ麥ノ原價如何ト問フニ北部ハ変除スル雜草並ニ相續テ産スル所ノ用根植物及秣草ヲ以テシテ麥一「エクタール」ノ原價ハ十二法乃至十四法ノ平均ナリ中央部ハ至ル所尙ホ二年輪耕法ヲ行ヒ麥ノ原價ハ十六法乃至十八法トス又南部ハ牧畜稀ニシテ從テ極メテ肥料ニ乏キヲ以テ一「エクタール」ノ原價ハ二十法乃至二十四法トス此乙丙ノ原價ハ官報統計ヲ以テ算定シタルモノナリ今



日全國ノ原價ハ「エクトリートル」ニ付二十法ノ平均トス一千八百四十年ニハ十八法ノ平均ナリシナリ  
 夫レ我問題ノ元素タルモノ蓋シ愛ニ在ルナリ即チ一方ハ毎「エクタ」ノ耕作資本ニシテ又一方ハ麥ノ收穫額トス各地皆麥ノ産額ハ其産出ノ爲メニ費シタル費本ノ多寡ニ從テ大小アルヲ見ルヘシ  
 此證明ハ農業貸附銀行ノ重要物タル最モ明白ナル證左ニ非ラヌヤ我國ノ産出者カ亞墨利加ノ競争ヲ蒙ルヲ願モヘハ特ニ然リト爲ス抑此競争ヲ消散セシムルニ道アリヤ曰クアリ唯ターアルノミ我耕作者ノ隨意ニ使用スヘキ耕作資本ヲ充足スルニアリトス其資本ハ全體ヨリ見レハ今ヤ少クモ半ハ足ラサルナリ  
 耕作資本ノ充足スル地方ハ我佛國ノ中唯タ北部アルノミ北部ノ資本ハ「エクタ」ニ付決シテ千法乃至千二百法ニ下ラス而ノ收穫ノ饒多ナルハ此金高ノ割合ニ當リ麥「エクトリートル」ハ十二法乃至十四法ノ原價ニ過キサルナリ北部ノ耕作者ハ此原價ヲ以テシテ新世界利亞加

云ノ産麥ニ恐々懐クヘキカ曰ク否近來ノ調査ニ因レハ我國ノ諸港ニ到ル亞墨利加麥ハ「エクトリートル」ニ付十七法乃至十八法ヨリ以下ニテハ賣却スル能ハスト云フ斯ノ計算ナルハ北部地方ノ耕作者ハ稍大ナル餘裕アリト謂フヘシ何トナレハ其原價ハ決シテ十四法ノ上ニ出テサレハナリ今ヤ麥價ハ巴理ヨリモ紐育ニ於テ貴シト云フ中央地方ノ耕作者ハ前者ニ比スレハ其位地稍宜シカラス麥ハ十六法乃至十八法ノ原價ナルカ故ニ僅ニ得失相償フノミ又南部地方ノ耕作者ハ實際競争ニ抗スル能ハサルノ位地ニ在リ何トナレハ其原價ハ「エクトリートル」ニ付二十法ニシテヴァール及グテリユーズノ如キハ二十四法ニ上レハナリ  
 之ニ因テ之ヲ觀レハ中央地方ノ耕作者ハ亞墨利加ノ麥ト競争シテ終ニ斃ルヘシ又南部地方ノ耕作者ハ己レカ産ヲ倒サ、ラント欲セハ麥ノ耕作ヲ停止スルノ外ナラサルナリ  
 然ラハ則チ中央地方耕作者ノ鞏固ナラサル位地ト南部地方耕作者ノ



失望ナル地位トテ救ハンニハ如何セハ可ナランカ曰ク予ヲ以テ之ヲ見ルニ農業貸附銀行ヲ設立スルヨリ善キハ非ルナリ蓋シ中央地方ノ耕作者ニシテ其耕作資本チ一「エクタ」ニ付六百法乃至七百法ニ増加シ十八「エクタ」トリ「トル」乃至二十「エクタ」トリ「トル」ノ收穫ニ止メスシテ二十四「エクタ」トリ「トル」乃至二十六「エクタ」トリ「トル」ノ收穫ヲ得レハ其原價チ一「エクタ」トリ「トル」ニ付十五法又ハ十八法ニ減スルヲ得ヘシ此金額ヲ以テハ唯タ微々タル利益ヲ收ムルニ過キサルハ誠ニ然リト雖モ敢テ損失トハナラサルヘシ

南部地方ノ耕作者ニ在テハ之ニ勸告スルニ穀類ヲ産出セ、ヨト、言ヲ以テズルハ蓋シ惡シカルヘシ此地方ハ動モスレハ早熟ニ苦ムカ故ニ穀類ノ耕作ニ適セサルナリ故ニ葡萄樹ノ栽培養蚕及歐羅巴ノ北部ニ産出セサル早熟ノ菓菜及諸種ノ菓實ヲ産出スヘキヲ勸告スルヲ良シトス葡萄樹及蚕虫ノ如キハ今日病害ヲ蒙ムルト雖モ遠カラスシテ去ル日アラシ又諸種ノ菓實ハ南部地方ニ於テ其耕作法ヲ改良シ天日ノ

炎熱ヲ利用スルニ十分ナル資力ヲ得ハ歐羅巴ノ北部ニ其多量ヲ輸出スルヲ得ヘシ

抑我國中央地方ノ耕作者ニ其收穫ヲ増殖スルノ方法ヲ得セシメ南部地方ノ我同國人ヲシテ北部歐羅巴ニ對シ早熟ノ蔬菜及菓實ノ供給者ヲラシムルニハ如何セハ可ナランカ曰ク是レ之ヲシテ資本ヲ得セシムルニ在リ資本ナクハ無能力タルニ至ルヘシ農業ハ此點ニ在テハ商業及工業ニ異ナラサルモノトス資金愈多ケレハ從テ其産額ハ増加シ從テ又原價ヲ減スルヲ得ヘシ百進歩ノ基礎タル重大至要ノ一問題ハ蓋シ愛ニ在ルナリ

予ハ計數ヲ以テ農業貸附銀行ノ重要物ナル「」ヲ證明シ而シテ後今日マテ世ニ出テタル制度ト全ク異ナル所ノ予ノ制度ヲ詳ニ説カントス蓋シ此問題ヲ論定シ得ヘキハ唯タ一箇ノ設置物ヲ行フヲ以テスヘシト云フノ言ニモアラス又地方ノ銀行ヲ以テスヘシト云ヘル言ニモアラサルナリ唯タ毎年十五億法ニ上ルトノ風説アル國人貯金ノ大半ヲ



農業ノ資本ニ放下スルカ爲メ十分ノ保證安全ヲ世間ノ資本家ニ與フ  
レハ足ルナリ  
耕作者ヲ商事裁判官ノ管轄トスレハ之ニ資本ヲ與フルヲ得ヘシトハ  
或ル論者ノ主張スル所ナリト雖モ決シテ然ラサルナリ  
農業上ノ營利業ト商業上ノ營利業トニハ甚シキ異同アリテ決シテ相  
比較スヘキモノニアラス各特種ノ規則ニ從ハサル可ラサルナリ  
農業ニ於テ貸借業務ノ精算完結スルハ最モ徐々ナルモノナリ是レ九  
十日ノ期限ヲ以テスル所ノ佛蘭西銀行ニ於テ今日マテ幾ント村落ニ  
關係セザリシ所以ナリトス然レハ一ヶ年ヲ以テ精算完結シ且ツ該銀  
行ニ於テ暴激ニ定款ニ改定ヲ加ヘサルモ開始スルヲ得ヘキ衆多ノ業  
務アルアリ唯タ一二回又ハ三回ノ更新書換ノヲ許シ小額内金返辦法  
ヲ以テ償還スルヲ得セシムヘキノミ  
畜獸ヲ肥滿セシムルノ職業ハ此種類ノ中ニ屬スルモノナリ予ハ該銀  
行ノ爲メニ説クニ其巨額ノ資本ヲ運轉セシムルモノナルト銀行業

務ノ部内ニ入ルヘキモノナルヨキヲ以テセントス  
然レモ予ハ特ニ巨數ノ獸群アルヲ示サントスルナリ其獸群ハ夏季  
ノ間ハ山國ナル牧畜地方ヲ群行シ亞力伯山必里尼斯山及中央ノ平原  
ヲ絶ヘス荒害スル原因中ノ一トス其荒害ヲ防止センニハ既ニ小額ニ  
下レル所有主ノ收入ヲ損害スルヲ厭フ獸數ノ半ヲ減スヘキノミ蓋シ  
其收入ハ増殖スルヲ要スルモノニシテ又之ヲ増殖スルヨリ容易ナル  
モノハ非ルナリ山國ナル牧畜地方ノ土地所有主ハ自ラ事業ヲ經營ス  
ルノ資本ヲ有セサルヲ以テ其土地ヲ牧者ニ賃貸シ牧者ハ一頭ニ付一  
噸笑スヘキ借地料ヲ拂フモノトス因テ土地所有主ハ自己ノ收入ヲ増  
サント欲シテ過多ノ稅ヲ課スルナリ  
然レモ今佛蘭西銀行ハ其土地所有主ニ資本ヲ供給スル望アルモノト  
假定スレハ土地所有主ハ自ラ其牧場ヲ經營シ牧者ノ獲ル處ノ利益ヲ  
悉ク己レカ有トスルヲ得ヘシ事爰ニ至レハ土地ノ收入ヲ二倍シテ獸  
群ノ實數ヲ半ニ減スルハ難キニ非ラザラン然ラハ則チ山國人ノ位地



ヲ改良シ亞力伯山必里尼斯山及中央平原ノ寬客ヲ防止シ洪水ノ變異  
 ヲ輕減スルヲ得ヘシ蓋シ佛蘭西銀行ハ予ノ言ニ從ヘハ損失ナクシテ  
 利益アルヘシ何トナレハ山國地方ニ在ル其支店ハ今日得失相償ハサ  
 ルモノアリ又ハ微少ノ結果ヲ得ルノミナレハナリ是レ予カ官報ノ計  
 數ヲ以テ證明セント欲スル所ナリトス  
 以上ノ説ク所ハ予カ本論ノ全体ヲ客官セルモノナリ之ヨリ進テ本論  
 ニ移リ農業銀行ト商業銀行トノ大ナル差異ヲ明ニスルヨリ官ヲ起サ  
 シトス

第一 農業銀行及商業銀行

夫レ此二種ノ銀行ニハ大ナル差異アリテ存スルナリ其差異ハ農業及  
 商業ニ於テ種々ノ轉運ニ因テ事ニ從フノ方法ト精算ヲ完了スル時期  
 トノ相同シカラサルニ因テ來ルモノトス佛蘭西銀行ハ其營業ノ方法  
 ニ於テハ商業銀行ノ具手タルモノナリ本世紀ノ始ニ設立シタルモノ  
 ニシテ唯ク一箇ノ目的アルノミ商工ノ二業ヲ擴張シ進歩セシムルヲ

是レナリ其始メニ計畫セシ所ノ範圍外ニ出シテハ今日未ダ嘗テ  
 アラス而シテ農業ノ事ニハ更ニ交渉シタルナシ是ヲ以テ今日農業  
 銀行ヲ設立スルノ議起レハ人疑フテ佛蘭西銀行ハ其創立ノ法律ニ  
 二三ノ改定ヲ施シ村落ニ其無限ノ資金ヲ爲スハ不可ナルヘキカト銀  
 受ニ官フ所ハ短期即チ一年ヲ以テ精算完結スル貸附ナルノミ長期ヲ  
 要スル貸附ニ在テハ暫ク之ヲ佛蘭西銀行ノ業務ニ委セスシテ相互貸  
 順ノ原則ニ本キ鄉村ノ小銀行ヲ創立スヘキモノトス  
 制度考按者ノ中ニハ勸産農業銀行ヲ設立スルニハ耕作者ヲ商人ト見  
 做シ之ヲシテ營業體札ヲ受ケシメ商事裁判所ニ於テ裁判スヘキ者ト  
 シシムヘキノミト説クモノアリテ其反復論議スルハ既ニ多年來ノ事  
 ナリ然レモ此制度ハ農商二業ノ各々其業ヲ營ムノ方法ヲ比較スレハ  
 實行シ能ハザルヲ認知スヘシ抑々農業銀行ヲ商業銀行ト見做スニ  
 ハ耕作者ノ掌中ニ存スヘキ質物及之ヲ賣ラシムルノ解懸手續ニ關ス  
 ル事ニ於テハ其容易ナキ疑ヒナシト議モ償還ノ方法ト償還スヘキ期



限トニ至テハ相比較ス可クサルナリ商業ノ事ニ於テハ約束手形ノ償  
 還ハ一回ニ於テシ九十日ノ外ニ出ルコトナシトス是佛蘭西銀行ニ於テ  
 定メタル期限ナリ其他該銀行ハ手形ノ更新ヲ許サス其更新ハ唯タ  
 帳簿取引ヲ承諾シタル銀行營業者ノ仲介ヲ以テノ外ハ爲スヲ得サル  
 ナリ

農業ノ貸附ハ別ノ規則ヲ以テセサル可クサルナリ負債主ハ種々ノ時  
 期ニ於テ漸次ノ賣却ヲ以テニ非レハ收穫物及畜獸ヲ金ニ換ヘサル故  
 ニ其金ニ換ヘタル毎ニ債主ニ内金ヲ拂フヲ要スヘシ又一方ヨリ官ハ  
 ハ農業ニ於テハ貸借ノ業務ハ商業ニ於ケルヨリモ顧ル餘々ニ精算完  
 結スベキヲ以テ負債主ノ辨償ヲ終ルニ長キ期限ヲ許シ事宜ニ因テハ  
 一部分ノ更新ヲ承諾スルヲ要スルナリ此差異ハ前ニ言ヘル如ク二業  
 ノ性質其各種ノ事業轉運中ニ用フル方法ト精算ヲ爲スニ要スル時期  
 トニ因テ來ルモノトス例ヘハ五百<sup>キロ</sup>グラム<sup>一</sup>ニ<sup>キ</sup>二百六十<sup>グラム</sup>ハ<sup>ル</sup>ノ<sup>砂</sup>  
 糖ヲ買ヒ三ヶ月期限ノ手形ヲ以テ其代價ヲ償フ所ノ零賣商人ハ日々

小量ヲ以テ小賣ヲ爲モノトス然リ而シテ期限ヲ定メテ買フタル商品  
 ハ手形辨償期限ノ到ル前ニ大概ネ常ニ賣了ルモノナリ是故ニ零賣商  
 人其手形ノ辨償ヲ終ルルハ賣主ノ金ヲ以テ其辨償ヲ爲スモノトス  
 農業ニ於テハ之ニ類スル事更ニアラザルナリ例ヘハ脱糶器ヲ購フ所  
 ノ耕作者ハ手形ヲ爲シ順次ノ貯蓄ヲ爲スニ因ルカ又ハ其器械ヲ貸貸  
 スルニ非レバ其代價ヲ恢復スルヲ得ズ然ラバ則チ借入レタル資本ノ  
 金高チ復スルニハ幾許ノ時日ヲ要スベキカト官フニ明言シ難シト雖  
 モ蓋シ九十日ノ期限ニテハ脱糶器ヲ購フタル金額ヲ復スルノ外農業  
 ニ於テ最モ短時ノ業トスル畜獸肥滿<sup>屠肉ニ取テ賣行フニ肥云フナラニ要</sup>  
 スル金額ヲ復スルノ暇アラザルナリ到底耕作者ニ向テ要求シ得ルハ  
 其産物ノ金ニ換フルニ從テ内金ヲ貸主ニ拂フコトニ過キザルベシ是  
 故ニ農業者ト商人トハ償還期限及其方法ノ二點ヨリ同視ス可クザル  
 モノナリ

然レモ又人アリ官ハントス小額ヲ以テ數回ニスル償還法ハ我國財務



ハ實業ニ於テハ今日マテ例ナキ事實ナリ然ルニ何ヲ以テ其正當ナル  
 ヲ辨解スルカト然レハ是予輩ヨリ見レバ決シテ前例ナキ事ニ非ラズ  
 獨逸、英蘭、蘇格蘭及其他數多ノ國ニ於テ採用スル所ナリトス獨逸ニ於  
 テハシユルツテリツツノ民立銀行ハ商人及農業者ニ立替金ヲ爲シ其商  
 人及農業者ハ一部分ノ償還ヲ爲スヲ得ルナリ瓦敦堡ノヘルホルル銀  
 行モ亦同シ業務ヲ施行ス又シユルツテリツツノ民立銀行ニ先テ起リテ  
 ツヘンデム氏ノ其銀行ヲ合併シタル邑村銀行ハ耕作者及職工ニ小金  
 額ノ貸附ヲ爲シ耕作者ハ之ニ因テ畜獸ヲ買ヒ職工ハ之ニ因テ器具ヲ  
 購フモノトス凡テ此貸附金ハ一回又ハ一部分ノ内金及ハ年賦ヲ以テ  
 償還スルモノナリ  
 英蘭ニ於テハ銀行營業者ト取引ヲ爲ス人ハ前者ト同シ方法ヲ以テ負  
 債ヲ辨償シ蘇格蘭ニ於テハ銀行ハ實力アル諸般ノ人ノ依頼ニ應シ負  
 債主ハ一志<sup>レ</sup>債<sup>ハ</sup>債<sup>ハ</sup>凡<sup>ハ</sup>法<sup>ハ</sup>二十<sup>ハ</sup>五<sup>以下</sup>タル可<sup>ハ</sup>ナル小額ノ拂込ヲ爲シ  
 テ辨償ヲ終ハルヲ得ルナリ佛蘭西ニ於テハ銀行營業人ト帳簿取引ヲ

爲ス人ハ之ト同權理ヲ有スルモノトス我海外ノ所領<sup>ニ</sup>地<sup>ヲ</sup>ニモ亦之  
 ニ類スル業務ヲ爲ス者アリ屬國ニ在ル銀行ノ砂糖收穫ヲ目的トシテ  
 貸附ヲ爲スルハ負債主ハ金ヲ得ルヲ從テ辨償スルモノトス是數多ノ  
 例ニ非ラスヤ其他ハ枚舉ニ暇アラサルヘシ此例ハ予ノ農業貸附ノ爲  
 ニ定ムヘシト官<sup>ニ</sup>償<sup>還</sup>法<sup>ノ</sup>論據タルモシナリ  
 此本元タル事實ヲ以テスレハ農業銀行ハ或ル險者ノ説トハ反對シテ  
 商業銀行ト同シ基礎ヲ以テ設立ス可<sup>ハ</sup>ナルコト見ルヘシ此二業ハ各  
 ヲ殊別ノ規則ニ從フテ以テ宜キニ適フモノトス資本家  
 ノ耕作者ト貸借シテ安全ヲ得メニハ第一ニ農業貸物ヲ定メサル可<sup>ハ</sup>  
 ス而シテ之ヲ定ムルヨリ容易ナルモノハ非ラサルナリ農園ノ中ニハ  
 二十億法ノ上ニ出ル價格アル物アリ畜獸、器械、賭種ノ貯蓄品未收ノ作  
 物、伐採ノ木材等是レナリ凡ソ此等ノ物件ハ民法ニハ不動産ト爲シテ  
 ルカ故ニ其所在ノ土地ト共ニスルニ非レハ賣却スル能ハサルモノト  
 ス然リ而シテ不動産ノ賣却ハ大ニ時日ヲ要シ且ツ費用多キヲ以テ賣



本家ヲシテ逃避セシムルナリ  
 商業ニ於テハ事全ク斯ノ如クナラス商人ハ其所有スル諸物ヲ以テ資  
 本ヲ作ルヲ得即チ營業ノ材料商品原品是ナリ工業家ハ負債ノ抵當ニ  
 其器械ヲ入ル、ヲ得倉庫ニ蓄フル原品ヲ抵當トスル、モ亦得ヘク又  
 其製造品ヲ定期ノ賣却ニ附シテ資本ヲ作ルヲ得ルナリ商人ハ其倉庫  
 ニ蓄スル商品ヲ目的トシテ約束手形ニ署名シ又ハ其商品ヲ税關ノ倉  
 庫ニ寄托シテ爲換手形ノ如ク流通スル所ノ荷預切符ノ交付ヲ求ムル  
 亦得ルノ便利アリ是レ工商ノ二業ニ於テ資本ヲ得ルニ用フヘキ數多  
 方法ナリトス  
 然レハ農業者ヲシテ之ト同ク資本ヲ得易カラシメサルハ何ノ故ナル  
 九解ス可ラス耕作者ニテ其所有スル所ノ動産二十條法ヲ流通セシ  
 得タランニハ容易ニ負債ヲ起シ今日ニ在テハ必要トスル金額ノ半  
 ニモ達セサル耕作資本ヲ充足スルヲ得ヘシ此目的ヲ達センニハ予カ  
 説ク所ノ如ク我民法ニ少ク改定ヲ施スヘキノミ今日地上ニアル諸ノ

物件ヲ土地ヨリ分離シテ資本家ニ抵當ト爲シ得ヘキ各別ノ所有物ト  
 爲スヲ要スヘシ斯ノ如クナレハ共同倉庫ヨリ交付スル荷預切符ノ  
 如ク確實ナル農業預ケ切符ヲ交付スルヲ得ヘシ  
 唯々法律上ノ假定ヲ以テシ農業上ノ物件ハ場所ヲ移轉セシテ買物  
 トシ得ルヲ要スヘシ借主ハ其寄托引受人トナリ毀壞曲用<sup>油用ト</sup>用ト定  
 使用スルノ責任任スヘキモノトス蓋シ畜獸及器械ヲ藏スル爲ニ共同倉  
 庫ヲ建築スルハ決シテ爲ス能ハサルノ事ナルヘシ其建築ハ極メテ巨  
 大ノ金額ヲ要シ又物件ノ運搬ニ大ニ費用ヲ支出セサル可クサラン且  
 ツ又器械畜獸ハ作業ノ爲メ一日モ耕作者ニ缺ク可クサルモノナリ尙  
 ホ且ツ爲ス能ハサル一事ハ未收ノ作物ヲ預ケ入ル、ニアレヘシ是ノ  
 故ニ商業ニ與フルト同シ利益ヲ農業ニ得セシメント欲セハ場所預ケ  
 預入<sup>預入</sup>所在ノ場所<sup>所</sup>ニテ法ヲ定メ負債主ヲシテ其抵當トスル諸物ノ責  
 任ヲ負ハシムルヲ要スルナリ然ラハ則チ恰モ農國ノ數ニ應シテ小ナ  
 ル共同倉庫アルノ形ニシテ規模ノ大ナル農業銀行ヲ設立スルヲ得ヘ



農業銀行ト商業銀行トハ質物賣却ニ關スル事ニ於テモ亦同視スルヲ得ヘシ抑々商法ノ第六十三條トナレル一千八百六十三年ノ法律ノ明文ニ因レハ約束手形ノ待決停止<sup>待決停止</sup>裁判<sup>裁判</sup>交付<sup>交付</sup>ノ提出<sup>提出</sup>アル止<sup>止</sup>スルヲ計<sup>計</sup>算<sup>算</sup>スルノ一タネ<sup>一</sup>ハ之ニ對スル質物<sup>質物</sup>ハ辨償<sup>辨償</sup>ノ催促<sup>催促</sup>ヲ爲シ其決答<sup>決答</sup>ナキヨリ十五日ノ後<sup>後</sup>ヲ以テ賣却<sup>賣却</sup>スルヲ得ルナリ是唯<sup>是唯</sup>債<sup>債</sup>ノ費用<sup>費用</sup>ヲ要スル迅速<sup>迅速</sup>ノ訴訟<sup>訴訟</sup>法<sup>法</sup>トス

農業賣物ニ在テハ之ト同様ナル訴訟<sup>訴訟</sup>法<sup>法</sup>ヲ有故ニ設ケサルカ其意<sup>其意</sup>解<sup>解</sup>ス可<sup>可</sup>クサレナリ特ニ要スヘキ事ハ農業者ト關係<sup>關係</sup>ヲ保<sup>保</sup>護<sup>護</sup>セント欲スル資本<sup>資本</sup>家<sup>家</sup>ノ借主<sup>借主</sup>ノ金<sup>金</sup>額<sup>額</sup>ヲ發<sup>發</sup>カサルモ容易<sup>容易</sup>ニ其實力<sup>實力</sup>アル<sup>アル</sup>トテ債<sup>債</sup>ヲ得<sup>得</sup>ヘキ公<sup>公</sup>ノ場<sup>場</sup>所<sup>所</sup>ヲ設<sup>設</sup>ルニ在ルヘシ然ルニ之ヲ設<sup>設</sup>ルヨリ容易<sup>容易</sup>ヲ得<sup>得</sup>ル非<sup>非</sup>ナリ客<sup>客</sup>地<sup>地</sup>治安<sup>治安</sup>裁判所<sup>裁判所</sup>ノ書記局<sup>書記局</sup>ニ其日附<sup>日附</sup>ヲ以テ農業貸附<sup>貸附</sup>ヲ記入<sup>記入</sup>スヘキ帳簿<sup>帳簿</sup>ヲ備<sup>備</sup>フヘキノミ而<sup>而</sup>ノ書記<sup>書記</sup>及<sup>及</sup>貸主<sup>貸主</sup>借主<sup>借主</sup>雙方<sup>雙方</sup>之<sup>之</sup>署名<sup>署名</sup>スヘキ者<sup>者</sup>トス此帳簿<sup>帳簿</sup>ハ何人<sup>何人</sup>ニモ査閱<sup>査閱</sup>スルヲ許<sup>許</sup>セハ確實<sup>確實</sup>ナル公<sup>公</sup>衆<sup>衆</sup>ノ格式<sup>格式</sup>ヲ以テシ貸主<sup>貸主</sup>ヨリ

其先取權<sup>先取權</sup>ヲ讓<sup>讓</sup>ラサル以上<sup>以上</sup>ハ其負債<sup>負債</sup>主<sup>主</sup>ハ既<sup>既</sup>ニ他<sup>他</sup>ノ債<sup>債</sup>權<sup>權</sup>ニ當<sup>當</sup>テザル物件<sup>物件</sup>ヲ抵當<sup>抵當</sup>トスルヲ得<sup>得</sup>クラン若シ抵當<sup>抵當</sup>トスルハ裁判所<sup>裁判所</sup>ニ告訴<sup>告訴</sup>セラントハ此制度<sup>此制度</sup>ハ最<sup>最</sup>モ簡約<sup>簡約</sup>ニシテ且<sup>且</sup>テ一千八百六十三年<sup>一千八百六十三年</sup>ノ法律<sup>法律</sup>ヲ以テ商業<sup>商業</sup>動產<sup>動產</sup>ノ爲<sup>爲</sup>ニ定<sup>定</sup>メタル制度<sup>制度</sup>ヨリハ頗<sup>頗</sup>ル効力<sup>効力</sup>アルヘシ商業<sup>商業</sup>動產<sup>動產</sup>賣物<sup>賣物</sup>ハ何處<sup>何處</sup>ノ帳簿<sup>帳簿</sup>ニモ記入<sup>記入</sup>セサルカ故<sup>故</sup>ニ債主<sup>債主</sup>ハ物件<sup>物件</sup>ヲ其手中<sup>手中</sup>ニ握<sup>握</sup>ラサレハ之<sup>之</sup>ノ損失<sup>損失</sup>ノ危險<sup>危險</sup>アリトス農業<sup>農業</sup>動產<sup>動產</sup>賣物<sup>賣物</sup>ニ至<sup>至</sup>テハ決<sup>決</sup>シテ然<sup>然</sup>ル<sup>ル</sup>トナシ債主<sup>債主</sup>ハ常<sup>常</sup>ニ其物<sup>其物</sup>質<sup>質</sup>大小<sup>大小</sup>ヲ知り其<sup>其</sup>ノ不<sup>不</sup>動<sup>動</sup>產<sup>產</sup>ニ附着<sup>附着</sup>スル<sup>ル</sup>トテ認<sup>認</sup>ムヘシ然<sup>然</sup>リ而<sup>而</sup>シテ負債<sup>負債</sup>主<sup>主</sup>ハ其物件<sup>物件</sup>ノ受<sup>受</sup>托<sup>托</sup>者<sup>者</sup>ナルカ故<sup>故</sup>ニ曲用<sup>曲用</sup>ノ悞<sup>悞</sup>ナシトス

動產<sup>動產</sup>ヲ賣物<sup>賣物</sup>トシタル借主<sup>借主</sup>ヨリ期限<sup>期限</sup>ニ至<sup>至</sup>テ貸金<sup>貸金</sup>ヲ返<sup>返</sup>辨<sup>辨</sup>セサルキハ之<sup>之</sup>ニ治安<sup>治安</sup>裁判所<sup>裁判所</sup>ノ書記局<sup>書記局</sup>ヲ通過<sup>通過</sup>シタル契約<sup>契約</sup>證書<sup>證書</sup>ヲ送<sup>送</sup>達<sup>達</sup>セシムヘキノミ治安<sup>治安</sup>裁判所<sup>裁判所</sup>ハ欺罔<sup>欺罔</sup>ヲ防<sup>防</sup>グカ爲<sup>爲</sup>メ其<sup>其</sup>後<sup>後</sup>草書<sup>草書</sup>ヲ校合<sup>校合</sup>シ之<sup>之</sup>ニ執行<sup>執行</sup>命令<sup>命令</sup>ヲ書<sup>書</sup>キ入<sup>入</sup>レテ債<sup>債</sup>權<sup>權</sup>遲延<sup>遲延</sup>ノ負債<sup>負債</sup>主<sup>主</sup>ニ送<sup>送</sup>達<sup>達</sup>シ一千八百六十三年<sup>一千八百六十三年</sup>ノ法律<sup>法律</sup>ニ當<sup>當</sup>テ農業<sup>農業</sup>動產<sup>動產</sup>賣物<sup>賣物</sup>ヲ十五日<sup>十五日</sup>以内<sup>以内</sup>ニ賣却<sup>賣却</sup>セシムヘシ

商業<sup>商業</sup>上<sup>上</sup>ノ貸借<sup>貸借</sup>ハ商業<sup>商業</sup>裁判所<sup>裁判所</sup>ニ訴<sup>訴</sup>訟<sup>訟</sup>ヲ爲<sup>爲</sup>シ其判決<sup>判決</sup>ハ迅速<sup>迅速</sup>ナリトシテ之



ヲ稱賛スル者アリ其言ニ曰ク事件ノ落着速ニシテ費用亦僅少ナリ因  
 テハ農業貸借ニ係ル事件モ亦商事裁判官ニ訴フルヲ希望スヘシ此制  
 度ヲ以テスレハ訴訟簡易ニシテ早ク決スヘシ是レ今日民事裁判所ノ  
 訴ニアラサル所ナリト  
 予ハ商事裁判所ヲ以テ時ト金トヲ節儉スル所ナリト認ムレモ尙ホ之  
 ヲ一層ノ善事アリト思考スルナリ即チ農業貸借ニ因テ起ル所ノ訴  
 訟ハ其裁判ヲ治安判事ニ委任スルニアリ郷村ハ甚ダ廣カラサルカ故  
 ニ訴訟者ハ遠路ヲ奔走セシテ家父ノ戒ヲ受ルカ如ク簡略廉費ノ裁  
 判ヲ受ルヲ得ヘシ而シテ判決ノ執行ハ始審裁判所ニ屬スト雖モ郷村  
 ノ法官ヲシテ其執行ニ任セシメハ更ニ宜シカラスシ  
 紳々又爰ニ農業貸借ト商業貸借トノ間ニ更ニ異ナル所ノ大ナルモノ  
 アリ耕作ノ耕作資本ト爲スニ借リ入ル、金額ノ使用法是レナリ予  
 之ヲ稱シテ貸金ノ特用ト云フ但佛蘭西銀行ハ其特用ヲ望ムト予輩ノ  
 知テ切ナラスト信ス可ラス夫レ割引委員會ハ信用手形即チ金銀ヲ得

之爲ニ私人ノ提出シタル手形ヲ承諾セサルナリ是レ佛蘭西銀行ノ專  
 務ニ非ラザレハナリ銀行ハ唯タ商業手形即チ匯札ヲ受ケタル輩ノ自  
 家ノ業務ニ資スル爲ニ發行スル手形ヲ價收スルノミ其爲ス所ハ予ノ  
 所聞貸金ノ特用ニ似タルモノアルニ非ラズヤ予ノ農業貸附説一朝法  
 律トナリテ世ニ出テタランニハ重要ノ動産質ヲ供出シ得ヘキ耕作  
 ハ容易ニ負債ヲ起スヲ得ヘシ然レモ借入金額ハ必其質物所在ノ不動  
 産ニ施ス耕作ノ改良ニ使用スヘキモノトス此規則ニ背ク場合ニ於テ  
 ハ負債主ハ契約期限前ニ償還スルノ強制ヲ受クヘシ是レハ佛蘭西銀  
 行ノ定款中ニアラサル所ノ事ナリトス銀行ハ唯タ提出スル信用手形  
 ヲ棄却スルニ止マルノミ

**注** 佛蘭西銀行ハ全ク此保護規則ニ從ハスシテ近來ハ商業上ノ訴訟  
 法ニ因ル可ラサル相場ニ收入ヲ使用スル手形ノ割引ヲ承諾スト云  
 フ是レ其定款ニ背クノ使用法ニシテ其在金ノ一部ヲ收入ヨリ賦ス  
 ルモノナリ



此事ニ付キ佛蘭西銀行ニ於テ予ノ意見ノ如ク短期ノ農業貸附ニ放金  
セント欲セハ商業證券ノ割引ヲ爲スヨリ難キタル保證アルヘシ是予  
ノ制度ニ因テ生スル所ナリ第一ニ銀行ハ立替ハタル金額ニ二陪ス  
價格アリテ其特權ヲ有スル買物ニ對シテノミ貸附ヲ爲スヘシ第二ニ  
借主ハ借入レタル金額ヲ耕作ノ改良ニ使用スルノ義務アルヲ以テ其  
使用ニ因テ在來ノ保證ニ尙ホ新ナル保證ヲ加ヘ銀行ハ百法ヲ貸附ナ  
テ三百法ノ價格アル買物ヲ有スルヲ得ヘシ實ニ安全ニシテ餘裕アリ  
ト爾フヘキナリ  
或ル舊弊論者ハ貸金ノ特用法ヲ以テ苛酷ト認ムシ是レ佛蘭西ヲミ  
ナラス歐羅巴ノ諸國ニ於テ採可スル所ナリト云フ而シテ舊弊論者ハ言  
ハントス  
蓋シ負債主ハ他ノ用途ニ供セハ最モ利益ヲ得ヘキニ例ノ故ニ始メヨ  
リ其借入金ノ用法ヲ一定スヘキヤト或ハ然ル事アラン然レモ是レ貸  
主ノ約束ニ出ツルトスレハ之ニ從ハサル可クサレナリ是レ又官府

リ公益ノ工事例ハハ灌溉ノ工事暗渠排水ノ工事溜水ノ工事ニ補助金  
ヲ下附スル片ニ施ス所ノ處分法ニシテ工事ヲ監督スル工師ハ其事業  
ノ進捗スルニ從フニ非レハ補助ヲ請取ルヘキ命令書ヲ交付セサルナ  
キ是レ嚴ク以テスル貸金ノ特用法ニアラスヤ我屬地ノ諸銀行ハ甘蔗  
ノ栽培者ニ立替金ヲ爲スニ其爲ス所ハ之ニ外ナラサルナリ英國ニ於  
テ暗渠排水ノ爲メ私人ニ立替スルニ他法ノ貸附金ハ工事ノ成功  
シタル後ニ非レハ支拂ハサルナリ以テ農業貸金ノ特用法ハ耕作者ニ  
恐惧ノ念ヲ懷カシムルモノニ非ルヲ見ルヘシ却テ其特用法ハ耕作者  
自家ノ利益資本家ノ利益尙且ツ國民利福ノ増進ヲ要スル我社會ノ利  
益ヲ主トシタルノ考案ナリトス  
一年ヲ以テ精算スル農業貸借ヨリ長期ヲ要スル貸附ハ二年ヲ以テ完  
了スヘキモノトス耕作者ヲシテ借入レタル資本ヲ復セシムルニハ此  
期限ヲ以テシテ適當ナルカ如シ耕作ノ改良ハ第一年ヨリ其緒ヲ著ハ  
シテ預メ好結果ヲ認定スヘキモ氣候ノ不順及其他ノ變異ニ因リ作物



ナ荒害シ畜獸ヲ斃死セシムルヲナシト爲ス可ラス斯ノ時ニ當リ負債  
 主ノ買物ニ保險ヲ附セザリシ時ハ困苦セサレハ初年ヨリ負債ノ辨償  
 ナ爲シ難カルヘシ然レモ第二年ノ末ニ至レハ貸主借主雙方ニ別段ノ  
 契約アラサル以上ハ必精算ヲ爲サ、ルヲ得サルナリ夫レ事業ノ完結  
 ナ過長ノ時ニ讓ルハ之ニ妨害ヲ與フルニ非ラスヤ精算ノ迅速ハ商業  
 ニ於テハ本然ノ元素ニシテ取引ヲ圓滑ナラシムルモノナリ分散ノ場  
 合ニ於ケルカ如キハ一時其取引ヲ停止スト雖モ速ニ再ヒ開始スルヲ  
 得ヘシ之ニ因テ之ヲ觀レハ農ト商トハ其業務ヲ異ニスレモ其許ス限  
 リハ農業ニ於テモ商業ノ如ク迅速ヲ以テスルヲ至當トス事ノ迅速ナ  
 ル斯ノ如クナレハ則チ日ニ村落ニ於テ爲ス所ノ既ニ夥多ナル賣却及  
 購入ヲ尙ホ一層増殖スルヲ得ヘシ  
 農業貸附ノ期限ヲ定ムル事ニ於テハ耕作者及職工ヲ對手トスル所ノ  
 來因河對岸云ニ在ル諸種ノ設置物云ノ採用セル價例ヲ參考  
 トスルヲ莫トス大半ノ金銀取扱局ハ常ニ更新スヘキ三ヶ月手差ノ據

出テ承諾スルナリ畜獸及器械ノ購入ニ貸出ヲ爲ス所ノ巴教大侯領ノ  
 諸銀行ハ唯タ一年ノ期限ヲ承諾シシユルヲテリツ及ラフヘンデシテ  
 銀行ハ一年乃至五年ノ間ニシテ且ツ十年ニ至ルノ期限ヲ承諾ス是ノ  
 故ニ獨逸ノ小金額借主ハ大ナル便宜ヲ有スルナリ  
 英國ノ諸銀行ハ資力アル耕作者ニ帳簿取引ヲ承諾シ耕作者ハ自ラ債  
 還ノ期限ヲ定ム資力アル保證人ヲ以テ保證スル貸附ナルホハ其期限  
 ハ三ヶ月ト雖モ六ヶ月又ハ其以上ニ至ルヲ得百事皆借主ト其保證  
 人ノ資力ニ因テスルナリ  
 斯ノ如ク種々ノ慣例アルヲ見レハ農業貸附ノ期限ハ二年ト定メテ可  
 ナルヘシ此期限ハ農業ノ必要ニ應スルモノ、如シ之ヨリ長クハ期限  
 ナ定ム可ラス事業ヲ妨害スルヲアルベケレハナリ  
 第二種ノ貸附例トヘハ乳牛ノ購入ニ供スル貸附ハ二年ノ期限ヲ以テ  
 スレハ借入レタル資本ヲ復スルニ十分ナルヘシ牝牛ハ乳粘酪乾酪及  
 幼牛ヲ産出シ尙ホ勞力多クササル耕業ヲ爲シ又肥料ヲ供出スルモノ



ナリ此等ノ産出品ヲ二年間相加フレハ貸主ニ償還ヲ爲スニ十分ノ金額ヲ得ヘシ

概言スレハ農業商業ノ異同其各者ノ事業轉運中ニ用フル所ノ方法精算ヲ爲スニ要スル長短ノ期限ハ是レ其二業ニ同一ノ規則ヲ適用ス可クナルヲ佛蘭西銀行ニ示スモノナリ事業ノ遅々タル農業ニ於テハ借入レタル資本ヲ復スルニ貸借精算ノ迅速快捷タル商業ヨリモ長キ期限ヲ要シ且ツ耕作者ニ許スニ其産出品ヲ順次金ニ換ルニ從ヒ小額ノ内金ヲ以テ辨償スルヲ以テセサル可ラス是商業者ナレハ一回ニテ精算完結スヘキモノナリ尙耕作者ニ其所要ニ不足ナル部分ノ條件ヲ購入スルニ缺ク可クサル一部分ノ貸附更新ヲ許スヲ要スヘシ一言以テ之ヲ曰ヘハ耕作者ハ日々ニ變スル商人ノ位地ヨリモ動カサル位地ニ在ルニ因リ其依ルヘキ便宜ヲ與ヘサル可クナルナリ若シ佛蘭西銀行ニシテ事物ノ性質ニ添附シ社會ノ契約ヲ以テ敬重スヘキ彼是ノ差異ヲ深ク考察シ短期即チ一年ヲ以テ精算完結スル農業貸附ヲ承諾

セハ其金額ハ巨大ニ上リ業務ノ範圍著シク擴張シテ利益ノ收入ハ増殖スヘシ

壹佛蘭西銀行ハ其定款ニ農事ノ改定ヲ處サ、ルモ貸借更新ヲ三回マテ許セハ以テ安全ニ農業者ニ立替金ヲ爲スヲ得ヘシ村落ニ共同會社ノ設立アリテ其社員ノ無限責任ナルハ蓋シ益々便利ナルヘシ此共同會社アルハ割引委員會ノ業務ヲ省キ書類ハ簡單ニシテ保存シ易カラシ

長期ノ農業貸附即チ精算ニ一年ノ餘ヲ費ヤス貸附ニ在テハ相互債權ノ原則ニ從テ結社スル鄉村小銀行ノ設立アルマテ假ニ之ヲ現在ノ諸銀行ニ委任スヘシ鄉村銀行ノ設立アレハ其諸員ハ互ニ廉費ノ貸借ヲ爲シ他ニ依頼セサルモ事足ルニ至ラン

然レモ長期ノ貸借ハ農業貸附ノ總論内ニ入ルヘキ一問題ナルニ因リ後段ニ至テ説クヘシ今爰ニ論述スルノ要アラサルナリ唯タ短期ノ貸附ヲ説明シ佛蘭西銀行ニ其依ルヘキ方途ヲ示スタ要スルノミ然リ而



シテ之ヲ説明センニハ一年ヲ以テ精算スル所ノ農業貸借上ノ主要ナル業務ヲ列舉セシムル可ラサルナリ

第二 短期農業貸附

抑々短期農業貸附トハ一年ヲ以テ精算スル所ノ業務ノ貸附即チ甲ノ季節ヨリ乙ノ季節マテニ借入レタル資本ヲ償還スルヘキ貸附ヲ云ヒ長期農業貸附トハ之ト異ナリテ好結果ニ放着スルニハ一年以上ヲ要スル農事ニ爲ス所ノ貸附ヲ云フ  
第一種ノ貸附ハ定款ニ改定ヲ施サルモ佛蘭西銀行ニ於テ爲スル得ヘシ過般決議アリシ如ク帳簿取引ヲ承諾シタル者ニアラサルモ又支店所在ノ地ニ住居スル者ニアラサルモ凡ソ資力アル人ノ手形ノ割引ヲ直接ニ承諾スルヘキノミ且ツ予メ設立スルヘシト官フ所ノ借主共同會社ヲ以テスレハ割引委員會ノ業務ヲ著シテ減省シ支店長ノ監督ハ必シモ周到ナルヲ要セス銀行モ亦危險ニ遇フテ少カルヘシ一二回多クシテ三回ノ更新ノ貸借ヲ以テセハ此ノ貸附ノ溢利ハ稀ナランノミ

第二種ニ屬スル貸附即チ精算ニ一年以上ヲ要スル貸附ニ在テハ定款ノ許サハル所ナルヲ以テ佛蘭西銀行ノ企テヘキ事ニアラサルヘシト雖モ其定款ハ第二種中ノ或類ノ貸附就中乳牛ニ關スル貸附ヲ爲シ得ルノ方途ニ改定スルヲ得ヘシ是ノ故ニ此貸附ハ予メ後段ニ至テ計畫ヲ設カントスル鄉村銀行ノ設立ヲ實行スルマテハ常ニ高利ヲ收ムル所ノ小家ノ割引人ノ事ニ委スヘシ

短期農業貸附ト長期農業貸附トノ異同ヲ辨シタル後ハ一年以内ニ精算スルヘキ貸附ヲ説明セサル可ラス其他ハ指テ論セサルヘシ何トナレハ今日ノ景況ニ於テハ佛蘭西銀行ハ其貸附ヲ決シテ承諾スルヘキニ非レハナリ故ニ予ハ唯々第一種ノ貸附ニ言テ止メントス  
農業ニ於テ一年ヲ以テ完了スル事業少カラス予ハ其主要ナルモノヲ列舉シ其中ニ就キ特ニ佛蘭西銀行ニ注意セシムルヘシト信スルモノヲ再ヒ論セントス其銀行ノ農業ノ範圍内ニ足テ踏ミ入ル、ニハ先ツ其主要ナル物件ヲ目的スルニアリ其既ニ一步ヲ農業内ニ試ミタルコトハ



後段ニ至テ既クカ如シ  
 食用肉トスル家畜肥滿ノ事業ハ第一位ニアルモノニシテ他ノ農業營  
 利事業ヨリハ速ニ金ニ換フルヲ得且ツ巨大ナル資本ヲ運轉セシムル  
 モノナリ今ヤ家畜ノ産出ハ常ニ増殖ノ傾向アリ食肉ノ消費ハ日ニ擴  
 張シテ公衆ノ嗜好ハ高尚トナレリ是故ニ一層其品ノ肉ヲ供給セサル  
 可ラス消費者ハ食用獸ヲシテ肥滿ノ極ニ至ラシムルヲ望マサルモ肥  
 滿法ヲ行テ十分ニ其品トナサンコトヲ欲スルナリ  
 是ノ故ニ家畜肥滿ノ業ニ從事スル者及其飼育者ニハ頗ル大ナル餘需  
 アルナリ然レテ獸數ノ需用ノ半ニ出サルルハ僅ニ餘需アルノミ我國  
 ニ於テハ末々牛族ハ一千二百萬頭乃至千三百萬頭ニ上ラスシテ此頭  
 數ヲ以テ食肉消費額ノ三分ノ二ヲ供給スル者トス今日我國ニ於ケル  
 其ノ消費額ハ一人ニ付平均三十キログラムニ至リ今ハ凡ナレト  
 モ一千八百四十年ニハ二十キログラムニ過キサリシノミ然レテ年々  
 ツ食糧ハ日々ノ勞働ヨリ生スル損耗ヲ恢復スルニ足ラサルヲ以テ之

ヲ二倍トスルヲ要スヘシ之ニ因テ之ヲ觀レハ我國ノ需用ニ應センニ  
 ハ家畜肥滿ノ業ヨリ從事スル者及其飼育者ノ前途尙ホ遠シト謂フヘシ  
 先ツ各人ニ三十キログラムノ年額食料ヲ得セシメ而シテ後之ニ二倍  
 ノ食料ヲ得セシメシニハ頗ル巨額ノ資本ヲ要スヘキハ解シ易キノミ  
 三十キログラムノ平均食料ニ三千六百萬ノ數ヲ乘スレハ一億八千  
 萬キログラムノ合計目方ニシテ而シテザレツト府ノ相場表ニ因レ  
 ハ一キログラムノ平均代價ハ一法三十ナルカ故ニ佛國ニ於テ消費  
 スル肉ノ合計目方ハ十四億〇四百萬法ノ價額ナリトス佛蘭西銀行ハ  
 家畜肥滿ノ業ニ從事スル者及ヒ其飼育者ニ資本ノ半額ヲ貸附クルト  
 假定スルモ其割引ハ無慮七億〇二百萬法ニ上ルヘシ食料ノ平均ヲ六  
 十キログラムトスレハ此金額ノ二倍ナリトス此金額ヲ以テスレハ銀  
 行ニ於テ唯々肥滿業者ニ貸附ヲ爲ストスルモ其業務ノ廣大ナルヲ見  
 ルヘキナリ  
 羊族豚族ハ合算シテ消費全額ノ三分一ヲ占メ其肥滿業ニモ巨額ノ前



金ヲ要セス但綿羊ニ至テハ其通過スル所ノ牧場ヲ荒害シ牧場ノ山上ニ在ルルハ其荒害特ニ甚シトス故ニ佛蘭西銀行ノ之ニ對スル貸附金ハ防害ノ効用ヲ爲スヘシ既ニ前ニ言ヘルカ如ク牧畜山國ノ土地所有主ノ過半ハ自ラ其業ヲ營ムニ足ルハ實力ナキヲ以テ他人ノ獸群ヲ入ル、ヲ許サ、ル可ラス然ルニ其獸群ハ牧畜ノ業ヲ能ク行フヘキ點ヨリ見レハ頗ル多キニ過キ荒害ノ原因タルモノナリ今我山國地方ヲ恢復シ其荒害ヲ防止スルニハ農業貸附法ヲ以テシテ綿羊ヲ購入スルニ必要ナル金額ヲ牧場ノ所有主ニ前貸スルニアルヘシ然ラハ則チ其所有主ハ獸群ノ半數ヲ減シテ其收入ヲ二倍シ諸山ノ荒害ヲ防止スルト同時ニ我國沿河ニ在ル所有地ニ災害ヲ及ホス洪水ヲ治スルヲ得ヘシ予カ爰ニ勸告スル所ハ國家幸慶ノ一策ナリ故ニ佛蘭西銀行ニ於テ牧畜山國ノ土地所有主ニ貸借業務ヲ承諾スレハ愛國ノ一美譽タルヘシ其他此地方ハ堀探スヘキ鑛脈ニ富メルナラン

豚族ノ肥滿法ハ資本ヲ要スル丁多カラサルカ故ニ指テ論セサルヘシ

夫レ豚ハ豚ニ非ラサレハ他ニ用途ナキ諸般ノ殘滓ヲ以テ食料トスルモノナリ是故ニ村落ニ於テハ各家食料ノ多少ニ因リ糞ト一錢ヲ費ヤサスシテ一頭又ハ數頭ヲ養フヲ得ヘシ

其情況斯ノ如クナルニ痛ク亞墨利加豚ノ競爭ニ惧テ憤クヘキカ曰ク否夫レ壓瀾的海ノ對岸亞墨利加ニ於テ養豚ノ規模大ナルハ予ノ能ク知ル所ナリチガコノミニシテ毎年五百萬頭乃至六百萬頭ノ豚ヲ屠テ歐羅巴ニ輸出スト云フ然レモ其產出ハ合衆國ニ在テ如何ニ夥キモ我國ニ於ケル如ク同一ノ經濟法ヲ以テ產出スル丁ハ決シテ能ハサルヘシ予ノ意見ニ因レハ養豚者ハ貸附金ニ依賴スルノ必要ナキヲ得ヘシト雖モ牛羊ノ飼養ニ在テハ之ト同シカラス亞墨利加ノ競爭ハ今尙ホ其ノ端緒ニアレモ後年ニ至レハ我國飼養者ニ大ナル損害ヲ與フルノ惧アリ然ルニ之ヲ幫助スルノ方法唯ターアルノミ即チ規模ノ大ナル農業貸附銀行ヲ設立シ厩舎ニアル今ノ獸數ヲ二倍スルニ必要ノ資本ヲ低利ニテ彼ニ供給スル是レナリ斯ノ如クスレハ則チ飼養者ハ消廉



ノ需用ニ應スルヲ得テ今日ニ二倍スル肥料ヲ産出シ土地ニ十分ノ肥料ヲ施シテ收穫物ノ量ヲ二倍スヘシ亞墨利加産ノ牛羊何ソ悞ニ足ラシヤ

食用獸ノ肥滿業ニ次テ取引多キモノハ飼育ノ家畜ナリ其精算完結ハ彼レカ如ク速カナラスト雖モ亦一年ヲ出テス抑家畜ハ結果ノ好多ナル分業ノ法則ニ違ハスシテ其全ク生長ヲ遂ルノ前ニ人ヨリ人ニ移轉シ因テ大ナル貿易ノ資料トナリ買主ハ資本ノ乏キニ困シメ其著大ノ運轉ヲ刺動スルモノナリ佛國ノ諸ノ地方ハ牧養ノ適否一様ナラサルカ故ニ各々稍々生長シタル獸類ノ養用アリ最モ實地ニシテ今尙長遠ノ牧畜場アル地方ハ大概不常ニ幼獸ヲ産出スルヲ專ラトスト雖モ資本ニ乏キヲ以テ新ニ出產セル幼獸ヲ養フ爲ニ僅ニ數月ニシテ他ノ幼獸ヲ賣ラサルヲ得ス産後數ヶ月ノ幼獸ハ家計稍々裕ニシテ幼獸ノ飼養ニ長シタル地方ノ飼育者之ヲ購フト雖モ數ヶ月ノ間之ヲ家ニ生ルノミ是ニ於テカ又其幼獸ハ他人ノ手ニ移リテ後成年ニ至ルモノト

不愛ニ止マレハ稍久シクシテ牝牛ハ畜殖ニ牡牛ハ耕作ニ用ヒ馬ハ賣買ニ供スルナリ獸類ノ壯時ヲ送ルハ斯ノ如クニシテ退隱ノ時ニ到ルモノトス抑最終ノ到處タル屠殺場ニ牽クノ前ニ家畜ニ最後ノ準備ヲ與ヘ肥滿ノ業ヲ施スハ此退隱ノ時ニアリトス馬ニ在テハ其屠殺場ハ軀子剥皮ノ工場ナリト雖モ肉價騰貴セシ以來老馬ニ肥滿ノ業ヲ施スヲ數週日ノ後屠殺スルモノトス是レ其殘肉ヲ美トスルヲ得ル所以ナリ

家畜ハ此他ノ營業ノ資料タルヘキモノナリト雖モ其業ヲ擴張センニハ資本アルヲ要スヘシ予ハ中ニ就キ粘酪乾酪ヲ同時ニ製造スル製乳會社ヲ言ハント欲スルナリ此會社ハ舊フランシユコンテ州ニ甚タ多クブレツスニモアリテ又近來ハ亞力伯及必里尼斯ニモ設立アリ其會社ハ時アリテ資本ニ窮スト雖モ各季節ノ末ニ其製造物ノ精算ヲ爲スカ故ニ亦タ資力アルモノトス且ツ其社員ハ聯帶シテ義務ヲ負擔スルナリ是ノ故ニ佛蘭西銀行ハ金銀授受ノ窓戶ヲ開テ之ニ貸附ヲ爲ス



モ危険アラサルヘシ唯タ其チシテ正ク其契約ヲ履行セシメンニハ一  
 二回ノ更新ヲ承諾スヘキノミ  
 村落ニ於テ資本ノ空乏スルハ是レ耕作者カ金錢ノ必要ニ迫マラレ仲  
 買人ニ利ヲ得ラル、ノ原因ナリ耕作者ノ内ニハ毎年收穫ノ時ニ於テ價  
 ノ高下ヲ論セス其收穫物ヲ賣ラザルヲ得ザルモノ甚多シ義務ヲ盡ス  
 ニハ金錢ナカル可カラサルナリ是レ其常ニ損失ヲ蒙ル所以ナリトス  
 例ヘハ穀類ノ産出者ハ其穀ノ稔ヲ脱スレバ直チニ市場ニ溢出セシメ  
 其溢出ニ因テ物價ヲ下落セシムルナリ時ノ至ルヲ待チ得ル者ハ己レ  
 カ穀庫ニ積置クト雖モ負債アル者ハ賣ラザルヲ得ズ農家ノ經濟ハ皆  
 斯ノ如キモノナリ葡萄ノ栽培主ノ中ニハ其收穫良好ナル時ト雖モ葡  
 萄酒トシテ之ヲ己レカ家ニ蓄フルヲ得ズシテ醸造器械ヲ有スル營利  
 者ニ之ヲ賣リ渡スモノアリ其營利者ハ廉價ニ之ヲ購ヒ數ヶ月ノ後ニ  
 及テ高價ニ之ヲ賣却スルモノトス其他ノ農産物ニ於ケルモ亦概ネ此  
 類ニシテ貸附ノ信用ナキ産出者ハ時アリテ損失スルモ賣却セザルヲ

得サルアリ然レモ其已ムヲ得サルニ出ツル賣却ヲ數ヶ月ノ間猶兼  
 スルヲ得ハ市場ノ溢出止テ物價ハ平常ノ額ニ復スベシ然ラバ則チ耕  
 作者ハ無益ナル仲買人ノ得ベキ増價ヲ已レノ利トスルニ至ラン仲買  
 人ハ實ニ産出者ト消靡者ニ損害ヲ與ヘテ富ヲ致スモノナリ抑事ハ  
 自然ノ順序ニ復スルヲ能ハザルカ曰ク何ゾ然ラン唯タ佛蘭西銀行ニ  
 於テ三ヶ月若クハ六ヶ月ノ間季節ノ末ニ資本ニ窮スル耕作者ニ貸附  
 ヲ爲スベキノミ其貸附ニ依レバ借主ハ産物ヲ賣却スルニ恰好ナル時  
 ヲ待チ得ベシ予カ献議スル所ノ法律ノ改定ヲ爲セバ銀行ニハ更ニ危  
 險ナクシテ而シテ其負債主ノ收穫物及諸器械ニ對シテ債主ノ特權ヲ  
 有スベシ期限ニ到テ負債ノ支拂ナキハ催促ヲ爲シ決答ナキ日ヨリ  
 十五日ノ後抵當ニ取リタル諸ノ物件ヲ賣却セシメハ商業買物ヨリモ  
 尙ホ速ニ其立替金ヲ復スルヲ得ベキナリ  
 夫レ佛蘭西銀行ハ工用植物ヲ栽培シ己レカ工場ニ於テ製作ヲ施ス所  
 ハ巴理北方諸州ノ農民ニ既ニ貸附ヲ爲セリ是其農民ノ砂積アルコト



種油等ヲ産出シ得ル所以ナリトス其製造ハ資本ノ增多ヲ要スルモ  
 ノニシテ農民ハ佛蘭西銀行ノ支店ニ於テ承諾スル帳簿取引ニ因テ其  
 資本ヲ得ルモノトス就中最モ多ク耕作者ト貸附ノ業務ヲ爲スハヴラ  
 ンシエヌノ支店ナリト云フ  
 一年內ヲ以テ精算スル農業上ノ貸附ハ此他ニ尙ホ多クアリト雖モ予  
 ハ言テ爰ニ止ムヘシ凡ソ此性質ノ問題ハ前例ヲ引テ説明セハ足ルヘ  
 ク其重要ナルコトヲ了解セシムヘキ前例二三ヲ示シテ以テ足レリトス  
 ルヲ適宜トス予ハ一言以テ之ヲ掩フヘシ曰ク流通手形ノ事ニ於テハ  
 獨占權ヲ掌握スル所ノ佛蘭西銀行ノ其權アル所以ヲ明ニセンニハ業  
 務ノ範圍ヲ擴張シ無限ノ貸金ヲ以テ農業ヲ利セサル可クナルナリト  
 且ツ夫レ農業ニハ商業及工業ト異ナル著大ノ保證物アルニ非スヤ予  
 ハ農業上ニ係ル諸物件ノ價格ヲ舉テ二十億法以上ニ算定シタリ即チ  
 器械、家畜、諸種ノ貯畜品未收ノ作物等トス今日不動産ニ合併シタル此  
 諸物ヲ土地ヨリ分離シテ動産所有物ト爲シ資本家ニ抵當物ト爲スヲ

得セシメハ農業者ニ其所要ノ資本ヲ供給スルヲ得ハシ然レテ予ノ責  
 本家ニ與ヘシトスル保證物ハ唯タ之レノミニアラザルナリ予ハ予ノ  
 農業銀行法律草案ニ於テ耕作者ニ爲ス貸附ハ特別ノ用途ヲ定メ即チ  
 常ニ農業ニ關係アリテ豫定シタル事業ニ使用スヘキト爲セリ例ハ  
 ハ家畜肥滿ノ業ヲ執ル者ハ銀行ヨリ借ル所ノ貸金ヲ以テ必改瓦ノ牛  
 種ヲ購ヒ之ヲ牧肥場ニ放ツニ其貸金ヲ使用セサル可クハ製乳會社ハ  
 必其貸金ヲ乳牛ヲ購フ所ノ社員ニ分配セサル可クハ幼馬飼育者ハ之  
 ヲ一年ノ末ニ賣却スヘキ兒馬ノ購入ニ使用スヘク又倉庫ニ在ル農産  
 ヲ以テ負債ヲ起ス耕作者ハ之ヲ當時ノ負債ノ消却ニ供スヘキ等是レ  
 ナリ此事ノ有要ナルコトハ解シ易キノミ斯ノ如クスレハ前ニモ言ヘル  
 如ク銀行ニハ二種ノ保證アリ第一ハ借主ヨリ買物トシタル動産ノ價  
 格第二ハ貸金ノ特用ニ因テ銀行ニ止ル所ノ立替金トス予ハ此要件ヲ  
 政府ノ實際ト暗渠排水ニ係ル英國ノ法律中ヨリ得タルナリ  
 然レモ農業貸附ヲ爲シ得ルハ金錢ノミニ限ラスシテ物件ヲ以テモ亦



之ヲ爲スヘシ例ハハ農具ノ貸附及家畜ノ貸附ノ如キ是レナリ是レ予  
 ノ改革案ノ法律トナリテ世ニ出ツルアレハ無限ノ擴張アルヘキ農業  
 ノ二大要部トス然レモ物件ノ貸附ハ商業證券ノ割引ヲ以テ本來ノ目  
 的トスル佛蘭西銀行ニ間接ノ利益アルノミ是ノ故ニ唯タ金銀ノ貸附  
 ナ論スルニ止メサル可ラ然レモ農具製作者肥料製造者家畜及種子  
 ノ供給者ヨリ耕作者ニ爲ス可ノ貸附ハ過半ハ銀行ニ出タシテ割引ス  
 ル手形ノ數ヲ大ニ増殖スヘキモノナルトニ注意セシムルヲ要スヘシ  
 是レ亦業務ノ繁忙タル元素トナラン之ニ因テ之ヲ觀レハ佛蘭西銀行  
 ハ其定款ヲ改正セサルモ其業務ノ範圍ヲ擴張シ一ヶ年ノ内ニ精算ス  
 ヘキ村落ノ貸附業ヲ管ムヲ得ヘシ唯タ支店ノ長タル者ニ就テ調査ヲ  
 爲シ問題ヲ發シ其支店ノ區域内ニ於テ貸附ヲ爲スヘキ農業各都ノ種  
 類ヲ問ヒ而シテ後或ル部分ノ地方ニ業務ノ種類ヲ定メテ試ニ貸附ノ  
 業ヲ行フヘシ銀行ハ既ニニエーザル縣ニ於テ牛ノ肥滿ヲ業トスル者  
 貸附ヲ開始セリ今ヤ直チニ進テソルマシデノ肥滿業者ニ其貸附ヲ

爲スヲ得ヘシ西力伯必里尼斯牧畜山國地方及中央平野ニ於テ夏季ノ  
 肥滿ノ業ヲ施ス羊ニ對シテモ亦貸附ヲ爲スヘシ諸ノ支店ニ於テ直  
 ニ農業者ト貸借スルニハ何等ノ妨礙アラサルナリ是レ銀行ニ於テ帳  
 簿取引ニ姓名ノ記入ナク且銀行所在地ニ住所ナクモ實力アレハ直  
 ニ割引ヲ承諾スルトテ許スニ決定シタルニ因ルモノトス此率ナル一  
 新事ハ村落ニ向テ第一着歩ヲ進メタルモノト謂フヘシ又村落ハ都府  
 銀行營業者ノ仲介ニ頼ラスシテ直ニ佛蘭西銀行ノ支店ニ依頼スルヲ  
 得シ是商業ニ屬セサル署名手形ヲ割引スルヲ得タルハ帳簿取引ノ承  
 諾ヲ得タル銀行者ニ限リシニ前ノ如クナレハ其銀行者ハ其特占ノ權  
 ニ損害ヲ蒙ルヘシ然レモ金利ハ其獨占權ノ爲ニ高貴ナリシモノナリ  
 以上述フル所ハ一ヶ年内ニ精算スル所ノ農業ノ部分ナリトス之ニ對  
 スル貸附金アルモハ耕作者ハ數月ヲ出テスシテ資本ヲ恢復シ得ルカ  
 故ニ短期ヲ以テ其償還ヲ終ルヲ得ヘシ  
 今ヤ農業貸附金ヲ償還スルノ種々ナル方法ヲ説明スルノ一事アルノ



ミ其三三ノ模範ヲ示スニハ太古ヨリ行ハル、物件貸附ヨリ始メ而シテ  
後前者ニ比スレハ近代ニ屬スル金銀貸附ニ及ハントス

第三 外國農業銀行ノ二三ノ模範

歷史上ニ係ル事蹟ノ順序ヨリ言ヘハ農業貸附ハ商業ノ貸借ニ先ツテ  
數百年ニシテ起リシモノナリ農業貸附ハ太古ノ人ニ在テハ大漁又ハ  
大獵ノ時返還スヘキ約束ヲ以テ其隣人ニ幾部分ヲ讓與シタル日  
ヲ以テ起原トス是後世ニ及ンテ羅馬人ノ「ミユチー」（交換）ト稱シタ  
ル物件ノ貸附ナリ

其後我祖先ノ獵獸捕漁ノ業ヲ棄テ牧師トナルニ及ンテヤ農業貸附ハ  
變シテ家畜ノ貸附トナリ野獸ヲ家畜ニ馴致シタルノ日尙ホ澁キ時ニ  
於テ其畜息ノ術ニ長シタル者ハ頭數ノ増殖スル時ニ至リ若干ノ報酬  
ヲ得テ之ヲ其術ニ長セザル者ニ貸與シタリ彼ノ家畜賣、貸、ト稱スル契  
約ハ之レヨリ生シタルモノトス是時ニ當テヤ家ハ最も貴重ナルモノ  
ニシテ貨幣ハ未ダ世ニアラザリシ故ニ物件交換ヲ時其價格ヲ定ムル

ソ用テ爲セシモノハ家畜ナリ其後年々至リ貨幣ハ銅鐵ニ家畜ノ價  
ヲ保存シ又羅馬人ノ貨幣ヲ得シテ「キニ」（言ハルハ）「キニ」（言ハルハ）ト稱  
スルモノ云ヘル原語ヨリ出テタルナリ  
之ニ因テ之ヲ觀レハ價格ヲ代表スル記號ヲ以テシテ爲ス所ノ商業上  
ノ貸借ハ我祖先ノ慣例トセシ諸般物件及家畜ノ貸附ヨリ後世ニ起リ  
タルモノナリ是ノ故ニ銀行營業者ト稱ニ出タルハ近年ナリト云フモ  
敢テ失言ニアラス夫レ銀行營業者ハ貨幣ノ集配人タルモノナレハ貸  
附ノ世ニ出ル前ニ在ルヘキニアラス然ルカ故ニ財務ノ沿革中古代ニ  
於テ説クヘキ銀行者ノ事蹟ハアツタルナリ  
然レモ唯タ予ノ愛ニ證明セント欲スルハ人ノ言テ不同ニ措キ考テ今  
日ニ至テ大ニ論究スル所ノ農業貸附ハ人類ノ社會ト同シク古キモノ  
ナルト是レナリ農業ハ太古ニ在テハ奴隸ノ事ニシテ中古ニ及ンテハ  
奴隸ノ業トス今日ニ及テモ尙ホ其一部ハ人民中最モ知識ニ乏クシテ  
世ニ勢力ナキ社會ノ事業タリ人ノ耕作者ヲ顧ミサル其資本ノ薄弱ナ



ル亦宜ヘナラスヤ佛蘭西銀行ノ設立ニ因テ我國人ノ盡力ヲ一ニ仲介  
 物ニ過キサル商業ノ擴張ニ供シタル間ニ吾人ニ日々食料ノ麵包ヲ供  
 スル爲ニ四時氣候不順ノ險ヲ冒セテ常ニ自ラ實業ノ潤ニ沉淪スル產  
 出者ヲシテ資本ニ乏シカラシメタルナリ  
 今ヤ商業ニ於ケル如ク効益アル貸金會社ヲ立テ、以テ大ニ農業ニ資  
 スヘキノ時タリ耕作者ハ土地ヲ占有シ汗ヲ以テ之ヲ温シ心力ヲ盡シ  
 テ耕スモ未タ足レリトセサルナリ宜シク其土地ニ埋藏スル肥料ノ富  
 ヲ採取シ即チ得失相償テ餘リアセ收穫ヲ得ルニ必要ナル資本ナカ  
 可ラス耕作者ノ囊中稍餘裕ヲ蓄ム勇進シテ亞米利加ノ競爭ニ抗スル  
 ヲ得ルニ至ランニハ唯タ此一法アルニシテ  
 其愛ニ至ルハ能クヌ可ラサレ事ナレバ日々否咎セ然ラス予カ前ニ示  
 セル法律ノ改革ニ因リ耕作者ノ所有スル器械家畜未收ノ作物二十億  
 法ヲ流通スルコトヲ農業者ニ許可セ之ヲ以テ貸金ヲ得ルノ器械ト爲ス  
 ヲ得セシムヘキノニ農業者ハ商業者ノ其所有スル動産不動産ヲ以テ

資本ヲ求ル如クナルヲ要スルナリ今ノ耕作者ハ常ニ奴隷觀セラレテ  
 資本ヲ求メント欲スルモ其所持スル巨額ノ債務ノ物件ヲ如何トモ  
 スル能ハサルナリ農業ト商業トノ間ニ事業ノ方法ヲ均一ナラシムル  
 ノ一法ハ農業銀行ヲ設立スルニアリ抑々農業銀行ノ設立ハ取テ新ナ  
 ル事ニアラス互ニ聯絡ハ通セサルモ孤立ノ姿ニシテ地球上到處ニ  
 非ルハナシ然レモ愛ニ親ク所ハ其孤立ノモノヲ集メテ合同ノ一體ト  
 爲サント云フニ非ラス是レ予ノ本論ニ於テ終始目的トスル所ニ非ル  
 ナリ予ハ唯タ外國及我國ニ起リシ農業貸附上ノ事實ニ注意ヲ惹キ其  
 世ニ益アリシヲ示サント欲スルナリ尙ホ一言センニ予ノ法律改革  
 法ト我國鄉村銀行ヲ以テセハ貸附ノ業務ハ簡易ニシテ毎年十五億法  
 ニ上ルトノ説アル國人ノ貯金ヲ耕作者ノ使用ニ供スヘキナリ  
 物件ノ農業貸附ハ前ニモ言ヘル如ク最モ古代ノ方法ニシテ人類ノ社  
 會ト其起因ヲ同フシ今日モ尙ホ其存スル所アリ是レ農業ノ値ニ發達  
 セル國ニ在テハ大ナル効力アレハナリ佛蘭西ニ於テハ其在ルヤ僅カ



ナリト雖モ歐羅巴ノ諸國ハ勿論亞墨利加ニ至ルマテ規模ヲ大ニシテ  
 其方法ヲ實行スル地方アリ獨逸ハ貸金ニ係ル結社ノ普及セル國ニシ  
 テ物件ノ貸借ハ町村銀行ニ於テ承諾シ職工ニハ器具小農ニハ家畜ヲ  
 前貸スルナリ耕作者ハ一年內ヲ以テ其負債ヲ償還ス可ク銀行ハ償還  
 ノ終ルマテ其供給シタル物件ノ所有權ヲ保有シ貸借物件ニ保險ヲ附  
 スルヲ要求スルナリ  
 英蘭ニハ同シタ器具及家畜ヲ供給スル所ノ該惠會社アリ其貸ス所ノ  
 物件ニハ會社ノ烙印ヲ捺シテ與奪ノ權ヲ掌握シ借主ハ每週一志(二十  
 五)ノ內金ヲ拂フ可キモノトス  
 西班牙特ニアンダルージニ於テハ邑廳ニ穀類預リ所アリテ凶歲ニ  
 ハ穀類ヲ前貸シテ貧困者ヲ扶助ス運進ハ收穫ノ後ニ爲シ物件ヲ以テ  
 利子ヲ附スルナリ  
 歐地尼伊太利一部ニモ之ニ似タルモノアリ名稱ヲ貸借所ト云フ其爲ス  
 所ハアンダルージノ預リ所ニ異ナラズト雖モ交通ノ便開ケ海船ノ

往復アリテ諸般ノ貯蓄品ヲ供給スル以來ハ日々其要ヲ減スト云フ  
 北米合衆國ニハ農具家畜種子及其他耕作者ノ使用スル物件ヲ貸與ス  
 ル商人アリ耕作者ハ物品ト收穫トヲ以テ其債ヲ償フナリ之ト同一ノ  
 契約ハ北部亞細亞及幾ト土耳其全國ニモ行ハル、ナリ  
 其例ハ枚舉ニ暇アラサレハ爰ニ止ムヘシ而シテ甚ダ重要ノ部分ヲ占  
 ムモノニシテ且大概諸國ニアル收穫上ノ貸附ニ論テ移サントス  
 フランセスコウガノ伊太利ニ設立シタル民立銀行ハ其業務中ニ諸  
 般ノ工業ヲ包括シ農業ノ盛ナル地方ニハ未收ノ作物ニ對シテ貸附ヲ  
 爲ス所ノ銀行ニ設ケタリ予ハ中ニ就キ耕作者ニ貸附ヲ爲ス所ノロヂ  
 一ノ銀行ヲ引用セントス其銀行ハ業務ノ煩勞ヲ省キ詐偽ヲ防止スル  
 爲ニ地方委員會ヲ設ケ之ヲシテ借主資力ノ有無ト收穫ノ減否トヲ常  
 ニ報道セシムルナリ  
 南魯西亞ニ於テハ穀類卸賣商人就中テデサノ商人ハ土地所有主ナル  
 耕作者ト貸借ヲ爲シ次期ノ收穫ニ對シテ立替金ヲ爲シ脱秤ノ後取立



ヲ爲スト云フ此價例ハ大ニ土耳其ニ行ハレテ亞墨利加ニモ亦在ルアリ墨西哥ノヴラクリ州ニ於テハ營利業者ハヴラニールノ耕作者ニ前貸チ爲シ收穫ノ後立替金高ヲ限トシテ其物産ヲ己レノ倉庫ニ寄托セシム大平洋ノ沿岸ニ在ルコロマ州ニモ之ト同シ價例アリテ木綿ノ耕作者ニ貸附チ爲シ豫メ代價ヲ定メ物件ヲ以テ價還セシムル獨逸ノ商家アリ此類ノ業務ハ廣ク亞墨利加ニ行ハレテ幾ント全般ノ土地物産ニ適用スルナリ是レ新開國ニ在テハ善良ナル農業貸附法ニシテ二股ノ外他ニ資力ナキ移住者ニ資本ヲ供スルヲ得ルモノナリ  
爰ニ他ノ貸附金ノ一法アリ本年内ニ收穫スヘキ作物ニ對スル貸金ノ期限ヲ延長シタルニ外ナラスシテ來期ノ收穫物ニ對スル貸附是レナリ我民法第千三百三十條ニ於テハ將來ニ所有スヘキ物件ヲ義務ノ目的ト爲得ヘキヲ認メタリト雖モ此原則ハ我國ニ在テハ死法ナルノミ其例ハ予未ダ之ヲ知ラザルナリ然レモ南亞墨利加ニハ其適用アリ伯西示ニ於テハ土地探當農業貸附銀行ニ係ル一千八百七十五年ノ法律

テ以テ來期ノ收穫物ニ對シテ貸附ヲ爲ストテ許シ此法律ヲ以テ其性質ニ屬スル諸般ノ貸附ヲ其日附ニ於テ記入スヘキ官衙ヲ定メタリ貸主ハ其帳簿ヲ査閲スレハ常ニ借主ノ身代ヲ知ルヲ得ヘシ然レモ未收ノ作物ニ對シテ貸附ヲ廣ク行テ更ニ一步ヲ進メタルモノアリ新植物ヲ移植スルニ當リ冒險ヲ恐レサル資本家ノ中ニハ其賦性ヲ爲サント欲スル耕作者ニ貸金ヲ爲ス者アリ是レ南北戰爭ノ間新ニ木綿ノ耕作ヲ起サントセシ時亞爾及ニ於テ生シタル事トス其契約ハ未收及將來ノ作物ヲ目的トスル契約ト同性質ノモノナリト雖モ其條件ヲ万一二期スルハ彼ノ是ニ過ル萬々ナリ計畫周到ナレハ將來ノ收穫ハ十分ナル安全ニシテ之ニ保險ヲ附スレハ特ニ然リトス然レ莫國ノ植物ヲ移植シテ之ヲ我國ノ氣候ニ馴致スルヲ目的トスル契約ニ在テハ之ト日ヲ同フシテ語ルヘカヲサルナリ  
然リト雖モ貸附ノ真正ナル方法ニシテ資本家ノ稅ヲ承諾スヘキハ貸附ノ貸附トス貸附ノ貸附ハ行ハルニ大小アリト雖モ幾ント歐羅巴



全國ニアラサルハナシ此貸附法ノ起レルハ獨逸國ナルモノ、如シ其擴張ハ社會萬般ノ必要ニ應スルニ足ルナリ然レモ予ハ愛ニ唯々重モニ農者ト工人トニ關係アルモノ、外ハ擧ケサルヘシ予ハ唯々最モ著大ニ効益アル會社ノ定款ヲ引用スヘキノミ

「ブリクスブル」(巴威里)農業貸金同盟會社ハ(社員ニ其生計ト職業トニ必要ナル方法ヲ供給シ其要スル貸借ヲ容易ニスルヲ以テ目的トシ社員ヲ保護シ之ヲシテ高利ノ貸金其他自家ノ利益ヲ害スル事ニ倚ラサレテ得セシノ投機ノ商業ハ一切禁マサルモノトス)會社ノ資本金ハ社員ノ贈金ト準備金トヲ以テ組織シ社員ハ各々百馬克(百二十五法)以上二百馬克(二千五百法)以下ヲ拂ヒ込ムヘキモノトス社員各者ノ贈金ハ其所有物ナリト雖會社ノ解散サセシム間ハ買入又ハ其他ノ事ニ供スルヲ得ズ利益ノ配當及會社ノ損失ハ之ヲ共分スルナリ(凡ソ社員タル者於會社ノ適法ニ契約セル義務ニ對シ其財產ヲ以テ聯帶シテ責任任スヘシ)貸附ノ資力アルコトヲ十分ニ保證スヘキ物件ヲ供出スルコトヲ外

國人ニモ承諾スルモノトス資力アル保證人ヲ立テ動産質ヲ供出シ又ハ書入買ヲ以テスヘシ其金額ハ理事會議ニ於テ定ムルナリ又請求ヲ謝絶スルヲ得ヘク貸附ノ期限ハ三ヶ月以上タル可ラス其期限ヲ經過スルハ保證人ノ承諾ヲ以テ更新ヲ爲スヲ許スヘシ其更新ハ決シテ十八ヶ月以上タル可ラス同盟會社ハ其社員ニモ信用貸ヲ爲スナリ社員ハ貸附金ト同價額ノ保證物ヲ供出スヘク期限ハ一年度限トス貸附貸附及帳簿取引ハ借主及保證人ノ署名アル爲換手形ヲ以テスルモノトス

同盟會社加入ノ銀行ハ貸金ヲ爲シ預ケ金ヲ領收スルヲ得ルト雖モ其負債主ノ返済ヲ終ルヘキ時ニ割當テ、償還金ヲ計算スヘキモノトス是レ「ブリクスブル」農業貸附銀行同盟會社ノ定款ノ概要ナリ予ノ前ニ示セシ詳細ノ事ハ以テ重モニ農民ノ依頼ニ應スルニアル此會社ノ目的ヲ知ルニ足ルヘシ

又社員ニ最モ廉價ヲ以テ最良ノ物品ヲ得セシムルヲ目的トスル農業



貸附會社ニ係ル他ノ模範ヲ示スヘシ此會社ノ設立ハ獨逸ニ於テ甚ク普及シテ大ニ効力アリ商業者ヲシテ食料品ノ代價ヲ騰貴セシムルヲ得テシムルモノナリ

津庫農業會社ハ其社員ノ生計ヲ容易ナラシメ農業ノ擴張ヲ促成スルヲ以テ目的トシ大量ノ貯蓄ヲ爲シ社員ニ必要ノ物品ヲ供給シ社員ノ產出品ノ大賣スルニ任スルモノトス此會社ハ唯々一區邑ヲ包括シ其邑内ノ住人ハ皆社員タルヲ得社員ハ各總會ニ於テ金額ヲ定ムル所ノ年々ノ分頭費ヲ出タシ會社ノ契約スル義務ニ對シテ無限ノ責ニ任スルモノトス然レモ社員ハ其承諾ヲ得タル貸金ヲ限トシ其使用スル商品ヲ何時ニテモ低價ニテ買受ルノ權理ヲ有スルナリ又一方ニ於テ會社ハ社員產出品ノ計算ヲ帳簿ニ記シ各年度ノ末ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

見ルヘシ此會社ハ甚ク有要物ナルヲ社員ニ必要ナル諸般ノ消費品ニ低價ニ供給スルヲ以テ社員ハ大ナル經濟法ヲ有シ邑内ノ產出品ハ

一括シテ賣却スルヲ以テ會社ハ高價ヲ得テ其社員ヲシテ自ラ商業者ト取引スル煩勞ヲ免レシム

換金ノ大候價ニ最モ多ク在ル所ノ貸附會社貯金兼前貸會社貯蓄兼貸附會社貸金會社ヲ包括スル農業上ノ結社ハ互ニ聯絡シ氣脈ヲ通セザルハ往々困難ニ遭遇スルヲアルヘシ故ニ互ニ同盟シテ相助ルル爲ニ普通中央部ヲ設ケテ此不便ヲ除却シタリ同盟定款ノ第二條ニ曰ク同盟ハ加入セル會社ノ共同貸利益ヲ監察スルヲ以テ目的トスト其同盟ハ結社ノ精神ヲ擴張シテ高利貸ヲ防止シ加入シタル會社ノ定款ヲ改良スルヲ務メ農業貸附會社ノ新興ニ獎勵スルニアリテ且テ相殺局ト云フヲ置キ諸會社貸借ノ計算ヲ爲シ又同盟金庫局ヲ設ケ策案ノ會社ヲシテ其不用ノ資金ヲ寄托セシメ資本ニ乏キ會社ニ貸金ヲ爲スノ法ヲ設ケタリ

加入ノ會社ハ各自治ノ自由ヲ保有シ同盟ノ負債ニ對シテ無限ノ責ニ任スルヲナシ同盟ハ相殺局ヨリ交付スル益金ヲ以テ其費用ヲ支辨シ



不足アルハ諸會社派出員ノ總會ヲ以テ各社ノ負擔額ヲ議決スルナ  
 獨逸ニ於ケル農業貸附銀行ノ大ナルモノハシユルツデリツツ及ラフア  
 ンゲンノ諸銀行トスシユルツデリツツ銀行ハ相互扶持ノ主義ヲ基礎  
 トシ各願ル大ナル區域ノ地ヲ包括ス而シテ相互扶持ノ主義ヲ以テス  
 ルカ故ニ各加入員ハ貸附ヲ無資力ナル者ニ爲サ、ツン爲メ相知ルヲ  
 得ルノ必要アリ元來唯タ加入員ニノミ貸附ヲ爲シタリシニ此保護ノ  
 規約ヲ放棄シタルハ惜シムヘキ事トス其以降ハ社外ノ人ニモ貸金ヲ  
 爲シタルカ故ニ常ニ損失多ト云フ資本金ハ月々ノ出金ヲ以テ構成シ  
 加入員ハ各四十「タール」百五十法ヲ拂ヒ込ミ之ヲ其加入員ノ協定帳  
 ニ記入シ加入員ハ加入ノ間ニ之ヲ使用スルヲ得ス其他預ケ金ヲ以テ  
 資本金ヲ増殖スルモノトス貸附ハ三「タール」十一法二十五以下タル  
 可ラス千「タール」三千七百五十法ヨリ以上タルヲ得ス四十「タール」  
 以下タルトキハ借主ハ其所有高ノ二倍ナル金高ヲ借ルノ權理アリ四

十「タール」以上ノ金高ナルハ保證物ヲ出スヘクシテ其保證物ハ理  
 事會議ニ於テ承諾シ又ハ謝絶スルコトアリトス一カ年ノ利率ハ五歩  
 ニシテ別ニ月々一分四厘ノ貯蓄ヲ爲スモノトス其全年分ヲ合計スレ  
 ハ八歩ノ利率トナルナリ借主ノ返納期限ニハ多少ノ長短アリテ始メ  
 ハ五年次ニ十年ニ至ルヲ得又小額ノ内金ヲ納レテ返納スルヲ得ルナ  
 ラフアンゲンノ銀行ハシユルツデリツツノ銀行ト同シ主義ニ因テ設立セ  
 シモノナリト雖モ其區域チ一邑内ニ限ルノ點ニ於テハ之ト同シカラ  
 ス故ニ衆能ク相職ルヲ得資力アル者ニ非レハ貸附ヲ爲サ、ルヲ以テ  
 連帯ノ保證ハ幾ント無キカ如シ貸附ハ「百タール」三百六十法ニ出テ  
 サル小金額ニシテ器具又ハ家畜ヲ購入ニ使用スベキモノトス借主ハ  
 一般ニ耕作者小ナル工業者及職工トスラフアンゲンノ銀行ハ其基礎甚  
 タ堅固ナリト雖モシユルツデリツツノ銀行ハ特アリテ頗重ノ要ナキニ  
 非ルナリ



英蘭ハ農業貸附金ノ點ニ於テハ其組織ノ獨逸ニ及ハザルヲ遠シ夫レ  
 大英國ニハ動産抵當農業貸附金所ナシト雖モ資本家ニ諸種ノ手形ヲ以  
 テ耕作改良ヲ爲サント欲スル小作人ニ貸附金ヲ爲スヲ許セリ此手形  
 ハ改良セル財産ニ對シ貸主ニ債主ノ特權ヲ與フルモノナリ借主ハ年  
 ニ六分五厘ノ利子ヲ拂ヒ年賦法ニ因リ二十二ヶ年ヲ以テ返済スルモ  
 ノトス此制度ハ決シテ佛蘭西ニ適用ス可ラザルモノナレバマンシユ  
 海峽外ノ我隣國ニ在テハ甚タ利益アリ農業ヲシテ其要スル百  
 般ノ資本ヲ得セシムルナリ  
 蘇格蘭ニハ我國改革者ノ注意ヲ惹クニ足ル有名ノ銀行アリ此銀行ノ  
 純ヲ農業上ノ性質ヲ有セザルハ人ノ想像スルカ如クナラス凡資力ア  
 ル人ハ其銀行ニ依頼シ一回又ハ内金法ヲ以テ償還スヘキ貸金ヲ借ル  
 ナ得銀行ハ無記名手形及約束手形ヲ發行シ帳簿取引ヲ承諾シ預金  
 ヲ領收シテ積ント貯金局ノ業務ヲ營ムナリ預金ノ業務ハ蘇格蘭人ノ  
 日々入用ナル貨幣ノ外ハ家ニ貯ヘザル善長ノ習慣ヨリ起レルモノニ

シテ其餘ハ銀行ニ托シテ殖利ノ用ニ供スルナリ  
 其他尙ホ述ヘキ事アリト雖モ既ニ冗長ニ涉レルカ故ニ餘ハ簡略シテ  
 特ニ吾人ニ關係アル我國ニ説キ及ハントス

第四 佛蘭西農業貸附銀行概況ノ二三

予ハ農業貸附ノ事ニ於テハ我國ハ歐羅巴中ニ於テ最モ其事ヲ務メザ  
 ル國ノ一タルヲ證明セントス其證左ハ縣會ノ一千八百七十九年ノ  
 開期ニ於テ爲シタル調査ニ在リトス曾テ農商務卿ハ縣會ニ農業銀行  
 ニ係ル問題紙ヲ送リテ之ニ答ヘンコトヲ請求シタリ然ルニ其報告ハ  
 僅々ノ日數ヲ以テ呈出スルヲ要シタルカ故ニ參考事實ニ乏シク其等  
 ハ數語ヲ以テ畧言スルニ難カラザルナリ抑物件ヲ以テスル貸附ハ我  
 國ニ行ハルハ、一甚タ稀ニシテ實行スル縣ハ僅々ナリ予ハ中ニ就キテ  
 シセーザル縣ヲ引用セントス此縣ニハ農具製造師アリ貸附法ヲ以テ  
 耕作者ニ農具ヲ賣却シ多少ノ長短アル期限ヲ以テ其代價ヲ返済セシ  
 ム家畜ニ在テハ其賣買ハ何レノ處ニテモ現金拂テ以テスト雖モ代價



ノ價辨ニ期限ヲ定ムルモノナキニアラスト云フ是物件農業貸附法ノ一種ナリトスユールエロアルニ於テハ家畜ノ商人ハ代價ノ支辨ニ六ヶ月乃至一ケ年間ノ期限ヲ買主ニ許スト雖モ其請求スル利子ハ高シトス

或工業家ハ商業ノ例ニ倣ヒ農業ノ用ニ供スル共同倉庫ヲ設置シタリ此倉庫ハエースヌバートカレノールニ在リテ亞麻獸毛大麻等ノ如キ運搬ニ困難ナラサル農産物ヲ預カル所ナリ立替金ヲ爲シ又ハ荷預ケ切符ヲ交付スト雖モ土地ヨリ物件ヲ搬出スルノ不便アリトス又其物件ニ因テハ固着ノ物件ノ如ク土地ヨリ搬出ス可クサルカ故ニ斯ノ如キ共同倉庫ヲ設クルハ一般ニ行フ可クサル方法ナルノミ是故ニ二三ノ縣會ニ於テ考案シタル如ク農業貸附ノ方法トシテ村落ニ共同倉庫ヲ設ケント云ノ説ハ大ニ誤レルモノナリ

縣會ノ調査書ニ因レハ耕作者ノ稍大ナル地面ヲ有スル地方ニ於テハ耕作者ハ地方ノ銀行ニ依頼シテ資本ヲ得ルト雖モ是レ例外ノ事ニシ

テ又其人員ハ小數ナルノミ是ノ故ニ高亞力伯カルヴストコレノ縣會ハ佛蘭西銀行ニ於テ農業者ノ依頼ニ應シ其手形ノ割引ヲ承諾セシトシテ要望セリ是レ銀行ノ既ニニエーヴル縣ニ於テ行フ所ノ事トス銀行ノ支店ニ於テ帳簿取引ノ承諾ヲ得タル儘ノ銀行ヲ經テ耕作人ノ記名シタル手形ヲ提出スレハ其手形ヲ領收スル縣ハ多々アリト雖モ其仲介ノ爲メニ利子ハ甚タ高キカ故ニ前ニ言ヘル縣會ノ要望ハ目的ヲ立タサルモノナリ

ニエーヴル縣會ノ意見ハ之ト異ナリテ甚タ重要視スヘキモノアリ曰ク佛蘭西銀行ノ支店ハ家畜肥滿ノ業ヲ職トスル者ノ手形ヲ直接ニ領收スルニ止メスシテ商業者ニ許スヨリモ長キ辨償期限ヲ承諾スルヲ要スト此方法ハ極メテ重要ノモノナリト雖モ予ハ肥滿業者ニ數回ノ更新ヲ許セハ同シ目的ヲ達スルヲ得ヘシト信スルナリ

又他ノ縣會ノ中ニハ耕作者ニ貸附ヲ爲スノ目的ヲ以テ土地抵當銀行ヲ再設センコトヲ欲スルモノナリ而シテデッセルノ縣會ハ此意見ヲ



發言シタリ然レテ予ヲ以テ之ヲ見ルニ一二年ニ出テサレ短期ノ農業  
 貸附ヲ爲スハ土地抵當銀行ノ爲ニ困難事タルヘシ其銀行ニ於テ使用  
 スル資本ハ長期年賦ヲ以テ償還スヘキ借入金ヲ以テ之ニ充ルモノト  
 ス然ルニ其貸附ヲ爲シ得ヘキハ株式資本ヲ以テナルカ曰ク否何トナ  
 レハ此資本ハ消費ス可クサル保證ノ資金ナレハナリ且ツ農業ノ需用  
 ニ比スレハ極メテ些々ナル金額ナルノミ土地抵當銀行ニシテ村落ニ  
 資本ヲ放下スルヲ得ント欲セハ預金局貯金局保險會社ノ準備金等ヲ  
 資本ニ使用シ得ルヲ要スルナリ抑土地抵當銀行ハ其業務ヲ書入買貸  
 附ニ限レテ斯ノ如クナレハ其業務ヲ擴張シ短期ノ農業貸附ヲ爲スヲ  
 得ヘシ

又他ノ縣會ハ尙ホ一步ヲ進メ政府ニ於テ農業貸附ノ事ニ干渉シ割引  
 平準額ヨリ以下ノ利子ヲ以テ農業者ニ貸附ヲ爲シ得ヘキ銀行ヲ設立  
 センコトヲ請求シタリ此意見ハ奇怪トスヘキモノアリトス夫レ政府ニ  
 於テ工業資本ノ注入者トナルハ解シ難キ事ニシテ又其工業ニハ先ツ

營業資本ヲ充備スル爲ニ二十億法ヲ借入ルノ要用アリテ而シテ後灌  
 漑ノ溝渠沼澤ノ干涸濕地ノ乾燥河川ノ築堤等ノ如キ土地ヲ改良スル  
 大工事ヲ起ス爲ニ又百億法餘ノ借入ヲ爲サ、ルヲ得サルヘシ此方途  
 ニ深ク進ミ入ルルハ終ニ最モ純粹ナル共產主義ニ放著スヘシ蓋シ農  
 業ニ資本ヲ供スルコトハ之ヲ資本家ニ放任シ而シテ鄉村銀行ヲ設ケテ  
 自ラ差金スルコトヲ耕作者ニ放任スルニ若カサルコト萬々ナリ若シ耕作  
 者ニシテ其所有スル所ノ器械家畜未收ノ作物二十億法ヲ融通セシム  
 ルヲ得ハ低利ヲ以テ互ニ貸附ヲ爲スヲ得ヘシ

又縣會ノ中ニハ相互扶持ノ主義ニ本キ邑ノ貸金會社ヲ設ケントスル  
 ノ意見ヲ出タセルモノアリ此意見ハ貴重ナリトス此會社ハ予カ前ニ  
 言ヘル獨逸國ノ會社ニ甚ダ類似スルモノタルヘシ然レテ佛蘭西ハ素  
 ト孤獨ノ習慣トハ相反對ナル結社ノ旨味ヲ善ク知ラサル國ナルニ能  
 ク其會社ヲ設立スルヲ得ヘキカ予ハ此方法及我國諸方ノ縣會ヨリ呈  
 出セル重モナル希望說ハ容易ニ實施シ得可ヘシト思考セサルナリ



是ノ故ニ予ハ予ノ前説ヲ補足スル爲ニ爰ニ唯タ人ノ今日マテ佛蘭西ニ於テ農業貸附試行ヲ實施シタルノ稀ナル所以ヲ説キ前ニ示セム  
 順序ニ因リ物件貸附、家畜貸附及金錢貸附等農業貸附ノ重モナル部分ヲ示スニ止ムヘシ  
 物件貸附ハ食料、衣服、農具、肥料、種子等ノ如キ耕作者ニ有要ナル諸般ノ物件ヲ包括シ空虚ナル獸舎ニ家畜ヲ養殖シ最モ費キ地方ニ至ルマテス經濟法ノ旨趣ニ反スルヲ以テ幾ント行ハレサルナリ故ニ貸附法ヲ大ニ起サント欲セハ最モ正キ基礎ニ因テ其方法ヲ定ムルヲ要スルナリ其規則ハ予之ヲ法律草案ノ中ニ考案セリ  
 金錢貸附ハ予ノ主要ナル目的トス予ハ最モ實施シ易キ方法ヲ以テ借主ト貸主トノ關係ヲ定メントテ試ミ借主ヨリ保證トシテ供出スル所ノ動産質ニ對シテ債主ノ特權ヲ貸主ニ與ヘ之ニ許スニ返濟期限ニ至テ支拂ナキハ催促ヲ爲シ決答ナケレハ十五日ヲ過キテ其買物ヲ賣

却テヘキコトヲ以テシタリ是レ今ハ行ヒ難シト雖モ時期ノ熟スルアレハ佛蘭西銀行ニ於テ承諾スヘキ例外ノ保證物ト爲其爰ニ至ランマテハ予ハニウエルネー縣ニ於テ家畜肥滿業者ニ承諾シタル業務ノ範圍ヲ擴張シ之ヲノルマンデールノ肥滿業者ニ及ブ要ムヘシト思考スルナリ是レ銀行ノ近來マンシユ縣ニ於テ行フ所ノモノトス  
 今ヤ本論ヲ中古ノ會社ニ移サンニ其會社ハ耕作者ニ資本ヲ得セシムルヲ以テ間接ノ目的トシタルモノナリ予ハ唯タ今日我國ニ於テ種ニ見ル所ノ農業貸附會社ノ模範ヲ論スヘシ第一ニ引用スヘキモノハ製乳會社ニシテ此會社ハ瑞西及シラリーニ大ナル利益ヲ與ヘ今ヤブレスノ農業ヲ改革スルノ最中ニアリ予カ經濟ノ點ヨリシテ後段ニ説ク所ノ製乳會社ハ農業經濟過半ノ部分ニ適用シ得ヘキ此種類ノ會社ノ具乎タル模範ナリトス耕作者ニ大ナル利益ヲ與フルノ源泉ハ夫レ此模範ニ在ラン  
 財務ノ點ヨリ言ヘハ此會社ニシテ組織ノ宜キヲ得タルモノハ製乳ノ



工場及乾酪貯蓄倉庫ノ他ニ乳牛ノ數ヲ充足セント欲スル社員ニ貸附  
 々爲スノ目的ヲ以テ貸金局ヲ設ケ其他尙ホ季節ノ末ニ諸種ノ産物ノ  
 大量販賣ヲ爲テ待チ得サル社員ニ前貸ヲ爲スナリ此賣却ハ小量ヲ以  
 テスルヨリ大ニ利益アリトス惜哉此會社ハ皆前ニ言ヘル三種ノ機關  
 ナ備ヘスシテ貸金局ヲ置カサルモノ少カラス之レカ爲メ製乳會社ハ  
 大ニ擴張スルヲ得サルヲ以テ家畜飼育者ハ損失ヲ蒙リテ又一般ノ幸  
 福ニ損害アリ今ヤ必要ノ資本ヲ製乳ノ工業ニ得セシメ全力ヲ盡クシ  
 テ其改良ヲ計ルヘキ時機ナルヘシ歐羅巴ノ諸國ハ勿論北亞墨利加ニ  
 至ルマテ工業ノ獎勵法備ハレリ伊太利瑞西澳地利瑞典丁抹巴威里等  
 ハ皆其製造法ヲ改良スル方途ニ進ミ尙ホ舊法ヲ改革シ牛乳ヨリ大利  
 益ヲ收メン爲ニ牛乳博覽會及特設聯合會ヲ組織シ經驗學校モ亦設立  
 アリ新形練乳器新凝乳素ノ發明アリテ共働會社モ亦設ケタリ且ツ畜  
 テ新敗路ヲ發見センテ務ムルナリ佛蘭西ハ各國人民ヲ誘導スルノ  
 此變動ニ後タル可ヲス予ハ政府カ後進者トナラサラン爲ニ勉ムヘキ

事項ヲ後ニ示スアラントス

抑製乳會社ノ信用貸金ニ依頼セサルハ何ノ故ナルカヲ疑フ者アリト  
 雖モ貸主アレハ必ス之ヲ欲スルナラン其會社ノ實力アルハ確實ナリ  
 トス何トナレハ季節ノ末ニハ製造物ヲ賣却シ導入シタル資本高ニ割  
 合ヒ社員ニ利益ヲ配當スレハナリ是故ニ佛蘭西銀行ハ社員ノ他代人  
 ナ撰ンテ代理トナサシメ此會社ニ差金スルヲ得ハ大ニ利益アリ製乳  
 賣却ノ後直ニ貸金ノ返済ヲ受ルヲ得可シ前ニモ云ヘル如ク一回又ハ  
 二回ノ更新ヲ製乳會社ニ許シ借入レタル資本ヲ復サシメテ負債ヲ償  
 還セシム可キノミ  
 然レモ人アリ云ハントス曾テ佛蘭西土地抵當銀行ノ協力ヲ以テ一千  
 八百六十年ニ設立シ全國ニ獨占權ヲ有シタル農業貸金會社アリシニ  
 製乳會社ノ之ニ依頼セサリシハ何故ナルカト是レ其會社ハ組織甚タ  
 煩雜ニシテ貸金ノ利子低廉ナラサルカ故トス種々ノ仲介人ヲ使用セ  
 シカ故ニ利子ハ一割又ハ一割二分ニ上レルナリ



此貸金會社ノ欠典ハ雷ニ之ノミニアラス、資本金ハ僅々二千万法ナリ  
 シ故ニ廣ク佛蘭西全國ニ業務ヲ營ムニ足ラス恰モ大洋中ノ一滴水ノ  
 如シ其本店ハ巴理ニアリシト雖モ借主ノ依頼ヲ容易クスル爲メニ數  
 多ノ通信員ヲ諸州ニ置キタル此通信員ハ銀行營業者ニシテ耕作者ノ  
 依頼スルハ此營業者ナリトス而シテ資力アリト認メラル、ハハ通信者  
 ノ裏書スル約束手形ニ署名シタルナリ通信者ハ其手形ヲ巴理農業貸  
 金會社ニ轉達シ又其會社ヨリ之ヲ土地抵當銀行ニ廻送シ其銀行ハ佛  
 蘭西銀行ニ往テ之ヲ割引セシメタルモノトス此制度ニ因レハ借主ハ  
 數種ノ手数料ヲ支辨スルカ故ニ費用ノ甚ク多キヲ見ル可シ之ヲ要ス  
 ルニ農業貸金會社ハ佛蘭西銀行ニ於テ要求スル三者ノ署名ノ一人タ  
 ル土地抵當銀行ノ附屬物タルニ過キス蓋モ村郷ノ需用ニ應セサルカ  
 故ニ地主及ヒ借地人ノ之ニ依頼セシモノ甚ク少ク唯タ土地ノ物産ヲ  
 以テ營業スル處ノ酒商、穀商、磨粉師及其他ノ仲介者ノ記名シタル證券  
 割引ヲナセシノミ

據テ農業貸金會社ハ其定款外ノ事業ヲ營ミシ故ニ遂ニ解散スルニ至  
 レルナリ此試驗ノ結果不真ナリシヲ以テ佛蘭西全國ニ對シテ一會社  
 大股東ノ説ハ人ノ採ラサル所トナレリ余ノ計畫スル制度ニ依レハ金  
 錢ノ貸附ハ大ナル資本家及貯金家ノ資金ヲ以テ爲スヘキモノトス特  
 權ヲ與ヘタル會社ハ世間ノ資本家ヨリ資本ノ權利ヲ請求スルニアラ  
 サレバ諸般ノ需ニ應スルヲ能ハサルハ明白ナリ  
 國人ノ貯金ヲ農業ニ注入スルニハ如何スレハ則チ可ナランカ曰ク貸  
 主ニ確乎タル保證ヲ與フルニアリ即チ前ニ云ヘル如ク抵當トスル動  
 産ニ對シテ借主ノ特權ヲ與ヘ費用ノ僅少ナル迅速ノ訴訟法ヲ設ケ之  
 ヲシテ負債ノ償還ヲ得セシムルニアリ斯ノ如クスレバ特權アル會社  
 ノ貸金ニ依頼セスシテ國人ノ囊中ヨリ資本ヲ引キ出スヲ得ベシ  
 此他ノ農業銀行設立ノ試行ハ第二帝政ノ時ニ設置シタル官立會社(前  
 社ニ云フ)ヨリ世評高カクサリシト雖モ農業ノ或ル部分ニ利益ヲ與  
 ヘタリ予ハノルマンチー及ニヴェルネーノ銀行營業者ト牛族肥滿業者



トノ間ニ於ル舊時ノ關係ヲ説カント欲スルナリ  
 其始ヲ起レルハノルマンデーナルモノ、如シ此州ハ土地豊饒ニシテ  
 工業繁榮ナリト雖モ諸般ノ天然物ヲ利用スルノ資本ニ乏シクシテ就  
 中肥滿牧場ノ所有主ハ毎年銀行營業者ニ依頼スルノ必要アリ銀行ハ  
 其所有主ニ貸金ヲナシテ改頁ノ老牛ヲ購ヒ肥滿ノ業終ルノ後直ニ之  
 ナグエツトノ市場ニ送出シタルナリ  
 ノルマンデーノ肥滿業者ト銀行營業者トノ關係ハ何レノ時ニ始リシ  
 カ其確實ナル年月ヲ知ラン爲メニラバル及アラソソニ往テ調査シ  
 リト雖モ發見セザリシ故ニ舊時ノ關係ハ説クテ得ス巴里ノ最モ蓄キ  
 ボアツシーノ市場ハ銀行營業者ノ資金ヲ以テ購ヒ肥滿牧場ニ於テ肥  
 滿ナラシメタル牛ノ賣却ヲ容易ナラシメタルモノナリ左ニ貸附業務  
 ノ方法ヲ説カン  
 毎年第三月ノ初ニ於テ肥滿業者ハ銀行者ニ依頼シテ助成金ヲ領收シ  
 銀行者ハ九十日ノ定期手形ヲ振出サシメテ貸金ヲ交付スルモノトス

肥滿業者ハ其金ヲ得レハ西部ノ市場ニ行キ體格最モ己レノ牧場ニ適  
 シ最モ速ニ肥滿スヘシト認ムル牛ヲ求ムルナリ此豫備ノ事業ハ七ヶ  
 月乃至八ヶ月ヲ要スル故ニ手形期限ノ盡ル九十日ヲ經ルモ未タ市場  
 ニ賣却スヘキ牛ハ一頭モアラザルナリ因テ肥滿業者ハ一回ノ更新ヲ  
 申込ム者トス其期限盡ル時ハ又第二回ノ更新ヲナスナリ柔和ナル牛  
 即チ最モ容易ク脂肪ヲ益ス所ノ牛ノミナラズエツトノ市場ニ賣却ノ現  
 金ノ支拂ヲ受ケ其賣却アル毎ニ代價ヲ以テ銀行營業者ニ辨償ヲナス  
 ナリ此貸借事業ノ精算完了スルハ通例六ヶ月乃至九ヶ月ノ末ニ第  
 三回ノ更新ヲナスハ種ナリトスノルマンデーノ銀行營業者ハ悦ンテ  
 其業務ヲ營ムト云フ予ヨリ意見ヲ同ヘル銀行營業者ハ肥滿業者ト貸  
 借ヲ爲シテ決シテ損失シタルヲナキク確證セリ甲ノ季節ヨリ乙ノ季  
 節マテニハ必ス貸金ノ返済アリト云フ是レ異例ノ事ナリト雖モ多年  
 來ノルマンデーニ於テ行ハル、所ノ農業貸附法ナリ  
 牛ノ産地ニ因テ有名ナルニベネーニ於テハ地方ノ銀行營業者ノ資



本ニ乏シキ肥滿業者ニ前貸ヲナスハ多年以來ニ其貸借ノ契約ハハ  
 ルマンデーノ銀行營業者ノ契約ニ異ナラス肥滿業者ハ三回マテ更新  
 スハキ三ヶ月定期ノ手形ヲ振出し牛ノ肥滿ヲ終ルニ從テ之レヲグ  
 ヲトノ市場ニ出シ其實却代價ヲ以テ銀行者ニ辨償ヲナスモノトス此  
 二州ニ於ケル貸借ノ業務ハ相同フシテ結果モ亦同一ナルカ故ニニ  
 ヲ子ノ狀況ハ詳ニ説カサルモ可ナレヘシ只一言スヘキハ在ホ  
 佛蘭西銀行ノ舊支店長ハ肥滿業者ノ景況ヲ調査シタル後一千八百  
 七十六年ノ頃確ニ實力アル肥滿業者三名ノ署名セル手形ノ割引ヲ直  
 接ニ承諾スルノ許可ヲ本店ヨリ得タルト是レナリ此ノ新事ノ結果ハ  
 耕作者ヲ以テ商人ト見做スニ至レルナリ亦以テ佛蘭西銀行ニ於テ短  
 期農業貸附ノ開業ヲ爲シタルモノナルト見ル可シ  
 延テ今日ニ至レル此試行ハ特別ノ一單ヲ設ケテ論スルニ足ルモノ  
 ナリ余ハ此章ヲ以テ銀行ノニベール子ニ於テ結果ヲ得タル試行ヲ  
 論シ此業ハ故

牧肥滿業ヨリモ時日短キヲ以テ銀行ノ支店ハ舍内ノ肥滿業者ニ貸金  
 ナシ得ヘキヲ示サントス數年來肥滿ノ事業ハ利潤少フシテ純益  
 ノ肥料ニ止ルヲ往々少ナカラサルカ故ニ銀行ハ益々其貸附ヲナサ  
 レハカラサルナリ

第五 牛ノ肥滿業ニ對スル信用貸

在ニベールノ佛蘭西銀行舊支店長ジロト氏ハ一千八百六十五年ニ當  
 リ地方ノ銀行ニ於テ牛ノ肥滿業者ニ承諾スル貸附金ノ巨額ニ上ル  
 見テ大ニ驚キ農業貸附委員會ニ自ラ出頭シ記事ヲ提出シ其然ルヲ報  
 達シタリ氏ハ才能ノ人物ナルヲ以テ早ク既ニ此貸借ヲ以テ銀行ニ利  
 益スルノ考ヲ起セリト雖モ其安全確實ナラント欲シタルカ故ニニ  
 ベル子ノ農業ノ資本及ヒ需要ヲ知ラシカ爲メ先ツ其研究ヨリ事ヲ起  
 セリ既ニシテ氏ハ速ニ歩ヲ進ムルニ決心シ爾フテ農會ノ委員トナリ  
 既ニシテ又其會計員トナレリ氏ハ毎年賞勵金ヲ配與スルノ職務ヲ帶  
 ヒテ最モ功勞アリテ最モ整頓シタル農園ヲ巡見シ詳ニニベール子ノ農



業ノ景况ヲ知ルヲ得タリ是ニ於テ肥滿業者ト交際ヲ始メ其事業ヲ研  
究シ其契約ニ違フ如キ人物ニアラサルヲ確認シ氏ノ長タル支店ハ  
他ノ銀行ノ仲介ニ因テ手形ヲ提出スル所ノ牛ノ肥滿業者ト直接ノ關  
係ヲ始ルモ確乎危害ナキヲ認定シタリ然レモ一難事ノ尙ホ氏ヲシ  
テ躊躇セシメタルモノアリトス是レ銀行ノ定款ニ因レハ帳簿取引ノ  
承諾ヲ得タル商人及銀行營業者ノ手形ノ外割引ヲ承諾セサレハナリ  
割引ハ少クモ豪商一名ノ合同シタル三名ノ署名アル證券ノ外承諾セ  
サルモノトス然ルニ肥滿業者ハ元ト商人ニアラサルヲ以テ其割引ヲ  
承諾センニハ他ノ銀行ヲ仲介者トシテ之ニ手数料ヲ拂ハサル可カラ  
ス是レ利子ノ額ヲ増ス所以ナリ

ジロイ氏ハ深ク此一事ヲ研究シ銀行ノ理事員ニ報道シタルヲ以テ銀  
行ハ提出ノ参考事實ニ因テ事ヲ寬ニスルノ必要ヲ感シジロイ氏ニ許  
スニ牛ノ肥滿業者三名ノ署名セル手形ヲ直接ニ領收スルヲ以テシ  
タリ是レ肥滿業者ヲ豪商ト見做シタルモノトス然レモ實際其手續ハ

迅速ナルヲ以テ業務ニ商業ノ性質ヲ帯ハシムルニ非ルカノ疑アリキ  
夫ヨリ氏ハ地方ノ銀行營業者ニ就キ肥滿業者ノ手形ノ割引ハ損失ニ  
歸スルヲアルヘキカヲ問ヘルニ其答ニ曰ク少ク意ヲ用フレハ其患ナ  
シト夫レニベルネー銀行營業者ノ多年ノ實踐ハ肥滿業者ノ賣力アル  
保證タルモノナリ

ジロイ氏ハ此點ヲ明ニシタル後最モ賣力アル肥滿業者ヲ自ラ訪ヒ手  
形ニ三名ノ署名アレハ直接ニ割引ノ請求ヲ承諾スヘキヲ言ヘリ  
是レ銀行ノ定款ニ違フト雖モ其利益ト依頼者ノ利益トノ二點ヨリ見  
レハ誠ニ正當ナルモノトス

氏ノ新花主タル肥滿業者ト交渉ヲ始メタル談話アリ其考案ハ充分ノ  
根據アルヲ見ル可シ曰ク

余ハ始メ毎年二百五十頭乃至三百頭ノ牛ヲ購入スル所ノ富家ナル  
肥滿業者ヲ予カ家ニ招待シ銀行ニ依頼セント欲スル者二名ト連帶  
スレハ銀行ノ仲介ヲ以テ三名ニ必要ナル資本ヲ供給セントテ説明



シ取引ヲ開始セシメテ勤メタリ  
 其方法ハ甚ダ簡單ニシテセブチエードレニヨリ氏ハ自カラ裏書シ第  
 三農業者ノ保證印ヲ捺シテ銀行ニ出ス所ノ證券ヲ己レノ命令ニテ  
 振出サシメタリ故ニ此諸君ハ銀行手数料ノ外他ノ費用ナキ低廉ノ  
 利子ヲ以テ肥滿業ノ資本ヲ得タリ而シテ巴里ニ家畜ヲ賣却ノ時ニ  
 回ノ更新ヲサシ元金ヲ佛蘭西銀行ニ拂込テ其手形ヲ消却シタリ(中  
 略)予ハ予ノ信スル所ノ違ハサリシコトヲ證明セサルヘカラス予ハ  
 農業者ト斷ヘス交渉シタルヲ以テ農業者ノ事務ト人物トヲ知ルヲ得  
 タリ二十四時間延期ノ爲メ拒ミ證書等ヲ用ヒタルトハ言テアラス  
 ルナリ  
 是レ佛蘭西銀行ノニエーヴルニ於テ商業シ商業貸借ト同シク正シク  
 行ハルル所ノ短期ノ農業貸附ナリトス是レ前ニ云ハル如キ方法ヲ以  
 テシテ貸附ノ業務ヲ佛蘭西銀行ニ開始スルノ好前數ニアラスヤ  
 前者ノ如ク資力アルトノ確實ナラサル第二等ノ地位ニアル肥滿業者

ニ至テハ今得テ考フヘカラス時代ヨリ爲ス方加ニニペーリ又ハ近  
 傍地方ノ銀行ヲ經ルニアラサレハ佛蘭西銀行ノ支店ニ依頼スルヲ得  
 ス是レ己ムヲ得サル必要事ニシテ貸金ノ利子モ亦低廉ナルヲ得サル  
 ナリ  
 今ニエーヴル肥滿業者ノ拂フ利子ハ幾許ナルカト云フニジロイ氏ハ  
 甚ダ精確ナル歩合ヲ示セリ即商業者ト見做シタル第一等ノ地位ニ在  
 ル肥滿業者ハ割引ノ額ヲ三分乃至三分五厘ヲ拂フノミ資力ノ之ニ及  
 ハサル肥滿業者ハ他ノ銀行ヲ經ルカ故ニ此割引ノ額ニ一分五厘ヲ加  
 ヘサル可ラス銀行營業者ノ署名スルト一人ナレハ利子ハ五分五厘ニ  
 當リ其二人ナルハ六分五厘ナリ此利子ハ昔時地方ノ資本家ノ收入  
 シタル利子ニ比スレハ敢テ高シト謂フ可ラス其低格ハ在子ヴエー  
 銀行支店ノ交渉ニ因テ生シタルモノニシテ支店ハ實ニ財務場裏ノ規  
 定針ト認ムヘキナリ  
 ジロイ氏ノニエーヴル縣ノ肥滿業者ト業務ヲ開始シタルハ其來縣ノ



日ヨリ二年ノ後ニシテ實ニ一千八百六十七年ニアリトス爾來氏八十  
 年乃至十一年間其業務ヲ繼續シ一億三千萬法乃至一億四千萬法ヲ貸  
 附ケタリ氏ノ推算ニ因レハ舊ノ利子額ヲ以テスルニ比スレハ少クモ  
 二千四百万法ノ節儉ナリト此巨額ハ肥滿ノ業ヲ驅トスル者ヲシテ肉  
 價ヲ廉ニシ餘裕ノ金ヲ其牧場ト耕作法トノ改良ニ使用スルヲ得セシ  
 メタルモノナリ

ジロイ氏ハ其肥滿業者ニ利益ヲ與ヘタル事實ヲ詳ニスルカ爲ニ肥滿  
 ノ事業及其事業ニ因テ得タル利益ヲ報達シテ曰ク牧場ノ二「エグタル」  
 ハ平均百二十五法ノ借地料ニシテ其二「エグタル」ヲ以テ三頭ノ牛ヲ飼  
 養スルヲ得ヘシ是ノ故ニ一頭毎ニ八十法乃至八十五法ノ草ヲ食フモ  
 ノトス此費用ニ借入金ノ利子二十五法ノ外ハ幾ト皆無ナレド看守費  
 トウエツトノ市場ニ牛ヲ搬出スル鐵道運費十法ヲ加ヘサル可ラス即チ  
 費用ノ合計ハ百十五法ナリ其他不時ノ費用ヲ十分高ク見積リ一頭ニ  
 付キ十五法トスレハ合計百三十法ノ前拂金トス此支出額ニ對シテ牧

入ノ額ヲ擧ケンニニウモルネハ產ノ牛ニ肥滿ノ業ヲ施スルハ少クモ  
 百五十「キログラム」ノ我ニ百六十「キログラム」ノ目方ヲハ増シ一「キログラム」  
 ニ付キ一法三十番ヲ以テ賣却スルヲ得ヘシ然ラハ其得ル所ハ百九十  
 五法トス唯タ之ヲ以テスルモ其差ハ六十五法ナリト雖モ尙ホ肥滿前  
 ノ目方アル故ニ一頭ニ付キ純益ハ甚多シトスジロイ氏ハ之ヲ百五  
 十法ト爲セリ是レ人ノ一般ニ認許スル所ノ金額ニシテ又佛蘭西銀行  
 ニ於テ肥滿業者ニ直接ノ割引ヲ承諾スレハ尙ホ増加スヘキモノナリ  
 得失相償テ大ニ餘リアル農業ヲ營ムニ金銀ヲ要スルノ際在ハ一ニシ  
 テ足ラスト雖モ農業貸附金ノ必要ヲ證明スル丁之ニ若クモノハアテ  
 サルナリ

余ノ前ニ示シタル試驗ハニウエールニ於テ好結果ヲ得ルナリ然ルニ  
 佛蘭西銀行ニ於テ同一ノ業務ヲノルマンチーニ開カサルノ何故ナル  
 ヤハ人ノ心ニ疑フ所ナリ夫レ此縣ハニヴエール子イヨリモ廣大ニシテ  
 年々ニ放牧法ヲ以テ牛ヲ肥滿セシムルノ頭數ハ頗ル著大ナリトス而



シテ其大部ヲ巴里ノ市場ニ供給シ又警察法律ニ於テ許スルハ英國ニ  
 マテモ輸出スルナリ予ハノルマンチーヨリヴエツトノ市場ニ出ス所  
 ノ統計ハ知ラスト雖モルカルフアト及ルラヌヨリ出タスノ頭數ハ  
 大ナルヲ知レリ然ルニフレールノ佛蘭西銀行ナル支店ニ於テ一  
 千八百七十九年ニ割引ヲ爲シタルト僅カニ千四百七十萬法ニ一  
 千八百八十年ニハ一千六百四十六萬六千法ニ過キサリシハ何ノ故ナリ  
 ヤ解ス可ラサルナリ又一方ニ於テハ其支店ノ收益ハ一千八百七十  
 九年ニ僅カ一萬六千三百五十六法ニシテ一千八百八十年ニハ二萬三千  
 二百〇九法ナリシノミ此金高ハタルヌノ如キ富ミタル縣ノ廣大ナル  
 割合ニ當ラサルナリナルヌニ在ル製造所ノ數ノ甚タ僅少ナルトハ予  
 ノ知ル所ニシテ又重モナル職業ハ牛ノ肥滿、綿羊ノ飼育及五分雜種ノ  
 馬ノ飼育ナリトスフレールノ銀行支店ニシテ肥滿業者ニ貸金スレハ  
 其利益ヲ四倍スルヲ得ヘキハ明白ノ事實ナリ夫レニエーヴルノ肥滿  
 業者ニ直接ノ割引ヲ承諾シテ好結果ヲ得十一年ノ間ニ些ヤタル損失

ルモ生セザリシハフレール銀行支店長ジョー氏ノ証言スルカ如クナ  
 ルニ何故ニ氏ハ同シ業務ヲ他所ニ營ムヲ許可ヲ得ントハ務メザリシ  
 カノルマンチーノ肥滿業者ノ爲メニハ地方ニ銀行營業者アリテ之ニ  
 前貸金ヲ爲スヲ以テ自ラ甚タ足レト爲シ肥滿業者ハ其營業者ヨリ  
 巨額ノ金圓ヲ借り受ルナリ然ルニ何故ニ佛蘭西銀行ハ此賣力アル花  
 主ヲ他ヘ逃レ去ラシムルカ抑地方ニ在ル銀行營業者ノ前貸金ハ陸費  
 ナ合シテ一割乃至一割一分ノ利子ニ當ルヲ願ヘハ佛蘭西銀行ヨリ  
 之ニ貸附金ヲ爲スハ益希望スヘク佛蘭西銀行ハ尋常割引額ヲ以テ地  
 方營業者ト同額ナル資本ヲ前貸スルヲ得ヘシ然ラハ則チ肥滿業者ハ  
 著大ノ節儉法ヲ得テ肉價ノ内ヨリ「キログラム」ニ付キ少クモ十參乃  
 至十二參ヲ減スヘク又佛蘭西銀行ノ爲メニハ眞ノ利源トナルヘシ蓋  
 シ牛ノ放牧肥滿業ハ例外ノ事ナルノミ抑肥滿ノ業ハ特ニ舍内ニ於テ  
 シ其費用ハ甚タ多キヲ要スルモノナリト雖トモ其業ハ唯々四月乃  
 至五ヶ月ヲ以テ終ルモノトス佛蘭西銀行ニ於テ其業務ニ貸金セント



欲セハ唯タ一回ノ更新ヲ許ルシテ足ルヘシ  
 舍内ノ肥滿業ハ牛ヲ飼フニ足ルノ草ヲ生スル牧場ナキ土地ニ於テ施  
 スモノニシテ其完成スル月日ハ短シト雖モ多ク費用ヲ要シ一頭ニ付  
 キ百五十法乃至二百法ナリトス此費額ハ工用植物ヲ耕作シ製造ノ殘  
 滓ヲ以テ家畜ノ食料ニ供スル工場ノ數多アル諸縣ニ於テハ決シテ支  
 出スルモノニ非サルナリ其食料ハ砂糖製造所麥酒釀造所蒸餾所等ノ  
 殘滓ニシテ之ニ加フルニ秣草、割藁並ニ產油穀類ノ殘滓ヲ以テス此等  
 ノ物品ハ其價高カラスト雖モ唯タ中等ノ肉ヲ生スルノミ之ヲ食料ト  
 シタル家畜ノ肉ハ柔軟薄弱ニシテ僅ニ歷スモ乍ラ窪ヲ生スヘシ其筋  
 肉ハ淋巴液ヲ含ミ食料トシタル殘滓ヲ思ヒ起サシムル積臭ノ味アリ  
 是ノ故ニウエト市場ニ於テハ甚タ廉價ナクシテ「エコー、アグリコ」  
 新聞ハ之ヲ其相場附中ノ最下等ニ置ケリ  
 中央地方及南部地方ニ於テモ亦舍内ニ於テ牛ヲ肥滿セシメ食料ニハ  
 馬鈴薯「カザリエ」菜、向日莢等ヲ糞ヲ與ヘ加フルニ下等ノ穀類ヲ以テ

製シタル諸種ノ粉ヲ以テシ又胡桃樹ヲ栽培スル地方ニ於テハ胡桃  
 樹ヲ以テ穀類ノ糞滓ニ代フルナリ此等ノ食料ヲ以テ糞ヲタル牛ノ  
 肉ハ上等ニシテ美味アリ諸種ノ殘滓ヲ以テ肥滿セシメタル家畜ノ肉  
 質軟和ナラスト雖モ其得失ハ相償フナリ  
 亞力伯地方ニ於テハ耕作ニ使役スル牛ノ第八年目ニ至ルルハ牧畜出  
 國ニ送テ肥滿ノ業ヲ施スモノトス其日數ハ通例三ヶ月乃至四ヶ月ニ  
 シテ一頭ニ付キ二十五法ノ利益アリト雖モ是レ此地方ニハ報告ス可  
 クサル事業トス夫レ此牛ハ身ノ長ク小ニシテ平均ノ目方ハ三百六十  
 「キログラム」ノ上ニ出テス故ニ牧場ノ價モ亦タ高カラサルナリ然レト  
 モ「エーヴル」ノ牛ハ肥滿ノ業ヲ施セハ七百「キログラム」乃至八百「キ  
 グラム」ノ平均目方ヲ増シ其利益ハ百五十法ニシテ其食フ所ノ草ハ八  
 十五法ノ價ナリトス此二種ノ金額ヲ比較スレハ亞力伯ニ於ケル肥滿  
 業ハ得失僅ニ償フモノナルヲ見ルヘシ  
 或人以爲「ウーグリユー」ズ及其他其四邊近傍ノ諸縣ニ於テ灌漑溝渠



増設スルアレハ牛ノ肥満業ニ利益アルベシト齒草ノ耕作ハ紅素ノ  
 發見ニ因リ今日得失相償ハサルニ至レルヲ以テ茶陵香ノ灌溉耕作法  
 ナリ以テ之ニ代フヘシ茶陵香ハ「エクタール」ニ付キ乾秣一萬二千  
 「キログラム」乃至一萬五千「キログラム」ヲ產出スベシト既ク者アリ或ル  
 人又以爲ク因テ牛ノ肥満業ヲ營メハ利益アルベシト然レトモ灌溉シ  
 タル茶陵香ノ耕作地ハ「エクタール」ニ付キ一萬二千法乃至一萬五千  
 法ノ價ニシテ借地料ハ七百法乃至八百法ナルヲニ注意セサル可ラサル  
 ナリ此借地料ニ「キヤンタルメトリック」凡「キヤンタルメトリック」ハ  
 一付キ五法三十三參ノ秣一萬五千「キログラム」ヲ加ヘザル可ラズ  
 而シテ一萬二千「キログラム」乃至一萬五千「キログラム」ノ平均トスレバ  
 五法九十三參タルベシ然レテ又其額ニ加算スベキ「エクタール」ニ付  
 キ少クモ六十法ニ上ル所ノ灌溉費ト其他茶陵香耕作地ノ肥料及耕  
 費アリ此補足ノ入費ヲ加フレバ百「キログラム」ノ秣ハ幾ント七法ノ  
 價トナルベシ斯ノ如キ不廉ナル原價ヲ以テシテ牛ノ肥満業ヲ行ヒ得

ハキカ曰ク否予ハ之レヲ信セサルナリ予ハ數年前ニアグキヨ  
 ノ地方共進會ニ於テ屠殺用ノ牛ヲ見タルヨトアリ其牛ノ地方ノ人ハ  
 甚ク肥ヘタリト言ヒケレバ豬肉ノ生セントスルノ時ニアリシモノナ  
 舍内肥満法ハ製造所ノ殘滓植物植根及其他脂肪筋肉ヲ發育スヘクシ  
 ナ費用ノ少キ食料ヲ求メ易キ耕作法ノ盛ニ行ハル、國ニ非レハ行フ  
 ナ利益アラサルモノナリ佛國ノ南部地方ハ此狀況アラサル土地ニシ  
 テ秣ヲ收穫スルト甚ク少ク使用ノ家畜且ツ養フニ足ラス又家畜ノ  
 食料タル殘滓ヲ生スル製造所ノ在ルモ亦極メテ稀ニシテ用根植物ノ  
 耕作ハ僅々ナルノミ灌溉溝河ノ在ラサル土地ハ總ヘテ植物ノ發育甚  
 ク不長ナルモノトス是レ南部ノ地方ハ獸肉ヲ產出スルト甚ク僅ニシ  
 テ耕作ノ業ニ使役スル家畜ヲ肥満セシムルヲ能ハサル所以ナリ是ノ  
 故ニ此地方ハ其輸入ヲ他方ニ仰カサルヲ得ス因テ近傍ノ諸縣並ニ外  
 國ノ供給ヲ以テシテ食料タル貯蓄品ヲ補足シ亞力伯、必里尼斯及中央



ノ山國地方ヨリ牛羊ノ大數ヲ輸入スルナリ一ケ年内ニ八ヶ月ノ間即チ三月ヨリ十月ニ至ルマテ馬耳塞ニ陸上スル積荷ノ海上ヨリ到着スル數量ハ甚ク多ク伊太利、撒他尼、西班牙、及葡萄牙ハ皆其供給者ニシテ亞爾及ヨリモ亦物産ヲ送致スルヲ甚ク多シトス此等ハ皆エーラスアウキギヨニーム及モントベリエーノ市場ニ供給シ其中巴里ニ至ルモノモ亦之レアリ抑亞力伯、必里尼斯及中央山國地方ノ家畜飼育者ヨリ見レハ外國物産ノ到着ノ中止スルハ十一月十二月一月二月ノ四ヶ月間ナリトス此時ニ至テ僅ニ市場ノ主宰タルヲ得ルノミ是ハ故ニ最モ利益ヲ多ク得ルノ方法ヲ以テシテ其肥滿ノ業ヲ施サ、ル可クナルナリ

然リ而シテウキエツトノ市場ニ亞非利加産綿羊ノ現出スルヲ往々之アルヲ見ルハ是レ北部及中央諸州ノ自ラ足テ物品貯蓄ヲ爲スヲ得ルニ依ルナリ巴里人ハ獨逸、匈牙利及多瑙河沿岸諸州ノ綿羊ヲ求ムル下能ハサレハ其腰肉及肋肉ヲ得ルヲ甚ク難カルヘシ其然ルヲ知ラシ

ニハ唯々「エコー」アグリコルノ公ニスル相場表ヲ閱スヘキアルノミ其地方ニ到着スル綿羊ハ少クシテ其半ハ外國ヨリ供給スルモノナリトシテ見ルハシ然ルニ我國家畜飼育者ハ今時ノ如ク亞非利加ノ競争ヲ恐ルヘキカ曰ク否亞米利加産牛羊ノ大ニ市場ニ現出シテ其相場ヲ變動セシメハ尙ホ幾多ノ年月ヲ經タル後ナルヘシ家畜飼育者ノ殊ニ請求スヘキ一事ハ農業貸附銀行ノ設立ト村落ノ事業ニ二三ヶ月間ニシテ精算完結スヘキ貸金ヲ爲スヲ佛蘭西銀行ノ承諾スルヲ是レナリ

牛族ハ食用肉消費高ノ三分ノ二ヲ供給スト雖モ其肥滿ノ業ハ羊族ト同一ノ利益アラサルモノナリ夫ノ細密ナル當テ以テ草ヲ根頭マテ咬ミ又時トシテ之ヲ引キ抜キ且ツ尖リタル足ヲ以テ芝草中ニ窪所ヲ生セシムル所ノ綿羊ハ夏季ニ於テ牧畜山國地方ヲ通過スルノ時ニ當テハ特ニ危害ヲ爲スノ動物ニシテ亞力伯、必里尼斯及中央平原ノ危害ヲ助成シタルニ與テ力アルモノハ樵夫ノ斧、開拓者ノ鋸ヨリモ獸群ニ於テ大ナリト不現ニ此地方ニ行ハル、牧畜制度ヲ速ニ改革スルハ目下



ノ急務ナリ亞力伯及必里尼斯ニ在ル牧場ノ過半ハ自ラ之ヲ經營スルノ資ニ乏キ人ニ屬シ而シテ此點ニ在テハ其人ハノルマンデーノ肥滿業者及ニヴエル子ノ肥滿業者ト同一ノ位地ニ在ル者ナリト雖トモ貸金ノ點ニ至テハ更ニ其澤ニ浴スルヲアササルナリ此ニ縣ノ肥滿業者ハ地方ノ銀行營業者ヨリ容易ク資本ヲ借り入ルハテ得ルト雖トモ牧畜山國ノ土地所有主ハ資力ナキヲ以テ地ヲ外國ノ牧者ニ貸與セザルヲ得サルナリ其牧者ハ自己ノ收利ニ之ヲ使用シ而シテ懸笑スヘキ借地料即チ「エタタール」ニ付キ七十五參乃至一法ヲ拂フアルノミ然リ而シテ此借地料ハ前ニモ官ヘル如ク土地所有主ノ機ント之ヨリ他ニナキ唯タ一種ノ收入ナルカ故ニ其所有主ハ其收入ヲ増殖スル爲ニ牧場ニ頭數ヲ放タシムルト分ニ過クルナリ是ヲ以テ亞力伯及必里尼斯ハ獸群ノ有害ナル影響ヲ蒙リテ荒廢スルト一年ヨリ甚タシク益洪水ノ汎溢ヲ助成シタリ今ニシテ之レカ處置ヲ爲サスハ數多ノ州ハ安全ナラサルニ至ルヘシ

斯ノ如キ災害ヲ防オンニハ全ク其方法ナキカ曰ク有リ亞力伯及必里尼斯ノ恢復ハ綿羊ノ飼育者ニ貸金ヲ爲セハ其一部ヲ實行スルヲ得ヘシ唯タ佛蘭西銀行ニ於テ牧畜山國ノ土地所有主ヲ待ツトニエーザルノ肥滿業者ヲ待ツカ如ク爲スヘキアルノミ語テ更ヘテ之ヲ官ヘハ其所有主ニ前貸ヲ爲シ之ヲシテ其牧場ヲ自己ノ營業ニ使用スルヲ得セシムヘキナリ土地所有主ハ此貸金ヲ以テ外國ノ羊群ヲ追逐シ羊數ヲ減シテ外國人ノ土地ヲ借りテ得タル利益ヲ已レニ收メテ以テ其收入ヲ増殖スヘシ然ラハ則チ牧場ハ大ニ休養シ今ノ荒廢シタル芝草ハ速ニ復生シテ猛勢ノ急流ハ終ニ消滅ニ歸シ而シテ山下ノ地方ハ今ヤ安全ナラサレテ復タ安全トナルヲ見ルニ至ランガランヌローヌ及其他數多ノ合流ハ動モスレハ溢ルノ憂ナク沿岸ノ住人ハ水流ニ襲ヒ侵サルハノ惧ナカルヘシ是レ今ヤ僅ニ端緒ヲ開キタル林樹再植ト芝草植付ノ事業ニ政府ノ好結果ヲ生セシムルヲ待チ巧ミニ貸附法ヲ行フヲ爲シ得ヘキノ事ナリ



後來ヲ斯ノ如シト豫定スレハ綿羊ニ對スル貸附金ハ社會上一ノ問題トモ言フヘキモノナリ是ノ故ニ予ハ各地ノ景況住民ノ能力及其使用シ得ル資本ヲ詳ニ説キ此問題ノ至要ナル所以ヲ論セントス

第六 貸附金ヲ以テスル牧畜山圖ノ恢復

此題號ハ奇怪ナルカ如ク見ユト雖モ我思考ヲ實行シ得ヘカヲシムル者ナリ獸群ノ牧畜山圖ヲ通過スルノ害ハ亞力伯必里尼斯及中央平原ノ荒廢スルノ主タル原因ナルヲ今日人ノ異議ナキ所ナリ今其害ヲ知レハ之ヲ防禁センニハ如何ナル方法ヲ以テセンカ羊群ノ數ノ山圖地方ニ於テ多キニ過クルトスレハ吾人ノ嘆スル所ノ荒廢ヲ防止センニハ其羊數ヲ減スヘキナルハシ然ル其數ヲ減スルカ爲メニ今日既ニ甚タ貧キ住民ノ收入ニ損害ヲ與フ可クナルノミナラス却テ其數弱ナル資力ヲ増殖スルヲ要スヘシ牧畜山圖ノ土地所有主ハ其土地ヲ貸貸セスノ法乃至自ラ之ヲ使用スルヲ得ハ一頭ニ付キ一法ノミナラス五六法ヲ綿羊ニ因テ収入スルヲ得ヘシ之ニ因テ之ヲ觀レハ佛蘭西銀行

ハ其金銀授受ノ憲ヲ開テスルヲ以テ綿羊ノ飼育者ニ貸金ヲ爲スヘキアルノミ斯ノ如クナレハ羊群ノ數ヲ半ニ減メ以テ山圖人ノ收入ヲ二倍シ三倍スルヲ得ヘシ是レ綿羊ニ對スル貸金ヲ以テ幾分カ亞力伯及必里尼斯ノ恢復ヲ助成シ再植造林及芝草植付ニ勢力アルニ據ルヲ與フルノ方法ナリ其方法ノ確實ナルコトヲ知ラント欲セハ一千八百八十年七月廿八日及一千八百六十四年六月十八日ノ二法律發布ノ前ニ生シタル重ナル事實ト其施行後ニ發シタル事實トニ注意スレハ足ルヘシ亞力伯及必里尼斯ノ山下地方ハ洪水ノ汎溢益甚シク其損害ノ大ナルヲ以テ其地方住民ハ大ニ苦難ヲ訴フルニ因リ政府ハ之ヲ不問ニ措ク可マスト爲シ一千八百四十年ヲ以テ其事ヲ農業會議ノ職ニ付セシニ農業會議ニ於テハ適ニ再植造林ニ係ル法律案ヲ編纂シ又一方ニ於テハ山林局ニ於テモ此件ニ係ル法律案ヲ起草セリト雖モ二法並ニ其目的ヲ達セザリキ然レモ又一千八百四十三年ニ山林局長レクラン氏ハ亞力伯及必里尼斯ノ形狀ヲ親ク觀察センコトヲ欲シ此ニ山ヲ巡回シテ



歸ルニ及ンテヤ露出ノ土地ヲ二百五十九萬四千八百十六「エクタール」ト概算シ其内唯々二百二十六萬六千「エクタール」ノミ土砂扞止ノ工事ヲ施スヲ要シ之ニ必要ナル費用ヲ九千六百六十五萬六千法ト見積リタリ其計算ヲ以テ太過ナシトスレハ一千八百四十三年以來其損害ハ常ニ甚シキヲ加フルヲ以テ今日ニ於テ土砂扞止ノ工事ヲ施スヘキノ地積ハ其二倍即チ二百五十三萬二千「エクタール」ト見積テ可ナルヘシ而シテ一千八百四十三年ノ概算ヲ本トシテ費用ヲ見積レハ再植造林及芝草植付工事ノ全体ハ一億九千二百五十一萬二千法ノ費用タルヘシ是レ甚々巨大ノ金額ナリト雖モ蓋シ又此金額ヲ以テハ十分ニ亞力伯必里尼斯及中央平原ヲ恢復スルニ足ラサルナリ

其後再植造林ニ係ル一千八百六十年ノ法律ノ發布アリ山林局ハ此法律ヲ施行スルニ當リ地方ヲ四林区ニ分チ「ヴ」スジ及「ジュ」ク「リ」林区亞力伯林区必里尼斯林区セ「ヴ」シヌ及中央平原林区ト爲セリ因テ調査ヲ遂ケタルニ土地甚々荒廢シタルニ因テ強制再植造林法ヲ行フヲ要スル

州七

土地ノ各区内ニ若干アルヲ證明シタリ山林局ニ於テ荒害原由ノ牧畜通過ノ濫弊ニ在ルヲ證明シタルハ一回ニシテ足ラスシテ羊群ハ其荒害ノ原因ナルヲ言ヘリ

然リト雖モ「ヴ」スジ及「ジュ」ク「リ」林区ハ完全ナル保存ノ景况アルヲ以テ措テ論セサルヘシ一千八百七十九年一月一日ニ止マル所ノ山林局ノ最後ノ調査書ニ因レハ六縣ヲ包括スル亞力伯林区ノ中ニハ強制法ヲ行フヘキ輪區百十九ヶ所アリテ成十ノ數ヲ以テスレハ再植造林スヘキ地積ハ七萬「エクタール」ナリ又芝草植付ヲ爲スヘキ地積ハ一萬九千「エクタール」ニシテ其輪區地積ノ合計ハ九萬「エクタール」トス四縣ヲ包括スル必里尼斯林区ニ於テハ十八輪區ニ強制法ヲ布告セリ再植造林スヘキ地積ハ一萬「エクタール」ニシテ芝草植付ヲ爲スヘキ地積ハ二萬千「エクタール」トス輪區ノ合計ハ三萬千「エクタール」ナリ七縣ヲ包括スルセヴァンヌ及中央平原林区ニ於テハ合計三萬八千「エクタール」ノ七十九輪區ニ強制法ヲ布告セリ其内再植造林スヘキ地積ハ三萬六千「エ